

会 長 挨 拶

今回の学会のテーマは「こどものこころとからだの発達に寄り添う小児神経学」とさせていただきました。日本小児神経学会のホームページのトップに掲載されておりますので皆様もよくご存じのフレーズかと思えます。

2016年に本学会のホームページを作り直すにあたり、会員有志の皆さんに我々のアイデンティティを表すフレーズは何だろうかとワーキングで議論していただいた際に、最終的に選ばれたフレーズです。本学会の将来を考えてご議論いただいた先生方の、思いのこもった言葉ではないかと思えます。脳神経筋という身体臓器の疾患を科学的に扱うと共に、こどもの心の問題にも対応し、その軸には“発達”というキーワードがあり、また常に患者や患者家族に“寄り添う”という本学会の本質とスタンスをよく表現しているのではないかと思います。このフレーズと共に、第60回の節目となる本学術集会が、今後の小児神経学を見据えた視点を備えられればと思っております。

今回は4名の海外講演者を含む5つの特別講演・招待講演、5つの教育講演、24のシンポジウム、9つのセミナー等の学会委員会企画、12の実践教育セミナーおよびディベートディスカッションと、市民公開講座を計画させていただきました。また特別企画として、患者会の皆さんによる「患者さん家族の声を聴こう」と題したセッションも設けさせていただきました。

一般演題として、先生方より563演題のお申込みをいただきました。充実した内容のご発表を多数お寄せいただき、心より御礼申し上げます。

会場は十分な広さと数を確保したつもりでしたが、この様に多数のプログラムを準備させていただくことになりましたので、最終土曜日にもランチョンセミナーを開催し、午後にもプログラムを入れさせていただきました。遠方からお見えの先生にはご負担をおかけしますが、どうかよろしくお願いいたします。

幕張メッセは、ご存じのように学術集会には適した設備の整った会場で、近隣にもホテルが整備され、東京からも無理なく通える距離にあります。ぜひご出席いただき、活発な討論にご参加をいただきますようお願いいたします。

第60回日本小児神経学会学術集会

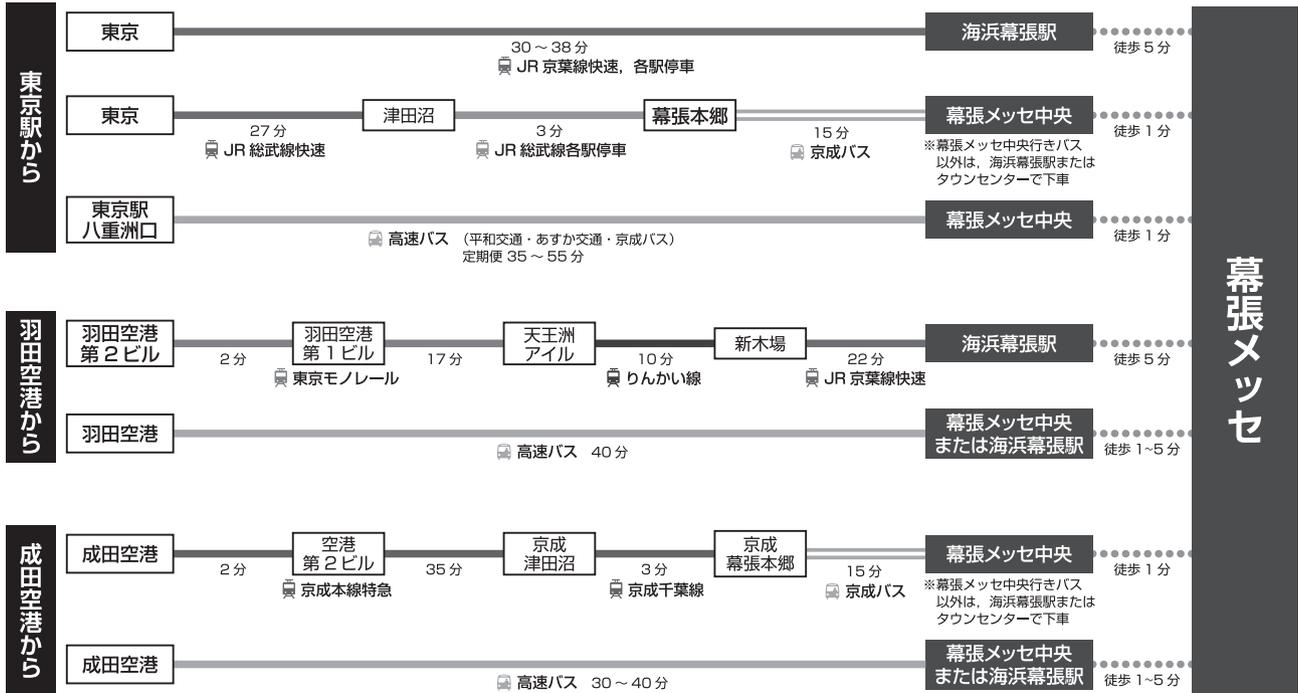
会長 岡 明

東京大学医学部小児科教授

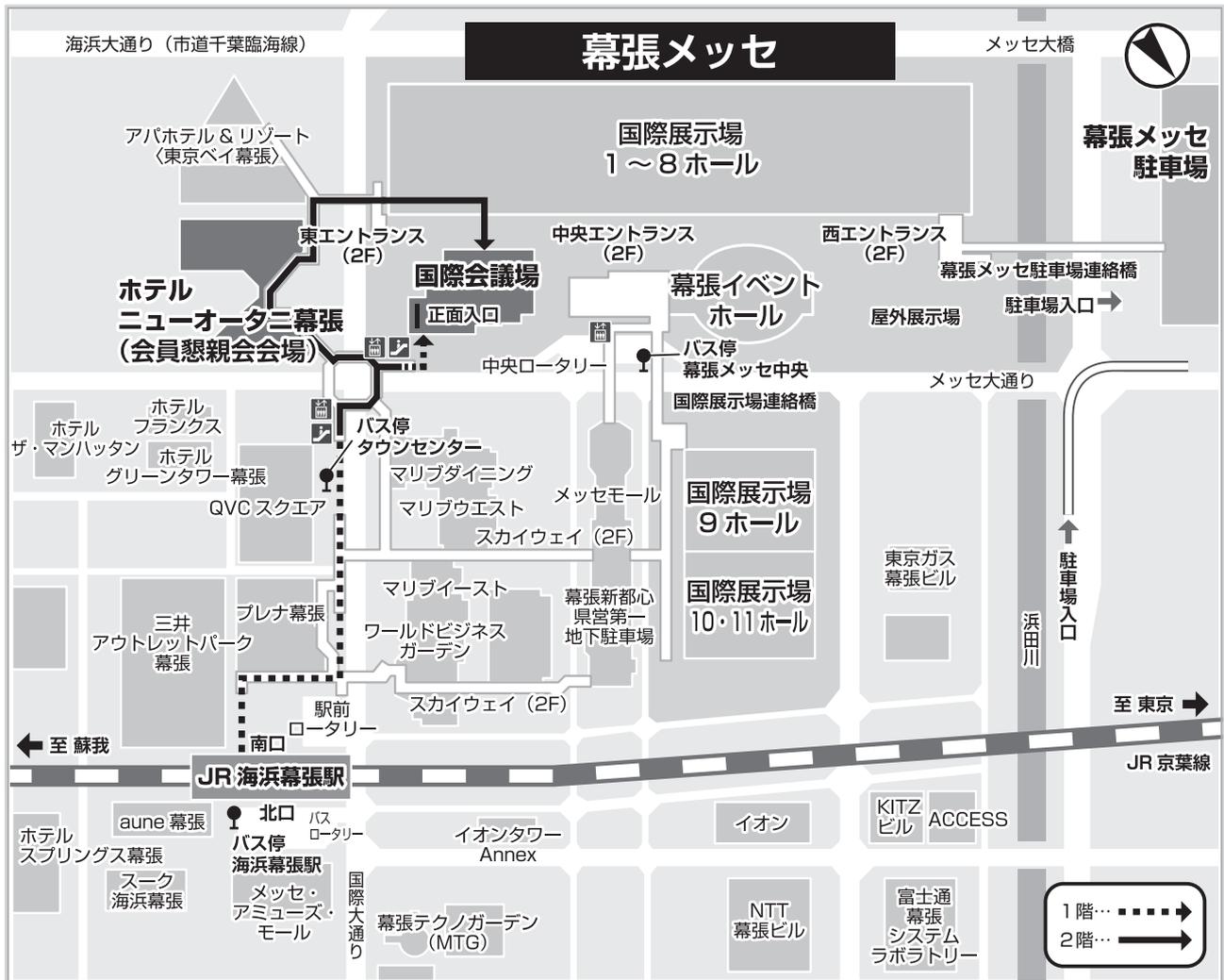
■交通案内	S4
■会場案内	S5
■ポスター会場案内	S8
■お知らせとお願い	S10
■プログラム委員・事務局	S17
■役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S18
■日程	
フロンティア (5月30日)	S19
第1日目 (5月31日)	S20
第2日目 (6月1日)	S22
第3日目 (6月2日)	S24
ポスターセッション (5月31日, 6月1日)	S26
■プログラム	
特別演題日程	S29
フロンティア (5月30日)	S45
第1日目 (5月31日)	S47
第2日目 (6月1日)	S75
第3日目 (6月2日)	S104
■特別演題抄録	
会長講演	S115
特別講演 (1, 2)	S116
招待講演 (1~3)	S119
教育講演 (1~5)	S124
シンポジウム (1~23)	S129
共催シンポジウム	S197
ディベートディスカッション	S200

ガイドライン策定委員会企画 (1, 2)	S202
学会委員会主催セミナー	S209
実践教育セミナー (1~12)	S228
ランチョンセミナー (1~21)	S256
イブニングセミナー	S270
患者家族会企画	S271
市民公開講座	S272
■一般演題抄録 (English Session)	
第 1 日目 (5 月 31 日)	S277
第 2 日目 (6 月 1 日)	S280
第 3 日目 (6 月 2 日)	S288
■一般演題抄録 (口演)	
第 1 日目 (5 月 31 日)	S295
第 2 日目 (6 月 1 日)	S324
第 3 日目 (6 月 2 日)	S348
■一般演題抄録 (ポスター)	
第 1 日目 (5 月 31 日)	S359
第 2 日目 (6 月 1 日)	S414
■索引 (筆頭講演者名)	S469
■歴代総会 / 学術集会会長・開催地・会期一覧	S476
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S477
■日本製薬団体連合会・セミナー共催企業・広告掲載企業・展示協賛企業・寄付企業・ その他 協賛一覧	S479

交通案内

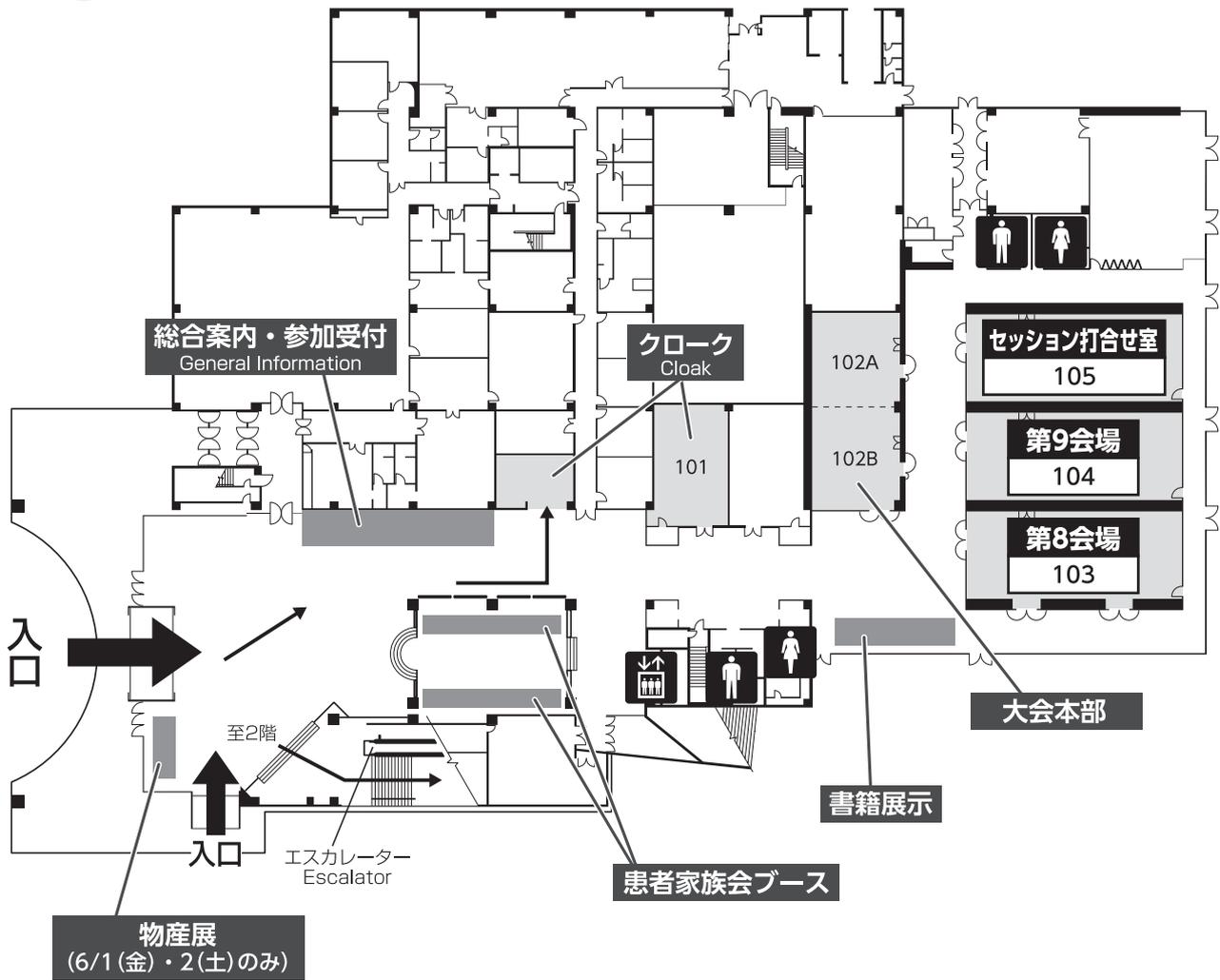


◇ JR 海浜幕張駅からの案内図

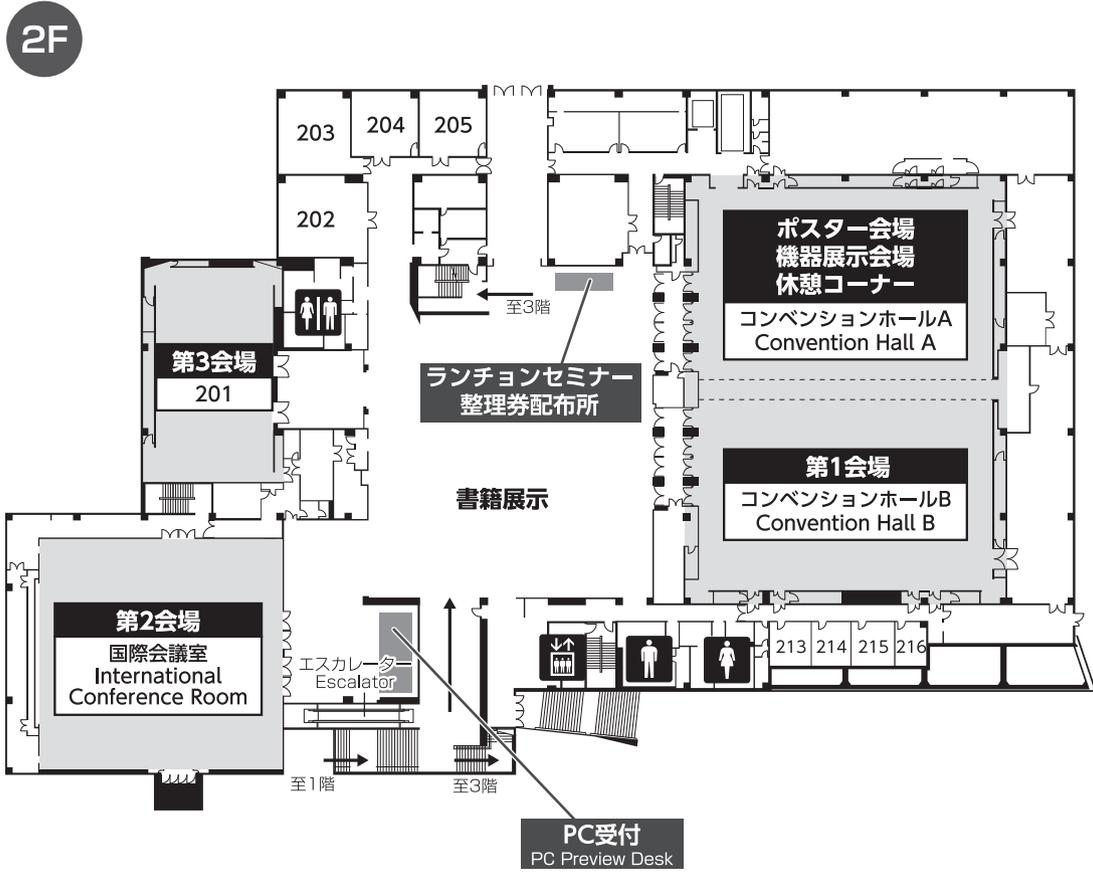


会場案内

1F

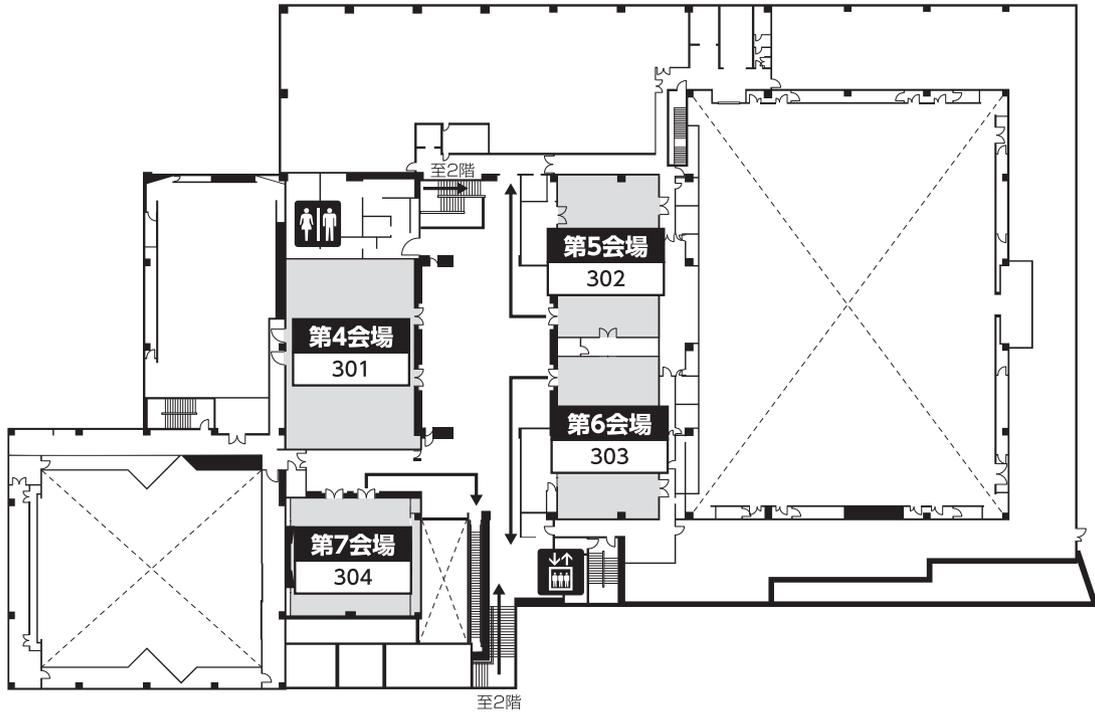


会場案内

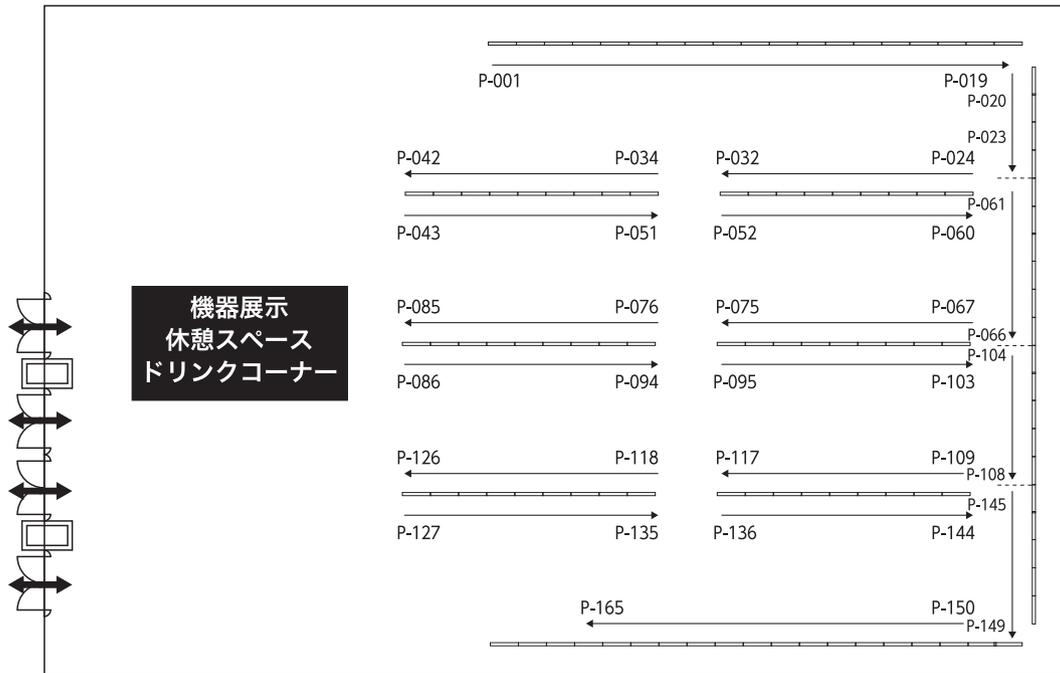


会場案内

3F



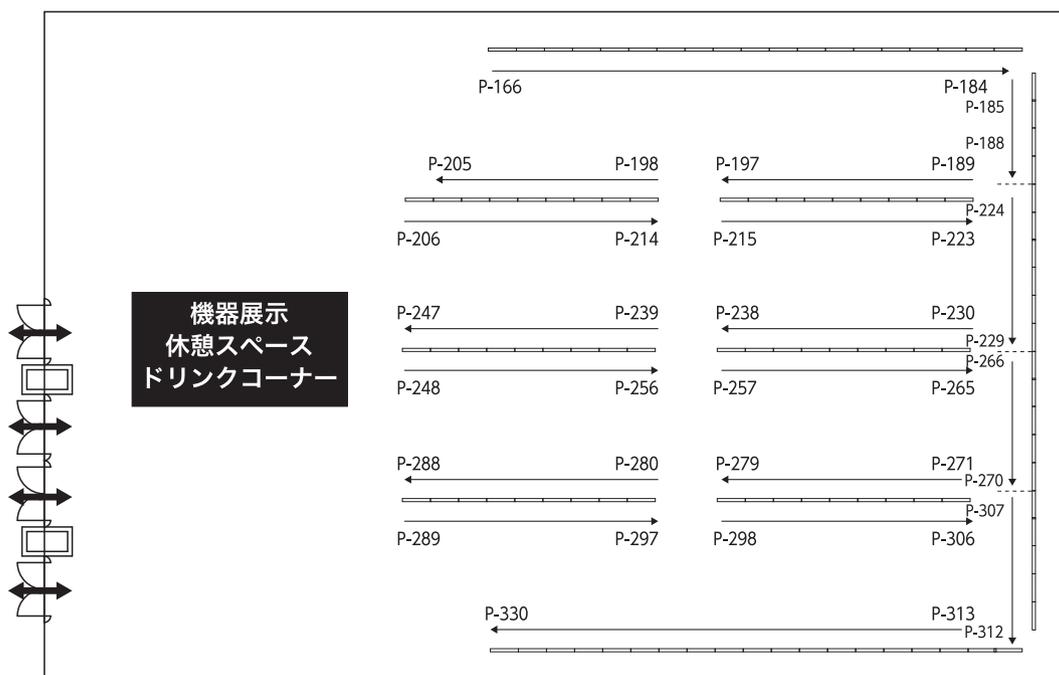
ポスター会場案内 学術集会 1 日目：5 月 31 日（木）ポスター会場（コンベンションホール A）



演題番号	セッション	日時
P-001 ~ P-006	先天異常 1	17:10 ~ 17:40
P-007 ~ P-013	先天異常 2	17:40 ~ 18:15
P-014 ~ P-020	先天異常 3	18:15 ~ 18:50
P-021 ~ P-026	脳性麻痺・療育 1	17:10 ~ 17:40
P-027 ~ P-032	脳性麻痺・療育 2	17:40 ~ 18:15
P-034 ~ P-040	重症心身障害 在宅・レスパイト	18:15 ~ 18:50
P-041 ~ P-046	発達障害 1	17:10 ~ 17:40
P-047 ~ P-051	発達障害 2	17:40 ~ 18:05
P-052 ~ P-057	発達障害 3	18:05 ~ 18:35
P-058 ~ P-063	遺伝・遺伝子異常 1	17:10 ~ 17:40
P-064 ~ P-069	遺伝・遺伝子異常 2	17:40 ~ 18:10
P-070 ~ P-074	てんかん・けいれん 1	18:10 ~ 18:35
P-075 ~ P-080	てんかん・けいれん 2	17:10 ~ 17:40
P-081 ~ P-085	てんかん・けいれん 3	17:40 ~ 18:10
P-086 ~ P-089	てんかん・けいれん 4	18:10 ~ 18:30
P-090 ~ P-095	てんかん・けいれん 5	17:10 ~ 17:40
P-096 ~ P-100	てんかん・けいれん 6	17:40 ~ 18:05
P-101 ~ P-104	てんかん・けいれん 7	18:05 ~ 18:25
P-105 ~ P-109	代謝性疾患 1	17:10 ~ 17:35
P-110 ~ P-115	代謝性疾患 2	17:35 ~ 18:05
P-116 ~ P-122	代謝性疾患 3	18:05 ~ 18:40
P-123 ~ P-129	脳炎・脳症 1	17:10 ~ 17:45
P-130 ~ P-135	感染・免疫 1	17:45 ~ 18:15
P-136 ~ P-141	感染・免疫 2	18:15 ~ 18:45
P-142 ~ P-147	不随意運動	17:10 ~ 17:40
P-148 ~ P-154	早産児・発達	17:40 ~ 18:15
P-155 ~ P-158	精神障害・摂食障害	18:15 ~ 18:35
P-159 ~ P-165	睡眠障害	17:40 ~ 18:15

第1日目
5/31
(木)

学術集会 2 日目：6 月 1 日（金） ポスター会場（コンベンションホール A）



演題番号	セッション	日時
P-166 ~ P-171	遺伝・遺伝子異常 3	17:10 ~ 17:40
P-172 ~ P-177	遺伝・遺伝子異常 4	17:40 ~ 18:10
P-178 ~ P-182	遺伝・遺伝子異常 5	18:10 ~ 18:35
P-183 ~ P-188	染色体異常 1	17:10 ~ 17:40
P-189 ~ P-195	染色体異常 2	17:40 ~ 18:15
P-196 ~ P-199	電気生理	18:15 ~ 18:35
P-200 ~ P-205	発達障害 4	17:10 ~ 17:40
P-206 ~ P-210	発達障害 5	17:40 ~ 18:05
P-211 ~ P-217	発達障害 6	18:05 ~ 18:40
P-218 ~ P-223	てんかん・けいれん 8	17:10 ~ 17:40
P-224 ~ P-229	てんかん・けいれん 9	17:40 ~ 18:10
P-230 ~ P-233	てんかん・けいれん 10	18:10 ~ 18:30
P-234 ~ P-239	てんかん・けいれん 11	17:10 ~ 17:40
P-240 ~ P-245	てんかん・けいれん 12	17:40 ~ 18:10
P-246 ~ P-250	てんかん・けいれん 13	18:10 ~ 18:35
P-251 ~ P-256	てんかん・けいれん 14	17:10 ~ 17:40
P-257 ~ P-261	てんかん・けいれん 15	17:40 ~ 18:05
P-262 ~ P-267	自律神経・頭痛	18:05 ~ 18:35
P-268 ~ P-274	末梢神経	17:10 ~ 17:45
P-275 ~ P-278	形態・病理	17:45 ~ 18:05
P-279 ~ P-285	画像	18:05 ~ 18:40
P-286 ~ P-291	筋肉 1	17:10 ~ 17:40
P-292 ~ P-297	SMA	17:40 ~ 18:10
P-298 ~ P-301	筋肉 2	18:10 ~ 18:30
P-302 ~ P-307	脳炎・脳症 2	17:10 ~ 17:40
P-308 ~ P-313	脳炎・脳症 3	17:40 ~ 18:10
P-314 ~ P-319	脳炎・脳症 4	18:10 ~ 18:40
P-320 ~ P-325	血管障害	17:10 ~ 17:40
P-326 ~ P-330	脳外科領域	17:40 ~ 18:05

第2日目
6/1
(金)

I. 参加者へのご案内

(1) 会場：

幕張メッセ 国際会議場
〒 261-8550 千葉県美浜区中瀬 2-1
TEL：043-296-0001（代表）

(2) 受付：

	日時		場所
学術集会 評議員会（社員総会） プレコングレス	5月30日（水）	11：30～16：00	1F ロビー
学術集会 第1日目	5月31日（木）	7：30～19：00	
学術集会 第2日目	6月1日（金）	8：00～17：30	
学術集会 第3日目	6月2日（土）	8：00～14：00	

(3) 登録：

参加費を受付にてお支払いください。引き換えにネームカード（兼領収書）をお渡ししますので、所属と氏名を記入してください。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期研修医、看護師、心理士、学部生（医学部含む）は、いずれも証明書が必要です。証明書は学術集会ホームページ（<http://www.c-linkage.co.jp/jscn60/participant.html>）よりダウンロードの上、学会当日持参しご提出ください。

参加区分	参加費
日本小児神経学会 会員	16,000 円
日本小児神経学会 非会員	18,000 円
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
看護師、心理士など	5,000 円（証明書提示）
学部生（医学部含む）	2,000 円（証明書提示、大学院生は除く）
会員懇親会	6,000 円（非会員の参加も可能）

(4) 個人情報に関する注意：

個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学術集会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたしております。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情等を呈示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学術集会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(5) 抄録集：

学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参ください。お持ちでない方は総合案内にて1冊2,000円で販売いたしますのでお求めください。ただし、数に限りがあります。

(6) クローク：

月日	時間	場所
5月30日(水)	11:30~18:15	1F ロビー
5月31日(木)	7:30~20:45	
6月1日(金)	8:00~18:15	
6月2日(土)	8:00~16:45	

※ PC・傘・貴重品はお預かりできませんので予めご了承ください。

(7) 実践教育セミナー：

実践教育セミナーをプレコングレス（5月31日（水））と学術集会最終日（6月2日（土））にて開催いたします（事前参加申込制）。

受付枠に余裕があるセミナーについては当日受付を設ける予定ですので、受付枠の空きについては当日会場にてご確認ください。

<事前参加申込をお済ませの方へ>

開催1週間前頃までに登録住所に参加証を送付いたしますので、当日は必ず持参いただきますようお願いいたします。

配布資料があるセミナーについてはあらかじめご自身で資料をダウンロードいただき持参ください。当日の資料の配布はございませんのでご注意ください。

なお実践教育セミナーに参加した場合取得できる単位は以下になります。

・実践教育セミナー 出席各2単位

※ただし1回の学術集会での単位数の上限は4単位とする。

(8) 日本小児神経学会年会費：

平成30年度会費（15,000円）を未納の方は当該受付にて納入してください。

(9) 小児神経専門医研修単位：

以下の通り認められます。

- ・学術集会 出席8単位、発表（筆頭）4単位、発表（連名）1単位
- ・特別講演 各1単位、上限3単位
- ・教育講演 各1単位
- ※全体取得上限を12単位とする。
- ・実践教育セミナー 出席各2単位
- ※ただし、1回の学術集会での単位数の上限は4単位とする。

(10) 専門医研修単位：

特定セッションの参加により以下の単位が認められます。該当セッションについては日程表にてご確認ください。

受講証明書は会場前で配布いたします。

- ・日本小児科学会小児科領域講習 6単位
- ・日本小児科学会小児専門医共通講習（医療倫理） 1単位
- ・日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医 生涯教育10単位（日本専門医機構リハビリテーション科専門医 1単位）

学術集会参加により以下の単位が認められます。

- ・日本神経学会神経内科専門医 認定更新単位 2単位
- ・日本てんかん学会専門医 5単位

・日本リハビリテーション医学会認定臨床医 出席 10 単位

(11) 会員懇親会：

学術集会 2 日目 (6 月 1 日 (金)) 19:00 より, ホテルニューオータニ幕張 2 階鶴の間にて会員懇親会を行います. 多数のご参加をお待ちしています.

(12) 表彰：

本大会では本学会開催 (平成 30 年 5 月 31 日) 時点で, 筆頭演者が 40 歳以下の方のポスター演題の中から若手優秀ポスター賞を, 口演演題の中から特に優秀な発表に対し優秀口演賞を表彰し, 学術集会終了後, ホームページにて発表いたします. 受賞者には後日賞状と副賞をお送りいたします.

(13) 患者家族会ブース：

学術集会期間中に患者家族会ブースを幕張メッセ国際会議場 1 階に設置いたします. 患者やその家族がどのように思い, 何を求めているかということを知り, 診療に生かしていただく良い機会になればと思います. 今回 20 団体を越える患者家族会が出展いたします. 皆様ぜひブースへ足をお運びください.

(14) 「奇跡の子どもたち」上映会：

学術集会最終日の市民公開講座終了後, 「奇跡の子どもたち」を上映いたします. 本作品は希少難病「AADC 欠損症」の患者とその家族を 10 年追ったドキュメンタリーです. 治療法が見つからず希望を失いかけていた 2015 年春, 小児神経では国内初の遺伝子治療が行われました. 手術後一年半, その改善の映像をご覧ください.

参加費：無料

奇跡の子どもたち公式ホームページ <http://www.kisekinokodomotachi.com/>

(15) 物産展：

千葉の特産品を集めた物産展を会場正面玄関入口に設けます. 今回の学会参加のお土産にぜひお立ち寄りください.

<出展時間>

6 月 1 日 (金) 9:00~17:00

6 月 2 日 (土) 9:00~16:00

(16) 会場での呼び出しは原則として行いません.

(17) 駐車場：

会場駐車場は有料になります. 極力公共の交通機関を使ってお越しください.

II. 口演発表の座長各位へ

(1) 担当セッション開始 15 分前までに会場右手前方の次座長席にお越しください.

(2) English Session, 口演発表は 1 演題 10 分 (発表 7 分・質疑応答 3 分) で進行してください. 会場進行責任者からもお知らせをしますが, 時間になりましたら随時セッションを開始してください.

(3) 口演会場では, 発表時間を計時します. 演台, ならびに座長席では, 発表時間終了 1 分前に黄ランプ, 終了時に赤ランプがそれぞれ点灯します. セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします.

III. ポスター発表の座長各位へ

(1) 担当セッション開始 15 分前までに, ポスター座長受付 (2F コンベンションホール A 入口付近) にお越しください.

(2) ポスター発表は 1 演題 5 分 (発表 2 分・質疑応答 3 分) で進行してください. 時間になりましたら随時セッションを開始してください. セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします.

IV. 演題の採択

563 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、English Session 48 題、一般演題（口演）184 題、一般演題（ポスター）330 題と決定しました。

V. 口演発表者へ

(1) 発表時間

発表時間に関して、依頼講演（会長講演、特別講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、市民公開講座、企画セミナー、ディベートディスカッション、実践教育セミナー、委員会主催セミナー、関連研究会、ガイドライン策定委員会企画）の演者は座長の指示に従ってください。

一般口演および English Session の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。

各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、発表時間終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安としてください。

(2) 発表形式

依頼講演、一般口演、English Session とともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。(4)の「PC 発表データ作成について」をご参照ください。English Session にてご発表の先生は、データを英語で作成し、英語でご発表ください。なお、学術集会の国際化を図るにあたり、一般口演も英語での発表・英語スライドの作成を推奨します。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意ください。発表者は発表セッション開始 1 時間前（早朝発表者は 30 分前）までにデータ受付を済ませてください。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
5 月 30 日（水）	11：30～15：30	2F 国際会議室前
5 月 31 日（木）	7：30～18：30	
6 月 1 日（金）	8：00～17：00	
6 月 2 日（土）	8：00～13：30	

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反（COI）開示のお願い

応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI（筆頭発表者ならびに共同発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など）に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。

COI の有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて、COI の開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 60 回学術集会ホームページでご確認ください。

【第 60 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.c-linkage.co.jp/jscn60/presenter.html>

◎データは以下の要領で作成してください。

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能ですが、なるべくノートパソコンの持ち込みは避け、メディアでの

お持ち込みをお願いいたします。

- ・ Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意してください。動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。完成したパワーポイントファイルを、USB メモリなどのメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動画を再生して、きちんと再生されれば原則的に問題はありません。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS：Windows 7 以降の環境で作成してください。
- ・ アプリケーション：Microsoft PowerPoint 2010, 2013, 2016
- ・ 画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成してください。

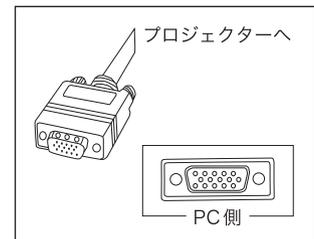
【データの提出方法】

- ・ メディアの形式：USB ストレージまたは CD-R のみ受け付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参ください。
- ・ 発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存してください。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル (動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む) 以外のデータは入れないでください。
- ・ データの受付および返却：USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場でご返却いたします。
- ・ データの受付時間：発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出してください (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませてください)。
- ・ 発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ノートパソコンをお持ち込みの場合 (Windows, Macintosh とも)

【ノートパソコンの条件】

- ・ 外部出力ができる PC をご持参ください。
- ・ 会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
- ・ 変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意ください。
- ※ HDMI や Mini DisplayPort など D-sub 15 ピン以外の接続は受けできません。



[mini D-sub 15 ピン]コネクタ形状

- ・ 必ず AC アダプター (電源コード) をご持参ください。
- AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承ください。

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・ 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をしてください (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませてください)。
- ・ PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動してください。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに

会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ちください。

・発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取りください。

(5) 発表方法

- ・舞台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行ってください。
- ・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控えください。

VI. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

掲示	5/31 (木)・6/1 (金) の各日 8:30~11:30 の間に各自で掲示してください。		
発表	5/31 (木)	17:10~18:50	※詳細は, S8 ページをご参照ください。
	6/1 (金)	17:10~18:45	※詳細は, S9 ページをご参照ください。
撤去	5/31 (木)	18:50~19:30 の間に各自で撤去してください。	
	6/1 (金)	18:45~19:30 の間に各自で撤去してください。	

※ポスター発表は 1 演題 5 分 (発表 2 分・質疑応答 3 分) です。座長の進行のもと、発表を行ってください。なお、ポスター発表者用の受付はございませんので、セッション開始 10 分前までに、演者リボンを付けて各自ポスターパネル前で待機してください。

※ポスターは時間内に責任をもって撤去をお願いいたします。撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承ください。

(2) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反 (COI) 開示のお願い

応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI の開示が義務付けられています。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 60 回学術集会ホームページよりご確認ください。

【第 60 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.e-linkage.co.jp/jscn60/presenter.html>

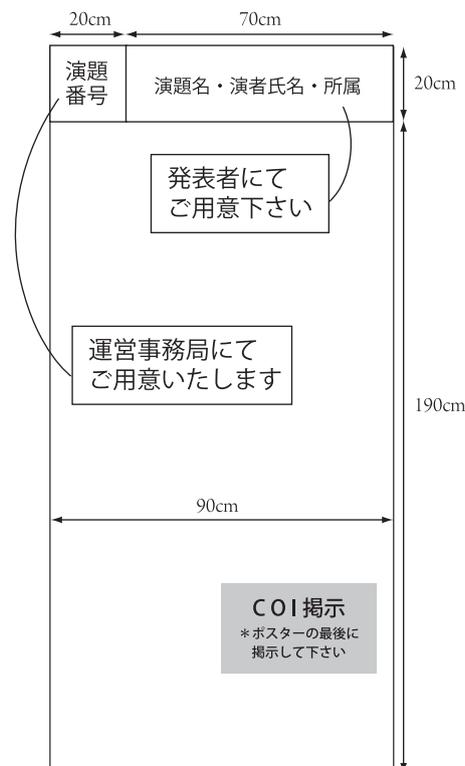
◎掲示面について

ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm、高さ 210 cm です (右図参照)。

パネルの左肩に 20 cm×20 cm の演題番号が表示されます (演題番号は、学会事務局にて用意します)。

発表者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅 70 cm、高さ 20 cm のスペースに演題名、演者氏名、所属とすべての共同演者氏名を提示してください。

本文はその下の 90 cm×190 cm のスペースに掲示してください。画鋏は各パネルに用意します。



VII. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学会 1 日目 (5 月 31 日 (木))

12 時 30 分よりランチョンセミナー 1~7 を開催します。

18 時 30 分よりイブニングセミナーを開催します。

■学会 2 日目 (6 月 1 日 (金))

12 時 30 分よりランチョンセミナー 8~15 を開催します。

■学会 3 日目 (6 月 2 日 (土))

12 時 30 分よりランチョンセミナー 16~21 を開催します。

※ランチョンセミナーは昼食、イブニングセミナーは軽食をご用意いたします。

(2) ランチョンセミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
5 月 31 日 (木)	7:30~11:30	2F ロビー
6 月 1 日 (金)	8:00~11:30	
6 月 2 日 (土)	8:00~11:30	

ランチョンセミナーの参加には、参加整理券（無料）が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取りください。参加整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場ください。

なお、参加整理券はランチョンセミナー開始後に無効となりますのでご注意ください。

(3) イブニングセミナーは整理券の配布はありません。直接会場へお越しください。

VIII. 託児室

学会手配の託児施設をご利用いただけます。詳細は学術集会ホームページをご確認ください。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

IX. 抄録集アプリ

本学術集会のプログラム検索、抄録閲覧、スケジュール管理ができるアプリケーションです。聴講したいセッションや演題を検索、スケジュール登録（ブックマーク）することで、ご自身のスケジュール管理ツールとしてご利用いただけます。

●アプリ版

アプリ名：第 60 回日本小児神経学会学術集会/The 60th Annual Meeting of the Japanese Society of Child Neurology

対応機種：iPad, iPhone, Android

ダウンロード方法：App Store, Google Play より「jscn60」で検索し、「第 60 回日本小児神経学会学術集会」をダウンロードしてください（無料）。

●Web 版

第 60 回日本小児神経学会学術集会のホームページ (<http://www.c-linkage.co.jp/jscn60/index.html>) をご覧ください。

抄録閲覧パスワード：jscn2018



プログラム委員会 (50 音順・敬称略)

阿部 裕一	井手 秀平	伊東 恭子	稲葉 雄二	今高 城治	岩田 欧介	岡西 徹
小國 弘量	奥村 彰久	奥山 虎之	小坂 仁	小沢 浩	加藤 光広	川上 康彦
城所 博之	吉良 龍太郎	久保田 雅也	熊田 聡子	小枝 達也	小林 勝弘	小牧 宏文
齋藤 伸治	斎藤 義朗	酒井 規夫	佐久間 啓	佐々木 征行	白石 秀明	高梨 潤一
玉井 浩	遠山 潤	富田 直	友田 明美	中川 栄二	永瀬 裕朗	夏目 淳
萩野谷和裕	服部 文子	浜野 晋一郎	林 雅晴	廣瀬 伸一	広瀬 宏之	藤井 克則
前垣 義弘	村松 一洋	森 壱	山形 崇倫	山中 岳	山内 秀雄	山本 俊至
米山 明						

第 60 回日本小児神経学会学術集会

会長 岡 明 (東京大学医学部小児科)
副会長 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
 三牧 正和 (帝京大学医学部小児科)
事務局長 星野 英紀 (帝京大学医学部小児科)

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ
 〒 102-0075 東京都千代田区三番町 2
 TEL : 03-3263-8688 FAX : 03-3263-8693
 E-mail : jscn60@c-linkage.co.jp

第 60 回日本小児神経学会学術集会●役員会・各種委員会・関連プログラム日程

日程	時間	会合名	会場名	階	部屋番号/部屋名
5月30日(水) (プレコングレス)	11:00~15:00	理事会	幕張メッセ国際会議場	1階	105
	15:15~17:15	第42回評議員会(第12回社員総会)	幕張メッセ国際会議場	2階	コンベンションホールB
	14:45~17:15	選挙管理委員会	幕張メッセ国際会議場	2階	205
	12:50~15:20	実践教育セミナー1	幕張メッセ国際会議場	2階	201
	12:50~15:20	実践教育セミナー2	幕張メッセ国際会議場	3階	301
	12:50~15:20	実践教育セミナー3	幕張メッセ国際会議場	3階	302
	12:50~14:50	実践教育セミナー4	幕張メッセ国際会議場	3階	303
	15:00~17:00	実践教育セミナー5	幕張メッセ国際会議場	3階	303
	15:30~18:00	実践教育セミナー6	幕張メッセ国際会議場	2階	201
15:30~18:00	実践教育セミナー7	幕張メッセ国際会議場	3階	301	
15:30~18:00	実践教育セミナー8	幕張メッセ国際会議場	3階	304	
5月31日(木) (学術集会第1日目)	7:30~8:30	社会活動・広報委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	すみれ
	7:30~8:30	長期計画委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	ゆり
	7:30~8:30	産科医療補償制度小委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜A
	7:30~8:30	国際化推進委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜B
	7:30~8:30	ホームページ委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	橘
	7:30~8:30	共同研究支援委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	椿
	12:30~13:30	脳と発達編集委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	すみれ
	12:30~13:30	熱性けいれん診療ガイドライン改訂WG	ホテルニューオータニ幕張	2階	ゆり
	12:30~13:30	医療安全委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜A
	12:30~13:30	結節性硬化症に伴うてんかんの治療ガイドラインWG	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜B
	12:30~13:30	倫理委員会・COI委員会(合同)	ホテルニューオータニ幕張	3階	橘A
	12:30~13:30	社会保険小委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	橘B
	12:30~13:30	小児の嚥下の診断・治療ガイドラインWG	ホテルニューオータニ幕張	3階	椿
	14:30~15:30	アドバイザー・カウンセラー	ホテルニューオータニ幕張	3階	寿
6月1日(金) (学術集会第2日目)	8:00~9:00	薬事小委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	すみれ
	8:00~9:00	用語委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	ゆり
	8:00~9:00	災害対策小委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜
	8:00~9:00	アーカイブ小委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	橘
	8:00~9:00	小慢・指定難病に関する委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	寿
	12:30~13:30	Brain & Development 編集委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	ステラ
	12:30~13:30	乳児ボツリヌス症WG	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜A
	12:30~13:30	ガイドライン統括委員会	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜B
	12:30~13:30	学校での人工呼吸器使用に関するWG	ホテルニューオータニ幕張	3階	橘
13:30~14:00	日本小児神経学会 優秀論文賞授賞式 ミニ講演	幕張メッセ国際会議場	3階	303	
19:00~20:45	会員懇親会	ホテルニューオータニ幕張	2階	鶴	
6月2日(土) (学術集会第3日目)	8:00~9:00	専門医委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	すみれ
	8:00~9:00	教育委員会	ホテルニューオータニ幕張	2階	ゆり
	8:00~9:00	小児けいれん重積治療ガイドライン策定WG	ホテルニューオータニ幕張	3階	桜
	8:00~9:00	チック診療ガイドライン策定WG	ホテルニューオータニ幕張	3階	橘
	9:00~12:00	実践教育セミナー9	幕張メッセ国際会議場	1階	103
	12:30~13:20	産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部/ランチョンセミナー20	幕張メッセ国際会議場	3階	303
	13:30~16:30	実践教育セミナー10	幕張メッセ国際会議場	3階	303
	13:30~16:30	実践教育セミナー11	幕張メッセ国際会議場	3階	304
	13:30~16:30	実践教育セミナー12	幕張メッセ国際会議場	1階	103
	13:30~15:30	市民公開講座	幕張メッセ国際会議場	2階	国際会議室
	15:30~17:00	映画「奇跡の子どもたち」上映会	幕張メッセ国際会議場	2階	国際会議室
16:00~17:00	第61回学術集会プログラム委員会	幕張メッセ国際会議場	3階	302	

第 60 回日本小児神経学会学術集会 ● 日程 プレコンgress 〈5月30日(水)〉

	第 1 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	理事会会場
	2 階 コンベンションホールB	2 階 201	3 階 301	3 階 302	3 階 303	3 階 304	1 階 105
11:00							
12:00							
13:00							理事会 11:00 ~ 15:00
14:00		実践教育 セミナー 1 12:50 ~ 15:20 ここまでわかった 神経症候学 演者：城所博之 青天目 信 久保田雅也 座長：久保田雅也	実践教育 セミナー 2 12:50 ~ 15:20 小児科医のための 神経画像2018； MRI をもう一度 学びなおそう 演者：高梨潤一 森 壘 大場 洋 安藤久美子 藤田和俊 座長：高梨潤一 大場 洋	実践教育 セミナー 3 12:50 ~ 15:20 第4回小児脳機能 研究会一臨床に 役立つ臨床神経 生理— 演者：白石秀明 金村英秋 加賀佳美 安元佐和 座長：相原正男 測上達夫	実践教育 セミナー 4 12:50 ~ 14:50 知っておきたい 「医療的ケア児」 支援の実際：小児等 在宅医療における 「医療的ケア」のコツ (1) 演者：米山 明 舟塚 真 中谷勝利 座長：米山 明 S236		
15:00		S228	S230	S233			
16:00	第42回評議員会 (第12回社員総会) 15:15 ~ 17:15	実践教育 セミナー 6 15:30 ~ 18:00 小児神経科医の ための診断推論 演者：稲垣真澄 熊田聡子 伊藤彰一 座長：杉田克生	実践教育 セミナー 7 15:30 ~ 18:00 こどもの頭痛 マスターズスクール 演者：安藤直樹 桑原健太郎 疋田敏之 西村 陽 座長：荒木 清 山中 岳		実践教育 セミナー 5 15:00 ~ 17:00 知っておきたい 「医療的ケア児」 支援の実際：小児等 在宅医療における 「医療的ケア」のコツ (2) 演者：山口直人 高橋長久 座長：中谷勝利 米山 明 S238	実践教育 セミナー 8 15:30 ~ 18:00 新生児脳波判読 コンペティション —初心者歓迎— 演者：加藤 徹 深沢達也 座長：久保田哲夫 城所博之	
17:00							
18:00		S240	S242			S245	

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第60回日本小児神経学会学術集会●日程 第1日目〈5月31日(木)〉

JSCN: 日本小児神経学会専門医研修単位, JSP①: 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, JSP②: 日本小児科学会小児科専門医

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	2階	2階	2階	3階	3階
8:00	コンベンションホールB	国際会議室	201	301	302
	開会式 8:20~8:25 会長講演 8:25~8:55 小児神経学として 社会への貢献を 演者: 岡 明 座長: 齋藤伸治 S115				
9:00	特別講演1 JSCN 9:00~10:00 Kindling knowledge in developmental aspects of epilepsy 演者: Solomon L. Moshé 座長: 高橋孝雄 S116				
10:00					
11:00	シンポジウム1 10:10~12:10 急性脳症の最新知見 演者: 水口 雅 奥村彰久 高梨潤一 山内秀雄 星野 愛 佐久間 啓 座長: 高梨潤一 水口 雅 S129	シンポジウム2 10:10~12:10 周生期に始まる光環境と 生体周期・疾病発症の 関係を読み解く 演者: 増渕 悟 木下正啓 関根道和 糸 和彦 座長: 岩田欧介 高橋尚人 S133	シンポジウム3 10:10~12:10 先天性サイトメガロウイルス 感染症の診療の進歩 演者: 岡 明 森内浩幸 森岡一朗 稲葉雄二 吉田美知代 座長: 森内浩幸 岡 明 S136	シンポジウム4 10:10~12:10 ミトコンドリア病診療の 現状と未来 演者: 三牧正和 八ッ賀秀一 竹下絵里 末岡 浩 山田勇磨 座長: 後藤雄一 三牧正和 S139	JSP② 倫理委員会・COI委員会 主催セミナー 10:10~11:20 臨床研究不正事例から 学ぶ, 研究公正 演者: 伏木信次 座長: 伊東恭子 S209
12:00					
13:00			ランチョンセミナー1 12:30~13:20 注意欠陥多動性障害の 治療の進歩 演者: 柳原洋一 座長: 作田亮一 S256	ランチョンセミナー2 12:30~13:20 日常臨床に潜む カルニチン欠乏症 演者: 大竹 明 座長: 高柳正樹 S256	ランチョンセミナー3 12:30~13:20 結節性硬化症に伴う皮膚 病変への新しい治療戦略 演者: 白石秀明 座長: 大野耕策 S257
14:00	招待講演1 JSCN 13:30~14:30 The immune system and the brain 演者: Russell C. Dale 座長: 山本 仁 S119	教育講演1 JSCN JSP① 13:30~14:30 思春期の神経発達症に 対する理解と支援 演者: 松本英夫 座長: 高田 哲 S124	教育講演2 JSCN JSP① 13:30~14:30 神経筋電気診断: 小児への応用も含めて 演者: 園生雅弘 座長: 熊田聡子 S125	シンポジウム5 13:30~16:00 小児神経疾患への 新しい神経放射線学的 手法の応用 演者: 青木茂樹 井田正博 田岡俊昭 高梨潤一 梅尾 理 座長: 奥村彰久 森 壱 S142	シンポジウム6 13:30~15:30 小児神経疾患への遺伝子・ 細胞治療臨床応用 演者: 小坂 仁 Kee-Hong Kim 小島華林 大森 司 竹谷 健 座長: 齋藤伸治 山形崇倫 S145
15:00	シンポジウム7 14:40~16:40 ILAEてんかん・発作型 分類2017を読み解く 演者: Solomon L. Moshé 日暮憲道 須貝研司 座長: 日暮憲道 秋山倫之 S148	シンポジウム8 14:40~16:40 小児神経科医が 知っておくべき思春期 神経発達症・心身医学 演者: 石崎優子 作田亮一 永光信一郎 田副真美 指定発言: 石崎朝世 座長: 作田亮一 松本英夫 S150	シンポジウム9 14:40~16:10 小児神経科医が知って おくべき末梢神経の臨床 演者: 藤井克則 武下草生子 石山昭彦 座長: 藤井克則 石山昭彦 S153		
16:00					シンポジウム10 15:40~17:20 小児神経難病の地域に おけるマネジメント 演者: 石垣景子 里 龍晴 藤井達哉 熊谷俊幸 石川悠加 座長: 石川悠加 藤井達哉 S155
17:00					
18:00					
19:00		イブニングセミナー 18:30~19:20 AVXS-101 single-dose gene-replacement therapy for spinal muscular atrophy 演者: Jerry R. Mendell 座長: 齋藤加代子 S270	第3回小児免疫性 神経筋疾患 (MG/CIDP)研究会 18:30~20:30	第12回子どもの眠り研究会 18:30~20:30	医療安全委員会 主催セミナー 18:30~20:30 小児神経領域の医療安全 を求めた更なる取組 演者: 下川尚子 早野駿佑 山内秀雄 大嶽浩司 座長: 山内秀雄 是松聖悟 S213
20:00					

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。太枠は関連セッションとなります。連続したご参加を推奨いたします。

第 60 回日本小児神経学会学術集会 ● 日程 第 1 日目 〈 5 月 31 日 (木) 〉

共通講習 (医療倫理) 単位取得可能セッション, [JARM] : 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位取得可能セッション

	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場
	3 階	3 階	1 階	1 階
	303	304	103	104
8 : 00				
9 : 00				
10 : 00				
11 : 00		てんかん・けいれん 1 West 症候群など 10 : 10 ~ 11 : 10 O-001 ~ O-006 座長 : 石崎義人 福田光成 S295	発達障害 1 自閉スペクトラム症 10 : 10 ~ 11 : 20 O-035 ~ O-041 座長 : 林 隆 古荘純一 S306	脳性麻痺 1 10 : 10 ~ 11 : 10 O-057 ~ O-062 座長 : 北住映二 岩崎裕司 S313
12 : 00		てんかん・けいれん 2 新規抗てんかん薬 11 : 10 ~ 12 : 10 O-007 ~ O-012 座長 : 須貝研司 夏目 淳 S297	発達障害 2 11 : 20 ~ 12 : 10 O-042 ~ O-046 座長 : 関 あゆみ 玉井 浩 S308	筋肉 1 11 : 10 ~ 11 : 50 O-063 ~ O-066 座長 : 石垣景子 福田冬季子 S315
13 : 00	ランチョンセミナー 4 12 : 30 ~ 13 : 20 脳腸相関における腸内細菌の役割 演者 : 福土 審 座長 : 萩野谷和裕 S257	ランチョンセミナー 5 12 : 30 ~ 13 : 20 セロイドリポフスチノーシス (NCL) の診断と治療 — 最近の進歩 — 演者 : 衛藤義勝 座長 : 大澤真木子 S258	ランチョンセミナー 6 12 : 30 ~ 13 : 20 てんかんの移行診療 — 小児神経科医の立場から — 演者 : 吉永治美 座長 : 今井克美 S258	ランチョンセミナー 7 12 : 30 ~ 13 : 20 小児神経疾患に潜するゴーシェ病 演者 : 田中 学 瀬戸俊之 座長 : 重松秀夫 S259
14 : 00	長期計画委員会ワークショップ 13 : 30 ~ 16 : 30 長期計画委員会企画 2035 年の小児神経科医 演者 : 小倉加恵子 三山佐保子 多田弘子 鶴澤礼実 座長 : 神山 潤 友田明美 S210	てんかん・けいれん 3 その他 1 13 : 30 ~ 14 : 30 O-013 ~ O-018 座長 : 松尾宗明 東田好弘 S299	急性脳症 1 AESD 13 : 30 ~ 14 : 30 O-047 ~ O-052 座長 : 山中 岳 永瀬裕朗 S310	筋肉 2 13 : 30 ~ 14 : 40 O-067 ~ O-073 座長 : 竹島泰弘 石川悠加 S317
15 : 00		遺伝・染色体異常 1 14 : 30 ~ 15 : 30 O-019 ~ O-024 座長 : 久保田健夫 山本圭子 S301	感染免疫 14 : 30 ~ 15 : 10 O-053 ~ O-056 座長 : 植松 貢 浜野晋一郎 S312	脳性麻痺 2 14 : 40 ~ 15 : 30 O-074 ~ O-078 座長 : 三浦清邦 井手秀平 S319
16 : 00		不随意運動 15 : 30 ~ 16 : 20 O-025 ~ O-029 座長 : 佐々木征行 熊田聡子 S303	English Session 1 代謝異常・遺伝子治療 15 : 10 ~ 16 : 10 E-001 ~ E-006 座長 : 新井田 要 下澤伸行 S277	発達障害 3 療育・支援 15 : 30 ~ 16 : 30 O-079 ~ O-084 座長 : 中村みほ 川谷正男 S321
17 : 00		先天異常・神経皮膚症候群 16 : 20 ~ 17 : 10 O-030 ~ O-034 座長 : 久保田雅也 岡西 徹 S304	English Session 2 脳症・免疫 16 : 10 ~ 16 : 50 E-007 ~ E-010 座長 : 高橋幸利 長澤哲郎 S279	精神障害・睡眠障害 16 : 30 ~ 17 : 10 O-085 ~ O-088 座長 : 福水道郎 永光信一郎 S323
18 : 00				
19 : 00				
20 : 00				

第 60 回日本小児神経学会学術集会 ● 日程 第 2 日目 〈 6 月 1 日 (金) 〉

JSCN : 日本小児神経学会専門医研修単位, JSP① : 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, JSP② : 日本小児科学会小児科専門医

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場
	2 階	2 階	2 階	3 階	3 階
	コンベンションホール B	国際会議室	201	301	302
9 : 00	教育講演 3 JSCN JSP① 9 : 00 ~ 10 : 00 小児てんかんに対する 外科治療アップデート 演者 : 川合謙介 座長 : 山内秀雄 S126	招待講演 2 JSCN 9 : 00 ~ 10 : 00 From Leigh syndrome to pontocerebellar hypoplasia and beyond 演者 : David R. Thorburn 座長 : 三牧正和 S121			共同研究支援委員会 主催セミナー 9 : 00 ~ 11 : 00 第一部 日本小児神経学会が 支援する共同研究報告 演者 : 秋山倫之 東川幸嗣 松石豊次郎 座長 : 森本昌史 萩野谷和裕
10 : 00					第二部 エキスパートに聞く 「患者登録システムを活用 した治験・臨床研究の推進」 演者 : 小牧宏文 伊藤雅之 座長 : 森本昌史 高橋 悟 S216
11 : 00	シンポジウム 11 10 : 10 ~ 12 : 10 医療的ケア児者の 学校生活支援 演者 : 森下 平 田添敦孝 堀岡伸彦 田村正徳 植田陽子 高田 哲 座長 : 前田浩利 小沢 浩 S158	シンポジウム 12 10 : 10 ~ 12 : 10 てんかんの治療 Update : 新規抗てんかん薬の使い方 エキスパートオピニオン 演者 : 中川栄二 遠山 潤 秋山倫之 白石秀明 座長 : 中川栄二 遠山 潤 S162	シンポジウム 13 10 : 10 ~ 12 : 10 発達のもろ性 — Bio-Psych- Social からみた理解と支援 — 演者 : 岩田欧介 永田雅子 小倉加恵子 田中恭子 座長 : 田中恭子 岩田欧介 S165	シンポジウム 14 10 : 10 ~ 12 : 10 小児神経とオートファジー病 : 基礎から臨床まで 演者 : 森下英晃 大友孝信 齋藤伸治 村松一洋 座長 : 齋藤伸治 村松一洋 S168	
12 : 00					
13 : 00	ランチョンセミナー 8 12 : 30 ~ 13 : 20 ここまでできた 脊髄性筋萎縮症 (SMA) 治療 演者 : 弓削康太郎 栗野宏之 座長 : 齋藤加代子 S260		ランチョンセミナー 9 12 : 30 ~ 13 : 20 モノアミン神経の発達と attention deficit hyperkinetic disorder (ADHD) の治療 演者 : 星野恭子 座長 : 山形崇倫 S261	ランチョンセミナー 10 12 : 30 ~ 13 : 20 ASD を含む神経発達障害の 包括的理解 : 生物学的指標 (発達の中間表現型) の視点から 演者 : 友田明美 座長 : 石崎朝世 S261	ランチョンセミナー 11 12 : 30 ~ 13 : 20 小児脳性麻痺の痙攣治療 — 沖縄県での多職種・ 多施設チームアプローチ — 演者 : 金城 健 安里 隆 座長 : 玉崎章子 S262
14 : 00	ガイドライン 策定委員会企画 1 13 : 30 ~ 15 : 00 小児けいれん重積治療 ガイドライン 2017 を どのように活かすか 演者 : 西山将広 菊池健二郎 松浦隆樹 井上賢治 丸山あずさ 浜野晋一郎 座長 : 林 北見 秋山倫之 S202	シンポジウム 15 13 : 30 ~ 15 : 10 結節性硬化症の診療 : 最新の情報 演者 : 新井田 要 岡西 徹 川合謙介 佐藤敦志 吉永治美 座長 : 久保田雅也 水口 雅 S171	招待講演 3 JSCN 13 : 30 ~ 14 : 30 Undiagnosed disease program in Korea 演者 : Jong-Hee Chae 座長 : 井上 健 S123	教育講演 4 JSCN JSP① 13 : 30 ~ 14 : 30 自閉スペクトラム症の ゲノム解析結果を起点とした 分子病態解明の現状 演者 : 尾崎紀夫 座長 : 難波栄二 S127	シンポジウム 16 13 : 30 ~ 15 : 30 神経炎症と 小児精神神経疾患 演者 : Russell C. Dale 福田光成 山中 岳 西田裕哉 座長 : Russell C. Dale 佐久間 啓 S174
15 : 00			シンポジウム 17 14 : 40 ~ 16 : 40 筋疾患の最新知識 演者 : 小牧宏文 石垣景子 西野一三 櫻井英俊 座長 : 小牧宏文 竹島泰弘 S177	シンポジウム 18 14 : 40 ~ 16 : 40 重篤な神経疾患を抱える 子どもの緩和ケア — 終末期を見据えた 話し合いについて — 演者 : 寺嶋 宙 岡崎 伸 余谷暢之 板井孝太郎 笹月桃子 座長 : 前垣義弘 余谷暢之 S180	
16 : 00	シンポジウム 19 15 : 10 ~ 17 : 10 これからの発達支援 演者 : 熊崎博一 原田剛志 松崎くみ子 井上祐紀 座長 : 広瀬宏之 柴田光規 S183	共催シンポジウム 15 : 20 ~ 17 : 20 結節性硬化症の診療を通じて 多施設・多領域連携を築く 演者 : 波多野孝史 今井克美 永瀬裕朗 足立昌夫 座長 : 高橋孝雄 齋藤伸治 S197			
17 : 00					
18 : 00				患者家族会企画 17 : 00 ~ 18 : 00 患者さん家族の 声を聴こう S271	

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。太枠は関連セッションとなります。連続したご参加を推奨いたします。

会員懇親会
 19 : 00 ~ 20 : 45
**会場 : ホテルニューオータニ幕張 2 階
 大会議場『鶴の間』**

第 60 回日本小児神経学会学術集会 ● 日程 第 2 日目 〈6 月 1 日 (金)〉

共通講習 (医療倫理) 単位取得可能セッション, [JARM]: 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位取得可能セッション

	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場
	3 階 303	3 階 304	1 階 103	1 階 104
9:00		急性脳症 2 9:00 ~ 10:00 O-089 ~ O-094 座長: 多田弘子 星野 愛 S324	画像 9:00 ~ 9:50 O-124 ~ O-128 座長: 森 健治 城所博之 S336	発達障害 4 ADHD 9:00 ~ 10:00 O-129 ~ O-134 座長: 門田行史 山下裕史郎 S337
10:00		急性脳症 3 自己免疫性脳炎など 10:00 ~ 11:00 O-095 ~ O-100 座長: 鳥巢浩幸 後藤知英 S326	English Session 3 遺伝 9:50 ~ 10:50 E-011 ~ E-016 座長: 加藤光広 山本俊至 S280	末梢神経・自律神経 10:00 ~ 10:40 O-135 ~ O-138 座長: 藤井克則 斎藤義朗 S339
11:00		遺伝・染色体異常 2 11:00 ~ 11:50 O-101 ~ O-105 座長: 和田敬仁 村上信行 S328	English Session 4 先天異常 10:50 ~ 11:50 E-017 ~ E-022 座長: 千代延友裕 粟屋智就 S282	代謝性疾患 10:40 ~ 11:50 O-139 ~ O-145 座長: 新宅治夫 大竹 明 S341
12:00				
13:00	ランチョンセミナー 12 12:30 ~ 13:20 いつ, どのように疑う!? 治療可能な筋疾患 演者: 榎中征哉 七字美延 座長: 奥山虎之 S263	ランチョンセミナー 13 12:30 ~ 13:20 先天性サイトメガロウイルス感染の 新生児スクリーニング, 体外診断用医薬品を用いた確定診断, そしてワクチン開発 演者: 井上直樹 座長: 森岡一朗 S264	ランチョンセミナー 14 12:30 ~ 13:20 グルタミン酸受容体拮抗薬の作用機序 —基礎と臨床のTranslatability— 演者: 池田昭夫 岡田元宏 座長: 高橋孝雄 S264	ランチョンセミナー 15 12:30 ~ 13:20 点頭てんかん治療 up to date —専門医の立場から— 演者: 池本 智 神部友香 座長: 中川榮二 S265
14:00	日本小児神経学会 優秀論文賞 授賞式 ミニ講演会 13:30 ~ 14:00	てんかん・けいれん 4 診断・遺伝子 13:30 ~ 14:30 O-106 ~ O-111 座長: 遠山 潤 酒井康成 S330	English Session 5 発達障害 13:30 ~ 14:40 E-023 ~ E-029 座長: 山形崇倫 小枝達也 S284	新生児・周産期障害 13:30 ~ 14:40 O-146 ~ O-152 座長: 森岡一朗 武内俊樹 S343
15:00	教育講演 5 14:10 ~ 15:10 学会プレゼンの極意: わかりやすいスライド作成 のための10カ条 演者: 渡部欣忍 座長: 村松一洋 S128	電気生理 14:30 ~ 15:40 O-112 ~ O-118 座長: 小林勝弘 測上達夫 S332	English Session 6 脳性麻痺・新生児 14:40 ~ 15:40 E-030 ~ E-035 座長: 荒井 洋 竹内章人 S286	神経変性疾患 14:40 ~ 15:30 O-153 ~ O-157 座長: 萩野谷和裕 小坂 仁 S345
16:00	国際化推進委員会主催セミナー 15:20 ~ 16:50 そうだ! 海外へ行こう —海外留学のススメ— 演者: 石原尚子 石井敦士 武内俊樹 持田Ganeshwaran仁司 座長: 中井昭夫 加藤光広 S220	てんかん・けいれん 5 てんかん外科 15:40 ~ 16:30 O-119 ~ O-123 座長: 榎 日出夫 師田信人 S334		血管障害・脳外科領域 15:30 ~ 16:10 O-158 ~ O-161 座長: 榎中正博 久鬼一郎 S347
17:00				
18:00				

第60回日本小児神経学会学術集会●日程 第3日目〈6月2日(土)〉

JSCN: 日本小児神経学会専門医研修単位, JSP①: 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, JSP②: 日本小児科学会小児科専門医

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
	2階	2階	2階	3階
	コンベンションホールB	国際会議室	201	301
8:00				
9:00				
10:00	特別講演 2 9:20～10:20 福山型筋ジストロフィーを 含めた糖鎖合成異常症の 系統的な解明と治療をめざして 演者: 戸田達史 座長: 伊東恭子 S118		JARM	
11:00	シンポジウム 22 10:30～12:10 小児神経科医師に必要な 頭部外傷の知識 虐待の視点から 演者: 相田典子 荒木 尚 今高城治 座長: 柳川敏彦 小川 厚 S192	シンポジウム 20 10:10～12:10 最近明らかにされた 遺伝子疾患Update 演者: 高梨潤一 加藤光広 宮武聡子 齋藤伸治 座長: 才津浩智 加藤光広 S186	シンポジウム 21 9:45～12:10 知っておきたい摂食嚥下 リハビリテーションの知識 演者: 木佐俊郎 向井美恵 渥美 聡 土方 希 座長: 曾根 翠 永江彰子 S189	社会保険・薬事委員会 主催セミナー 10:10～12:10 神経発達症群における 小児適応薬剤の意義とその使い方 演者: 宮地泰士 石崎優子 林 雅晴 齊藤万比古 座長: 宮島 祐 福水道郎 S223
12:00				
13:00		ランチョンセミナー 16 12:30～13:20 将来を見据えたADHDの 薬物療法 演者: 荒木章子 座長: 大澤眞木子 S266	ランチョンセミナー 17 12:30～13:20 ペランパネルの血中濃度測定: 最新の知見 演者: 岩崎俊之 座長: 小國弘量 S267	ランチョンセミナー 18 12:30～13:20 小児難治てんかんの診療 —地方のてんかん— 2次診療施設の経験から— 演者: 池田ちづる 座長: 奥村彰久 S267
14:00	ディベートディスカッション 13:30～15:30 West症候群の治療: ACTH療法前後の選択肢を ディベートする 演者: 松浦隆樹 今井克美 秋山倫之 座長: 浜野晋一郎 白石秀明 S200	市民公開講座 13:30～15:30 災害時の子どもへの支援 —障害のある子どもたちに 焦点をあてて— 演者: 三浦清邦 田中総一郎 木村重美 福地 成 高田 哲 座長: 高田 哲 木村重美 S272	第3回 ニューロリハビリテーション研究会 13:30～15:30	シンポジウム 23 13:30～15:30 神経代謝疾患に対する 治療戦略の展望 演者: 奥山虎之 松尾宗明 大橋十也 酒井規夫 Christoph Schwering 座長: 酒井規夫 奥山虎之 S194
15:00				
16:00	閉会式 15:30～15:40	映画「奇跡の子どもたち」上映会 15:30～17:00 参加費: 無料		

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 60 回日本小児神経学会学術集会 ● 日程 第 3 日目 〈 6 月 2 日 (土) 〉

共通講習 (医療倫理) 単位取得可能セッション, [JARM]: 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位取得可能セッション

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場
	3 階 302	3 階 303	3 階 304	1 階 103
8 : 00				
9 : 00			第 10 回日本小児免疫性脳炎研究会 8 : 30 ~ 10 : 00	
10 : 00	English Session 7 筋 10 : 00 ~ 11 : 00 E-036 ~ E-041 座長 : 小牧宏文 藤井達哉 S288	てんかん・けいれん 6 その他 2 10 : 00 ~ 11 : 00 O-162 ~ O-167 座長 : 小國弘量 森本昌史 S348	脊髄性筋萎縮症 10 : 00 ~ 11 : 00 O-173 ~ O-178 座長 : 須藤 章 齊藤利雄 S352	実践教育セミナー 9 9 : 00 ~ 12 : 00 3 時間でわかる! はじめて小児神経を学ぶ人の ための実践レクチャー 演者 : 小坂 仁 榎 日出夫 塩浜 直 山本俊至 座長 : 藤井克則 小坂 仁
11 : 00	English Session 8 てんかん 11 : 00 ~ 12 : 10 E-042 ~ E-048 座長 : 廣瀬伸一 鈴木基正 S290	熱性けいれん 11 : 00 ~ 11 : 50 O-168 ~ O-172 座長 : 金村英秋 奥村彰久 S350	緩和・在宅医療 11 : 00 ~ 12 : 00 O-179 ~ O-184 座長 : 米山 明 田中総一郎 S354	S247
12 : 00				
13 : 00	ランチョンセミナー 19 12 : 30 ~ 13 : 20 ニーマン・ピック病 C 型を 見逃さないために 一眼球運動障害, 失調, 精神症状, ジストニアからの気づき 演者 : 成田 綾 武内俊樹 座長 : 奥山虎之 S268	ランチョンセミナー 20 / 産科医療補償制度小委員会 日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部 12 : 30 ~ 13 : 20 産科医療補償制度への 理解を深める 演者 : 鈴木英明 松井 潔 座長 : 根津敦夫 S226	ランチョンセミナー 21 12 : 30 ~ 13 : 20 ASD 児の感覚特性と 行動について 演者 : 永井利三郎 座長 : 片山泰一 S269	
14 : 00	ガイドライン策定委員会企画 2 13 : 30 ~ 14 : 30 チック症診療ガイドライン 作成に向けて 演者 : 宮島 祐 星野恭子 金生由紀子 石井隆大 座長 : 山下裕史朗 作田亮一 S206	実践教育セミナー 10 13 : 30 ~ 16 : 30 知っておきたい 発達障害への支援の実践 ABA とペアレントトレーニング 演者 : 平岩幹男 松田幸都枝 長瀬美香 座長 : 岡 明 広瀬宏之 S250	実践教育セミナー 11 13 : 30 ~ 16 : 30 小児神経科医が知っておきたい 緩和ケアのエッセンス 演者 : 笹月桃子 岡崎 伸 余谷暢之 松岡真里 座長 : 吉良龍太郎 余谷暢之 S252	実践教育セミナー 12 13 : 30 ~ 16 : 30 第 5 回遺伝学実践教育セミナー 齋藤伸治 山形崇倫 山本俊至 小坂 仁 酒井康成 和田敬仁 S255
15 : 00				
16 : 00				

ポスターセッション 第 1 日目 (5月31日)

ポスター会場										
2 階 コンベンションホールA										
ポスター貼付け 8:30 ~ 11:30										
ポスター閲覧 11:30 ~ 17:10										
8:30										
17:00										
17:30	先天異常 1 17:10 ~ 17:40 P-001 ~ P-006 座長: 岩崎信明 S359	脳性麻痺・療育 1 17:10 ~ 17:40 P-021 ~ P-026 座長: 宮本晶恵 S365	発達障害 1 17:10 ~ 17:40 P-041 ~ P-046 座長: 広瀬宏之 S372	遺伝・ 遺伝子異常 1 17:10 ~ 17:40 P-058 ~ P-063 座長: 川上康彦 S378	てんかん・ けいれん 2 17:10 ~ 17:40 P-075 ~ P-080 座長: 吉永治美 S383	てんかん・ けいれん 5 17:10 ~ 17:40 P-090 ~ P-095 座長: 伊藤 進 S388	代謝性疾患 1 17:10 ~ 17:35 P-105 ~ P-109 座長: 森 雅人 S393	脳炎・脳症 1 17:10 ~ 17:45 P-123 ~ P-129 座長: 稲葉雄二 S399	不随意運動 17:10 ~ 17:40 P-142 ~ P-147 座長: 鈴木保宏 S406	
18:00	先天異常 2 17:40 ~ 18:15 P-007 ~ P-013 座長: 佐藤敦志 S361	脳性麻痺・療育 2 17:40 ~ 18:15 P-027 ~ P-032 座長: 高野知行 S367	発達障害 2 17:40 ~ 18:05 P-047 ~ P-051 座長: 中井昭夫 S374	遺伝・ 遺伝子異常 2 17:40 ~ 18:10 P-064 ~ P-069 座長: 田角 勝 S380	てんかん・ けいれん 3 17:40 ~ 18:10 P-081 ~ P-085 座長: 岩崎俊之 S385	てんかん・ けいれん 6 17:40 ~ 18:05 P-096 ~ P-100 座長: 椎原 隆 S390	代謝性疾患 2 17:35 ~ 18:05 P-110 ~ P-115 座長: 青天日 信 S395	感染・免疫 1 17:45 ~ 18:15 P-130 ~ P-135 座長: 福與なおみ S402	早産児・発達 17:40 ~ 18:15 P-148 ~ P-154 座長: 小沢 浩 S408	睡眠障害 17:40 ~ 18:15 P-159 ~ P-165 座長: 宮田理英 S411
18:30	先天異常 3 18:15 ~ 18:50 P-014 ~ P-020 座長: 前澤眞理子 S363	重症心身障害 在宅・レスパイト 18:15 ~ 18:50 P-034 ~ P-040 座長: 富田 直 S370	発達障害 3 18:05 ~ 18:35 P-052 ~ P-057 座長: 下野九理子 S376	てんかん・ けいれん 1 18:10 ~ 18:35 P-070 ~ P-074 座長: 本田涼子 S382	てんかん・ けいれん 4 18:10 ~ 18:30 P-086 ~ P-089 座長: 三山佐保子 S387	てんかん・ けいれん 7 18:05 ~ 18:25 P-101 ~ P-104 座長: 館野昭彦 S392	代謝性疾患 3 18:05 ~ 18:40 P-116 ~ P-122 座長: 小須賀基通 S397	感染・免疫 2 18:15 ~ 18:45 P-136 ~ P-141 座長: 吉良龍太郎 S404	精神障害・ 摂食障害 18:15 ~ 18:35 P-155 ~ P-158 座長: 藤田之彦 S410	
19:00	ポスター撤去 18:50 ~ 19:30									

ポスターセッション 第 2 日目 (6月1日)

ポスター会場										
2 階 コンベンションホールA										
ポスター貼付け 8:30 ~ 11:30										
ポスター閲覧 11:30 ~ 17:10										
8:30										
17:00										
17:30	遺伝・ 遺伝子異常 3 17:10 ~ 17:40 P-166 ~ P-171 座長: 熊田知浩 S414	染色体異常 1 17:10 ~ 17:40 P-183 ~ P-188 座長: 黒澤健司 S419	発達障害 4 17:10 ~ 17:40 P-200 ~ P-205 座長: 小倉加恵子 S425	てんかん・ けいれん 8 17:10 ~ 17:40 P-218 ~ P-223 座長: 中澤友幸 S431	てんかん・ けいれん 11 17:10 ~ 17:40 P-234 ~ P-239 座長: 小俣 卓 S436	てんかん・ けいれん 14 17:10 ~ 17:40 P-251 ~ P-256 座長: 白石秀明 S442	末梢神経 17:10 ~ 17:45 P-268 ~ P-274 座長: 武下草生子 S448	筋肉 1 17:10 ~ 17:40 P-286 ~ P-291 座長: 石山昭彦 S454	脳炎・脳症 2 17:10 ~ 17:40 P-302 ~ P-307 座長: 菊池健二郎 S459	血管障害 17:10 ~ 17:40 P-320 ~ P-325 座長: 下川尚子 S465
18:00	遺伝・ 遺伝子異常 4 17:40 ~ 18:10 P-172 ~ P-177 座長: 沢石由記夫 S416	染色体異常 2 17:40 ~ 18:15 P-189 ~ P-195 座長: 清水健司 S421	発達障害 5 17:40 ~ 18:05 P-206 ~ P-210 座長: 服部英司 S427	てんかん・ けいれん 9 17:40 ~ 18:10 P-224 ~ P-229 座長: 平澤恭子 S433	てんかん・ けいれん 12 17:40 ~ 18:10 P-240 ~ P-245 座長: 阿部裕一 S438	てんかん・ けいれん 15 17:40 ~ 18:05 P-257 ~ P-261 座長: 齊藤貴志 S444	形態・病理 17:45 ~ 18:05 P-275 ~ P-278 座長: 伊住浩史 S450	SMA 17:40 ~ 18:10 P-292 ~ P-297 座長: 西尾久英 S456	脳炎・脳症 3 17:40 ~ 18:10 P-308 ~ P-313 座長: 柏木 充 S461	脳外科領域 17:40 ~ 18:05 P-326 ~ P-330 座長: 稲垣隆介 S467
18:30	遺伝・ 遺伝子異常 5 18:10 ~ 18:35 P-178 ~ P-182 座長: 中村和幸 S418	電気生理 18:15 ~ 18:35 P-196 ~ P-199 座長: 加賀佳美 S424	発達障害 6 18:05 ~ 18:40 P-211 ~ P-217 座長: 横山浩之 S429	てんかん・ けいれん 10 18:10 ~ 18:30 P-230 ~ P-233 座長: 南 弘一 S435	てんかん・ けいれん 13 18:10 ~ 18:35 P-246 ~ P-250 座長: 吉川秀人 S440	自律神経・頭痛 18:05 ~ 18:35 P-262 ~ P-267 座長: 疋田敏之 S446	画像 18:05 ~ 18:40 P-279 ~ P-285 座長: 大場 洋 S451	筋肉 2 18:10 ~ 18:30 P-298 ~ P-301 座長: 衛藤 薫 S458	脳炎・脳症 4 18:10 ~ 18:40 P-314 ~ P-319 座長: 今古城治 S463	
19:00	ポスター撤去 18:45 ~ 19:30									



特別演題日程

S29 ~ S44

プログラム

S45 ~ S112

会長講演

5月31日(木) 8:25~8:55 第1会場
 座長 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 小児神経学として社会への貢献を
 岡 明(東京大学医学部小児科)

特別講演 1: The Yukio Fukuyama memorial lecture

5月31日(木) 9:00~10:00 第1会場
 座長 高橋孝雄(慶應義塾大学医学部小児科)
Kindling knowledge in developmental aspects of epilepsy
 Solomon L. Moshé (Saul R. Korey Department of Neurology, Dominick P. Purpura Department Neuroscience and Department of Pediatrics, Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center, Bronx, New York, USA)

特別講演 2

6月2日(土) 9:20~10:20 第1会場
 座長 伊東恭子(京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
 福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明と治療をめざして
 戸田達史(東京大学大学院医学系研究科神経内科学)

招待講演 1

5月31日(木) 13:30~14:30 第1会場
 座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)
The immune system and the brain: autoimmune encephalitis, autoimmune demyelination and other emerging diseases
 Russell C. Dale (Paediatric Neurology, the Children's Hospital at Westmead, University of Sydney, Australia)

招待講演 2

6月1日(金) 9:00~10:00 第2会場
 座長 三牧正和(帝京大学医学部小児科)
From Leigh syndrome to pontocerebellar hypoplasia and beyond: an update on mitochondrial encephalopathies
 David R. Thorburn (Murdoch Childrens Research Institute and Victorian Clinical Genetics Services, Royal Children's Hospital, Melbourne, VIC, Australia, Department of Paediatrics, University of Melbourne, Melbourne, VIC, Australia)

招待講演 3

6月1日(金) 13:30~14:30 第3会場
 座長 井上 健(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)
Undiagnosed disease program in Korea; lessons & learned from 1 year pilot project
 Jong-Hee Chae (Division of Pediatric Neurology, Department of Pediatrics Seoul National University Children's Hospital, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Korea)

教育講演 1

5月31日(木) 13:30~14:30 第2会場
 座長 高田 哲(神戸大学大学院保健学研究科)
 思春期の神経発達症に対する理解と支援
 松本英夫(東海大学医学部精神科学)

教育講演 2

5月31日(木) 13:30~14:30 第3会場
 座長 熊田聡子(東京都立神経病院神経小児科)
 神経筋電気診断:小児への応用も含めて
 園生雅弘(帝京大学医学部神経内科)

教育講演 3

6月1日(金) 9:00~10:00 第1会場
 座長 山内秀雄(埼玉医科大学小児科)
 小児てんかんに対する外科治療アップデート
 川合謙介(自治医科大学医学部脳神経外科)

教育講演 4

- 6月1日(金) 13:30~14:30 第4会場
 座長 難波栄二(鳥取大学生命機能研究支援センター)
 自閉スペクトラム症のゲノム解析結果を起点とした分子病態解明の現状
 尾崎紀夫(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学親と子どもの心療学分野)

教育講演 5

- 6月1日(金) 14:10~15:10 第6会場
 座長 村松一洋(自治医科大学小児科)
 学会プレゼンの極意: わかりやすいスライド作成のための10ヵ条
 渡部欣忍(帝京大学医学部整形外科)

シンポジウム 1: 急性脳症の最新知見

- 5月31日(木) 10:10~12:10 第1会場
 座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 水口 雅(東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
- 1) 急性脳症 overview 最新の疫学調査を踏まえて
 水口 雅, 星野 愛(東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
 - 2) 小児急性脳症診療ガイドラインのポイント
 奥村彰久(愛知医科大学医学部小児科)
 - 3) 興奮毒性型急性脳症スペクトラムの拡がり
 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 - 4) 小児急性脳症の治療戦略
 山内秀雄(埼玉医科大学小児科, 埼玉医科大学病院てんかんセンター)
 - 5) 急性脳症の遺伝素因
 星野 愛¹, 倉橋宏和²(東京大学大学院医学系研究科発達医科学¹, 愛知医科大学小児科²)
 - 6) 脳症と神経炎症: 難治頻回部分発作重積型急性脳炎を中心に
 佐久間 啓¹, 多田弘子^{1,2}, 鈴木智典^{1,3}, 長谷川節子^{1,3}, 松岡貴子^{1,4}
 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野¹, 千葉県済生会習志野病院小児科²,
 東京医科歯科大学発生発達病態学分野³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部⁴)

シンポジウム 2: 周生期に始まる光環境と生体周期・疾病発症の関係を読み解く

- 5月31日(木) 10:10~12:10 第2会場
 座長 岩田欧介(名古屋市立大学新生児小児医学分野)
 高橋尚人(東京大学小児・新生児集中治療部)
- 1) 環境因子による行動リズムの制御
 増淵 悟(愛知医科大学医学部生理学)
 - 2) 早産児に見るサーカディアンリズム
 木下正啓(久留米大学医学部小児科)
 - 3) 子供の睡眠と心身の健康: 社会的健康決定要因に関する大規模疫学研究の結果から
 関根道和(富山大学大学院医学薬学研究部疫学健康政策学講座)
 - 4) 概日周期と睡眠恒常性維持機構の関係再考
 桑 和彦(名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学)

シンポジウム 3: 先天性サイトメガロウイルス感染症の診療の進歩

- 5月31日(木) 10:10~12:10 第3会場
 座長 森内浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)
 岡 明(東京大学医学部小児科)
- 1) 先天性サイトメガロウイルス感染症 標準的な診療研究体制に向けて
 岡 明(東京大学医学部小児科)
 - 2) 診断法の進歩
 森内浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)
 - 3) 治療の展望
 森岡一朗(神戸大学大学院医学研究科小児科)
 - 4) 地域における連携と小児神経科の取り組み
 稲葉雄二(長野県立こども病院神経小児科, 信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター)
 - 5) 当事者の視点で考える母子感染症予防啓発
 吉田美知代(先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」)

シンポジウム 4: ミトコンドリア病診療の現状と未来

5月31日(木) 10:10~12:10 第4会場

座長 後藤雄一(国立精神・神経医療研究センターメディカル・ゲノムセンター)
三牧正和(帝京大学医学部小児科)

- 1) ミトコンドリア病診断のピットフォール
三牧正和(帝京大学医学部小児科)
- 2) ミトコンドリア病のバイオマーカー
八ッ賀秀一(久留米大学小児科)
- 3) ミトコンドリア病の遺伝カウンセリング
竹下絵里^{1,2}, 杉本立夏², 後藤雄一²
(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院遺伝カウンセリング室²)
- 4) ミトコンドリア病に対する生殖補助医療からのアプローチ
末岡 浩(慶應義塾大学医学部産婦人科)
- 5) ミトコンドリア DDS が拓く新しいミトコンドリア病治療戦略
山田勇磨, 原島秀吉(北海道大学大学院薬学研究院)

シンポジウム 5: 小児神経疾患への新しい神経放射線学的手法の応用

5月31日(木) 13:30~16:00 第4会場

座長 奥村彰久(愛知医科大学医学部小児科)
森 壘(東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座)

- 1) 小児のために役立つ脳 MRI の最近の進歩: 静音技術と Synthetic MRI を中心に
青木茂樹¹, アンディカ クリステイナ¹, 萩原彰文^{1,2}
(順天堂大学医学部放射線科¹, 東京大学医学部放射線科²)
- 2) 磁化率強調画像: 小児神経疾患への臨床応用
井田正博(荏原病院放射線科)
- 3) 出生後の脳 MR 画像の変化
田岡俊昭(名古屋大学医学部附属病院放射線科)
- 4) MR spectroscopy で診る脳病態
高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 5) Chemical exchange saturation transfer (CEST) イメージング: 神経領域への応用
梅尾 理, 樋渡昭雄, 山下孝二, 桃坂大地, 本田 浩(九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野)

シンポジウム 6: 小児神経疾患への遺伝子・細胞治療臨床応用

5月31日(木) 13:30~15:30 第5会場

座長 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
山形崇倫(自治医科大学小児科)

- 1) 小児神経疾患への遺伝子・細胞治療臨床応用
小坂 仁(自治医科大学小児科)
- 2) Gene therapy approaches for the treatment of Angelman syndrome
Kee-Hong Kim¹, Jennifer Daily¹, Anthony Arulanandam¹, Mark J. Pykett¹, Kevin Nash²,
Edwin J Weeber² (Agilis Biotherapeutics, USA¹, University of South Florida, USA²)
- 3) AADC 欠損症に対する遺伝子治療臨床研究の成果と他疾患への応用
小島華林, 山形崇倫(自治医科大学小児科)
- 4) 肝臓を標的とした *in vivo* ゲノム編集治療 一血友病 B を例として一
大森 司(自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門)
- 5) 間葉系幹細胞を用いた再生医療
竹谷 健(島根大学医学部小児科)

シンポジウム 7: ILAE てんかん・発作型分類 2017 を読み解く

5月31日(木) 14:40~16:40 第1会場

座長 日暮憲道(東京慈恵会医科大学小児科)
秋山倫之(岡山大学小児神経科)

- 1) 2017 Classifications of the seizures and epilepsy with a future classification road map
Solomon L. Moshé (Saul R. Korey Department of Neurology, Dominick P. Purpura Department Neuroscience and
Department of Pediatrics, Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center,
Bronx, New York, USA)
- 2) 2017 発作型分類の概要と実際
日暮憲道(東京慈恵会医科大学小児科)
- 3) ILAE2017 分類の邦訳版作成, 分類の問題点と日本でてんかん学会における本邦での今後の対応
須貝研司(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

シンポジウム 8：小児神経科医が知っておくべき思春期神経発達症・心身医学

5月31日(木) 14:40~16:40 第2会場

座長 作田亮一(獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

松本英夫(東海大学医学部精神科学)

指定発言 石崎朝世(公益社団法人発達協会王子クリニック)

1) 小児心身症の理解と対応

石崎優子(関西医科大学医学部小児科)

2) 子どもの摂食障害の対応と予防

作田亮一(獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

3) 不登校児への対応：生理学的評価とストレス機序の理解

永光信一郎, 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科)

4) 外来で役立つ心理学：心理検査の意義とストレスコーピングの知識

田副真美(ルーテル学院大学総合人間学部)

シンポジウム 9：小児神経科医が知っておくべき末梢神経の臨床

5月31日(木) 14:40~16:10 第3会場

座長 藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

石山昭彦(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

1) 小児神経科医が知っておくべき末梢神経の臨床

藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

2) 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー

武下草生子(横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

3) 小児神経科医が知っておくべき末梢神経の臨床；遺伝性ニューロパチー

石山昭彦(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

シンポジウム 10：小児神経難病の地域におけるマネジメント

5月31日(木) 15:40~17:20 第5会場

座長 石川悠加(国立病院機構八雲病院小児科)

藤井達哉(滋賀県立小児保健医療センター小児科)

1) 診断時から移行期にわたる専門的サポート

石垣景子(東京女子医科大学医学部小児科)

2) 多科との診療コーディネート

里 龍晴(長崎大学病院小児科)

3) 専門医療機関・かかりつけ診療所・地域病院の3者連携構築

藤井達哉(滋賀県立小児保健医療センター小児科)

4) 小児神経専門医による在宅訪問診療

熊谷俊幸(くま在宅クリニック)

5) マネジメントにおける多職種との情報共有

石川悠加, 石川幸辰(国立病院機構八雲病院小児科)

シンポジウム 11：医療的ケア児者の学校生活支援

6月1日(金) 10:10~12:10 第1会場

座長 前田浩利(医療法人財団はるたか会)

小沢 浩(島田療育センターはちおうじ)

1) 学校における医療的ケアの対応について

森下 平(文部科学省)

2) 特別支援教育における医療的ケアの歴史と今後の展望

田添敦孝(東京都立小平特別支援学校武蔵分教室)

3) 地域と学校における医療的ケア実施の法的妥当性

堀岡伸彦(厚生労働省医政局医事課)

4) 人工呼吸管理を必要とする児に対する教育機関における看護ケア

田村正徳(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

5) 豊中市立小中学校における医療的ケア児の学校生活支援

植田陽子(豊中市教育委員会事務局児童生徒課支援教育係)

6) 学校における医療的ケア児への支援

高田 哲(神戸大学大学院保健学研究科)

シンポジウム 12：てんかんの治療 Update：新規抗てんかん薬の使い方 エキスパートオピニオン

6月1日(金) 10:10~12:10 第2会場

座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

遠山 潤(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院)

- 1) わが国における新規抗てんかん薬開発と小児への適応
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 2) 国際抗てんかん連盟, NICE ガイドラインに基づく新規抗てんかん薬の使い方
遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院)
- 3) てんかん症候群における新規抗てんかん薬の使い方
秋山倫之 (岡山大学小児神経科)
- 4) 新規抗てんかん薬の作用機序からみた難治てんかんへの使い方
白石秀明 (北海道大学病院小児科)

シンポジウム 13: 発達の多様性 —Bio-Psycho-Social からみた理解と支援—

- 6月1日 (金) 10:10~12:10 第3会場
座長 田中恭子 (国立成育医療研究センターこころの診療部)
岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)
- 1) 胎児・新生児の環境と発達の多様性
岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)
 - 2) 母子相互作用と発達への影響 —Psychological な視点から—
永田雅子 (名古屋大学心の発達支援研究実践センター)
 - 3) ハイリスク児の発達に影響する社会的要因 —Social な視点から—
小倉加恵子 (森之宮病院小児神経科)
 - 4) BPS に基づく発達の多様性への理解とその支援
田中恭子 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

シンポジウム 14: 小児神経とオートファジー病: 基礎から臨床まで

- 6月1日 (金) 10:10~12:10 第4会場
座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
村松一洋 (自治医科大学小児科)
- 1) オートファジーの分子メカニズムと疾患モデル動物開発
森下英晃 (東京大学大学院医学系研究科分子生物学分野)
 - 2) ライソゾーム病とオートファジー病の病態
大友孝信 (川崎医科大学病態代謝学)
 - 3) オートファジーの障害により引き起こされる小児神経疾患: Vici 症候群
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 - 4) オートファジーの障害により引き起こされる小児神経疾患: SENDA/BPAN
村松一洋 (自治医科大学小児科)

シンポジウム 15: 結節性硬化症の診療: 最新の情報

- 6月1日 (金) 13:30~15:10 第2会場
座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
- 1) 結節性硬化症の遺伝子診断の問題点と意義
新井田 要 (金沢医科大学病院ゲノム医療センター)
 - 2) 小児神経科医にとっての結節性硬化症の診療 Update
岡西 徹¹, 藤本礼尚²
(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科²)
 - 3) 結節性硬化症に伴うてんかんの外科治療
川合謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)
 - 4) 自閉症と TAND のこれから
佐藤敦志 (東京大学医学部附属病院小児科)
 - 5) 結節性硬化症における移行期診療の問題点
吉永治美¹, 遠藤文香²
(国立病院機構南岡山医療センター重症心身障害児センター¹, 岡山大学病院小児神経科²)

シンポジウム 16: 神経炎症と小児精神神経疾患

- 6月1日 (金) 13:30~15:30 第5会場
座長 Russell C. Dale (Paediatric Neurology, the Children's Hospital at Westmead, University of Sydney, Australia)
佐久間 啓 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
- 1) Immune mechanisms in movement and neuropsychiatric disorders
Russell C. Dale (Paediatric Neurology, the Children's Hospital at Westmead, University of Sydney, Australia)
 - 2) 熱性けいれんと神経炎症
福田光成 (愛媛県立新居浜病院小児科, 愛媛大学大学院医学系研究科小児科学)

- 3) てんかんと神経炎症
山中 岳 (東京医科大学小児科)
- 4) 小児における傍腫瘍性精神神経症候群
西田裕哉 (東京都立神経病院神経小児科)

シンポジウム 17: 筋疾患の最新知識

- 6月1日 (金) 14:40~16:40 第3会場
座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)
- 1) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療: 過去, 現在, 未来
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
 - 2) 先天性筋ジストロフィーの最近の進歩
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
 - 3) 炎症性筋疾患の最近の進歩
西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部)
 - 4) iPS細胞技術を活用した筋疾患治療法の開発
櫻井英俊 (京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門)

シンポジウム 18: 重篤な神経疾患を抱える子どもの緩和ケア —終末期を見据えた話し合いについて—

- 6月1日 (金) 14:40~16:40 第4会場
座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- 1) MELAS 症候群 1 例の長期経過について
寺嶋 宙 (国立成育医療研究センター器官病態系内科部神経内科)
 - 2) 疾患の軌跡を意識した関わり
岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
 - 3) 小児神経疾患におけるアドバンス・ケア・プランニング
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
 - 4) 重篤な小児神経疾患における倫理的推論のアボリア
板井孝壱郎 (宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野, 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科生命倫理コーディネーターコース, 宮崎大学医学部附属病院中央診療部門臨床倫理部)
 - 5) 子どもの最善の利益をめぐる両親と医療者の協働意思決定について再考する
笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)

シンポジウム 19: これからの発達支援

- 6月1日 (金) 15:10~17:10 第1会場
座長 広瀬宏之 (横浜市療育相談センター)
柴田光規 (川崎西部地域療育センター)
- 1) DSM-5 における自閉スペクトラム症診断の問題点と今後の展開
熊崎博一 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)
 - 2) これからのアセスメント 診断からフォーミュレーションへ
原田剛志 (パークサイドこころの発達クリニック)
 - 3) 心理職による発達支援
松寄くみ子 (跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科)
 - 4) これからの発達支援: 子どもの療育から親子支援へ
井上祐紀 (横浜市南部地域療育センター)

シンポジウム 20: 最近明らかにされた遺伝子疾患 Update

- 6月2日 (土) 10:10~12:10 第2会場
座長 才津浩智 (浜松医科大学)
加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
- 1) 神経放射線と分子遺伝学とのコラボレーション; SNORD118, POLR3A/3B, TUBB4A 関連白質変性症
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 - 2) 乳幼児てんかん性脳症 update
加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
 - 3) MYPN 関連ミオパチー
宮武聡子 (横浜市立大学附属病院遺伝子診療部)
 - 4) PI3K-AKT-mTOR 経路が関連する巨脳症
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

シンポジウム 21：知っておきたい摂食嚥下リハビリテーションの知識

6月2日(土) 9:45~12:10 第3会場

座長 曾根 翠(東京都立東大和療育センター)
永江彰子(びわこ学園医療福祉センター草津)

- 1) 乳児期の摂食嚥下障害のリハビリテーションと間欠的経管栄養法
木佐俊郎¹, 酒井康生², 蓼沼 拓², 馬庭壯吉²
(出雲市民リハビリテーション病院リハビリテーション科¹, 鳥根大学医学部リハビリテーション医学講座²)
- 2) 離乳期以降の摂食嚥下リハビリテーションと発達期嚥下調整食分類の使い方
向井美恵(昭和大学)
- 3) 思春期から成人期の摂食嚥下障害リハビリテーション
渥美 聡(東京都立府中療育センター小児科)
- 4) 発達障害児の摂食嚥下リハビリテーション
土方 希(広島市こども療育センター)

シンポジウム 22：小児神経科医師に必要な頭部外傷の知識 虐待の視点から

6月2日(土) 10:30~12:10 第1会場

座長 柳川敏彦(和歌山県立医科大学)
小川 厚(福岡大学筑紫病院)

- 1) 画像診断からみた小児虐待
相田典子(神奈川県立こども医療センター放射線科)
- 2) 虐待の関与を疑う頭部外傷に対する治療戦略 一脳神経外科の視点から—
荒木 尚(埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)
- 3) 小児神経科医師に必要な児童虐待の知識 頭部外傷の視点から
今高城治(獨協医科大学医学部小児科学)

シンポジウム 23：神経代謝疾患に対する治療戦略の展望

6月2日(土) 13:30~15:30 第4会場

座長 酒井規夫(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻育成小児科学)
奥山虎之(国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

- 1) 脳を守る酵素補充療法
奥山虎之(国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)
- 2) ニーマンピック病 C 型の治療戦略
松尾宗明¹, 榊原崇文², 崎山快夫³, 入江徹美⁴
(佐賀大学医学部小児科¹, 奈良県立医科大学小児科², 自治医科大学附属さいたま医療センター神経内科³, 熊本大学大学院生命科学研究部薬剤情報分析学分野⁴)
- 3) 白質ジストロフィーの治療戦略
大橋十也(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部, 東京慈恵会医科大学小児科)
- 4) 早期診断を含む診療体制の展望
酒井規夫(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻育成小児科学)
- 5) Overview of CLN2 disease : early diagnosis and management
Christoph Schwering (Universitätsklinikum Hamburg-Eppendorf Children's Hospital, Hamburg, Germany)

共催シンポジウム：結節性硬化症の診療を通じて多施設・多領域連携を築く(共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

6月1日(金) 15:20~17:20 第2会場

座長 高橋孝雄(慶應義塾大学医学部小児科学教室)
齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

- 1) 結節性硬化症専門外来の誕生がもたらした影響
波多野孝史(JR 東京総合病院泌尿器科)
- 2) てんかん・神経専門病院として参加する, 病病連携による結節性硬化症の包括的医療
今井克美(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- 3) 結節性硬化症診療における大学病院と小児専門施設の連携構築に向けて
永瀬裕朗(神戸大学医学部附属病院親と子の心療部)
- 4) 診療所における TSC 治療と包括医療
足立昌夫(あだちこども診療所小児科)

ディベートディスカッション：West 症候群の治療：ACTH 療法前後の選択肢をディベートする

6月2日(土) 13:30~15:30 第1会場

座長 浜野晋一郎(埼玉県立小児医療センター神経科)

白石秀明(北海道大学病院小児科)

- 1) West 症候群の ACTH 療法開始までの期間とその治療
松浦隆樹(埼玉県立小児医療センター神経科, 東京慈恵会医科大学小児科)
- 2) West 症候群再発例の治療戦略(2回目の ACTH 療法, ケトン食など)
今井克美(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- 3) ビガバトリンの位置づけ
秋山倫之(岡山大学小児神経科)

**ガイドライン策定委員会企画 1：小児けいれん重積治療ガイドライン 2017 をどのように活かすか
—診療現場からの意見, 異見—**

6月1日(金) 13:30~15:00 第1会場

座長 林 北見(東京女子医科大学八千代医療センター)

秋山倫之(岡山大学小児神経科)

- 1) けいれんの第一選択薬はジアゼパム?それともミダゾラム?
西山将広¹, 永瀬裕朗¹, 丸山あずさ²
(神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科²)
- 2) けいれん重積治療の第2選択肢 フェノバルビタールの位置付け
菊池健二郎(東京慈恵会医科大学小児科)
- 3) けいれん重積治療の第2選択肢 フォスフェニトイン
松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹(埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²)
- 4) てんかん重積に対するレベチラセタム静注製剤の当院での使用経験 —海外での使用実績を踏まえて—
井上賢治, 熊田知浩, 藤井達哉(滋賀県立小児保健医療センター小児科)
- 5) けいれん重積治療における持続脳波モニタリング
丸山あずさ¹, 永瀬裕朗²(兵庫県立こども病院神経内科¹, 神戸大学医学部附属病院親と子の心療部²)
- 6) 診療ガイドラインは添付文書の遵守が必須か? —今後のガイドライン改訂に期待すること—
浜野晋一郎(埼玉県立小児医療センター神経科)

ガイドライン策定委員会企画 2：チック症診療ガイドライン作成に向けて

6月2日(土) 13:30~14:30 第5会場

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科)

作田亮一(獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

- 1) Tic 症の Overview
宮島 祐(東京家政大学子ども学部子ども支援学科, 東京医科大学医学部小児科)
- 2) 幼児期から学童のチック症, Tourette 症について
星野恭子(医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
- 3) 併存症を伴うチック症の評価と治療
金生由紀子(東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野)
- 4) チック症の重要臨床課題とクリニカルクエストの模索
石井隆大(久留米大学医学部小児科)

倫理委員会・COI 委員会主催セミナー：臨床研究不正事例から学ぶ, 研究公正

5月31日(木) 10:10~11:20 第5会場

座長 伊東恭子(京都府立医科大学大学院)

臨床研究不正事例から学ぶ, 研究公正

伏木信次(京都府立医科大学研究開発・質管理向上統合センター, 京都中部総合医療センター)

長期計画委員会ワークショップ：長期計画委員会企画 2035 年の小児神経科医

5月31日(木) 13:30~16:30 第6会場

座長 神山 潤(公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ浦安市川医療センター)

友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)

- 1) 学会と社会(政策提言, 学会声明のあり方等)
小倉加恵子¹, 久保田健夫², 加賀佳美³, 鈴木由佳⁴, 宮島 祐⁵
(森之宮病院小児神経科¹, 聖徳大学児童学部児童学科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³, 松山赤十字病院小児科⁴, 東京家政大学子ども学部子ども支援学科⁵)
- 2) 学会と医療：重症心身障害児・神経難病児の成人移行期医療について考える
三山佐保子¹, 宮本晶恵², 口分田政夫³, 岩崎信明⁴
(東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科², びわこ学園医療福祉センター草津小児科³, 茨城県立医療大学付属病院小児科⁴)

- 3) 学会と研究 ((国際) 共同研究, 学際的研究等)
 多田弘子¹, 福與なおみ⁴, 加藤光広², 友田明美³
 (千葉県済生会習志野病院小児科¹, 昭和大学医学部小児科学講座², 福井大学子どものこころの発達研究センター³, 東北大学医学部小児科⁴)
- 4) 学術大会のあり方 (開催地, 規模等)
 鶴澤礼実¹, 福田冬季子², 中井昭夫^{3,4,5}, 川上康彦⁶
 (福岡大学筑紫病院小児科¹, 浜松医科大学小児科², 武庫川女子大学教育研究所³, 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科⁴, 武庫川女子大学教育研究所子ども発達科学研究センター⁵, 日本医科大学武蔵小杉病院小児科⁶)

医療安全委員会主催セミナー：小児神経領域の医療安全を求めた更なる取組

- 5月31日(木) 18:30~20:30 第5会場
 座長 山内秀雄(埼玉医科大学小児科)
 是松聖悟(中津市立中津市民病院)
- 1) Multidisciplinary team (MDT) で臨む鎮静・無鎮静 MR 検査における医療安全の実現
 下川尚子¹, 吉岡史隆¹, 阿部竜也¹, 陣内久美子², 熊本 崇², 前田寿幸², 尾形善康², 小池 舞³, 山田有梨³, 小川 渚³, 岩橋好子³, 秋山義弘⁴
 (佐賀大学医学部脳神経外科学¹, 佐賀大学医学部小児科², 佐賀大学医学部看護部³, 佐賀大学医学部放射線部⁴)
- 2) 子どもの頭部外傷診療とチャイルド・ファースト
 早野駿佑(北九州市立八幡病院小児救急センター)
- 3) ACTH 療法を安全に施行するために
 山内秀雄(埼玉医科大学小児科)
- 4) 安全な鎮静薬使用にむけて一鎮静前の経口摂取および鎮静薬の多剤重複のリスクについて一
 大嶽浩司(昭和大学医学部麻酔科)

共同研究支援委員会主催セミナー：第一部 日本小児神経学会が支援する共同研究報告

- 6月1日(金) 9:00~11:00 第5会場
 座長 森本昌史(京都府立医科大学医学部看護学科)
 萩野谷和裕(宮城県立こども病院神経科)
- 1) 小児急性脳炎・脳症におけるメタボローム解析
 秋山倫之(岡山大学小児神経科)
- 2) 小児発症抗 MOG 抗体関連疾患患者の実態把握のための全国調査研究
 東川幸嗣¹, 中島一郎², 金子公彦³, 鳥巢浩幸⁴, 酒井康成⁵, 吉良龍太郎⁶, 佐久間 啓⁷, 田中恵子⁸, 中嶋秀人⁹, 島川修一¹⁰, 玉井 浩¹⁰
 (清恵会病院小児科¹, 東北医科薬科大学老年神経内科学², 東北大学神経内科³, 福岡歯科大学総合医学講座小児科⁴, 九州大学小児科⁵, 福岡市立こども病院小児神経科⁶, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野⁷, 新潟大学脳研究所細胞神経生物学分野⁸, 大阪医科大学神経内科⁹, 大阪医科大学小児科¹⁰)
- 3) グレリンによるレット症候群の新規治療法開発研究
 松石豊次郎¹, 弓削康太郎², 高橋知之², 永光信一郎², 山下裕史朗²
 (聖マリア病院小児総合研究センターレット症候群研究センター¹, 久留米大学小児科²)

共同研究支援委員会主催セミナー：第二部 エキスパートに聞く「患者登録システムを活用した治験・臨床研究の推進」

- 6月1日(金) 9:00~11:00 第5会場
 座長 森本昌史(京都府立医科大学医学部看護学科)
 高橋 悟(旭川医科大学医学部小児科)
- 1) 筋疾患における患者登録システムを活用した臨床研究の推進
 小牧宏文(国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
- 2) 治験・臨床研究に向けたレット症候群患者データベースの活用
 伊藤雅之(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

国際化推進委員会主催セミナー：そうだ！海外へ行こう ―海外留学のスズメー

- 6月1日(金) 15:20~16:50 第6会場
 座長 中井昭夫(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)
 加藤光広(昭和大学医学部小児科)
- 1) 海外留学アンケート調査の結果
 石原尚子(藤田保健衛生大学医学部小児科)
- 2) 危ぶむなかれ, 迷わず行けよ, 行けばなんとかなる
 石井敦士(福岡大学医学部小児科)

- 3) 海外留学で学んだこと、得たもの
武内俊樹 (慶應義塾大学医学部小児科)
- 4) 成功する海外研究留学 ―受け入れ側の視点から―
持田 Ganeshwaran 仁司 (ボストン小児病院遺伝・ゲノム科学部門)

社会保険・薬事委員会主催セミナー：神経発達症群における小児適応薬剤の意義とその使い方

- 6月2日(土) 10:10~12:10 第4会場
座長 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科)
福水道郎 (瀬川記念小児神経学クリニック)
- 1) 小児 ADHD 治療薬の歴史的経緯と今後の展望
宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
 - 2) 小児期の ASD に伴う易刺激性治療薬承認の経緯と今後の展望
石崎優子 (関西医科大学医学部小児科)
 - 3) 臨床治験が計画・実施された薬剤の現状と問題点
林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)
 - 4) 本邦における ADHD の診断・治療ガイドライン第4版について
齊藤万比古 (恩賜財団母子愛育会愛育研究所児童福祉・精神保健研究部)

産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部/ランチョンセミナー 20：産科医療補償制度への理解を深める

- 6月2日(土) 12:30~13:20 第6会場
座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)
- 1) 産科医療補償制度の現況
鈴木英明 (公益財団法人日本医療機能評価機構)
 - 2) PVL と産科医療補償制度
松井 潔, 田上幸治 (神奈川県立こども医療センター総合診療科)

実践教育セミナー 1：ここまでわかった神経症候学

- 5月30日(水) 12:50~15:20 第3会場
座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 1) 新生児の神経症候学
城所博之 (名古屋大学医学部小児科)
 - 2) 小児の運動の神経症候学
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)
 - 3) 一例から始まる極私的神経症候学
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)

実践教育セミナー 2：小児科医のための神経画像 2018；MRI をもう一度学びなおそう

- 5月30日(水) 12:50~15:20 第4会場
座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 1) T1, T2, FLAIR 画像 revisited
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 - 2) 拡散強調画像 (DWI) revisited
森 壘 (東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座)
 - 3) MRA
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
 - 4) これでわかったおしりの気持ち 脊髄脊椎の先天奇形の画像診断
安藤久美子¹, 石蔵礼一² (兵庫医科大学放射線医療センター¹, 兵庫医科大学放射線科²)
 - 5) 小児正常発達画像 (異常所見との対比も交えて)
藤田和俊 (神奈川県立こども医療センター放射線科)

実践教育セミナー 3：第4回小児脳機能研究会 ―臨床に役立つ臨床神経生理―

- 5月30日(水) 12:50~15:20 第5会場
座長 相原正男 (山梨大学大学院総合研究部)
淵上達夫 (日本大学医学部小児科)
- 1) 脳炎/脳症の診断と治療指針
白石秀明 (北海道大学病院小児科)
 - 2) てんかん診療
金村英秋¹, 相原正男² (山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)

- 3) 発達障害の非侵襲的脳機能評価
加賀佳美 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
- 4) 小児末梢神経疾患の診断と治療評価
安元佐和 (福岡大学医学部医学教育推進講座)

実践教育セミナー 4: 知っておきたい「医療的ケア児」支援の実際: 小児等在宅医療における「医療的ケア」のコツ (1)

5月30日(水) 12:50~14:50 第6会場

座長 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

- 1) 「医療的ケア児」支援体制整備・日本小児神経学会提案の「学校における人工呼吸器療法児への対応についてのガイド」などの概要説明
米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)
- 2) 小児等在宅診療における「医療的ケア」の実際 —在宅支援に必要な知識と課題—
舟塚 真^{1,2} (まこと小児神経クリニック¹, 東京女子医科大学小児科²)
- 3) 嚥下障害と誤嚥 —評価と対応—
中谷勝利 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

実践教育セミナー 5: 知っておきたい「医療的ケア児」支援の実際: 小児等在宅医療における「医療的ケア」のコツ (2)

5月30日(水) 15:00~17:00 第6会場

座長 中谷勝利 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

- 1) 呼吸障害とその対応 (気管切開ケア, 人工呼吸器療法を中心に)
山口直人 (心身障害児総合医療療育センター小児科・リハビリテーション科)
- 2) 小児神経疾患児の経管栄養の諸問題とその対応 —経管栄養 (胃瘻ボタンを含む), 栄養剤選択を中心に—
高橋長久 (心身障害児総合医療療育センター)

実践教育セミナー 6: 小児神経科医のための診断推論

5月30日(水) 15:30~18:00 第3会場

座長 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

- 1) 小児神経疾患への発達症候学的アプローチ
稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
- 2) 動画と神経生理検査で診断する小児神経疾患
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 3) 神経科医養成のための教育実践法
伊藤彰一
(千葉大学大学院医学研究院医学教育研究室, 千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター, 千葉大学医学部附属病院神経内科)

実践教育セミナー 7: こどもの頭痛 マスター・スクール

5月30日(水) 15:30~18:00 第4会場

座長 荒木 清 (東京都済生会中央病院小児科)

山中 岳 (東京医科大学小児科学分野)

- 1) 国際頭痛分類 ICHD-3 β に基づく小児頭痛の診断
安藤直樹 (城西こどもクリニック)
- 2) 慢性頭痛の診療ガイドラインに基づく小児頭痛の治療
桑原健太郎 (広島市立病院機構広島市立広島市民病院小児科)
- 3) 小児期特有の周期性症候群について
疋田敏之 (帝京大学医学部小児科, ひきた小児科クリニック)
- 4) 思春期の頭痛の特徴と対応
西村 陽 (京都第一赤十字病院新生児科総合周産期母子医療センター, 京都府立医科大学小児科)

実践教育セミナー 8: 新生児脳波判読コンペティション —初心者歓迎—

5月30日(水) 15:30~18:00 第7会場

座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)

城所博之 (名古屋大学医学部小児科)

- 1) 新生児の脳波成熟度判定法
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- 2) 新生児の異常脳波
深沢達也 (安城更生病院小児科)

実践教育セミナー 9：3 時間でわかる！ はじめて小児神経を学ぶ人のための実践レクチャー

6月2日(土) 9:00~12:00 第8会場
 座長 藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 小坂 仁(自治医科大学小児科)

- 1) 乳幼児の神経診察
小坂 仁(自治医科大学小児科)
- 2) 脳波の読み方・考え方
榎 日出夫(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)
- 3) 脳CT・MRIを読んでみよう
塩浜 直(千葉大学医学部附属病院小児科)
- 4) 小児神経疾患における遺伝学的検査の進め方
山本俊至(東京女子医科大学遺伝子医療センター)

実践教育セミナー 10：知っておきたい発達障害への支援の実践 ABA とペアレントトレーニング

6月2日(土) 13:30~16:30 第6会場
 座長 岡 明(東京大学医学部小児科)
 広瀬宏之(横浜市療育相談センター)

- 1) 自閉症に対する療育的介入：現在から未来へ
平岩幹男(Rabbit Developmental Research)
- 2) 応用行動分析学(ABA)を用いた自閉症スペクトラム障害および他の発達障害の治療
松田幸都枝(チルドレンセンター, The Chicago School of Professional Psychology, Chicago, USA)
- 3) ペアレント・トレーニングの実際—子どもと大人のあたたかい関係づくり—
長瀬美香(心身障害児総合医療療育センター)

実践教育セミナー 11：小児神経科医が知っておきたい緩和ケアのエッセンス

6月2日(土) 13:30~16:30 第7会場
 座長 吉良龍太郎(福岡市立こども病院小児神経科)
 余谷暢之(国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

- 1) 小児緩和ケア概論
笹月桃子(西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)
- 2) 症状緩和
岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児神経内科)
- 3) 終末期における意志決定支援
余谷暢之(国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- 4) 家族支援とビリーフメント・ケア
松岡真里(高知大学教育研究部医療学系看護学部門臨床看護学講座小児看護学)

実践教育セミナー 12：第5回遺伝学実践教育セミナー

6月2日(土) 13:30~16:30 第8会場
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 山形崇倫(自治医科大学小児科)
 山本俊至(東京女子医科大学大学院先端生命医科学専攻遺伝子医学分野)
 小坂 仁(自治医科大学小児科)
 酒井康成(九州大学小児科)
 和田敬仁(京都大学大学院医療倫理学・遺伝医療学分野)

ランチョンセミナー 1 (共催：ヤンセンファーマ株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第3会場
注意欠陥多動性障害の治療の進歩
 座長 作田亮一(獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
 講演 榊原洋一(お茶の水女子大学)

ランチョンセミナー 2 (共催：大塚製薬株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第4会場
日常臨床に潜むカルニチン欠乏症
 座長 高柳正樹(帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科)
 講演 大竹 明(埼玉医科大学医学部小児科, 埼玉医科大学病院難病センター)

ランチョンセミナー 3 (共催：ノーベルファーマ株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第5会場
 結節性硬化症に伴う皮膚病変への新しい治療戦略
 座長 大野耕策 (山陰労災病院)
 講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科)

ランチョンセミナー 4 (共催：ミヤリサン製薬株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第6会場
 脳腸相関における腸内細菌の役割
 座長 萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)
 講演 福土 審 (東北大学大学院医学系研究科行動医学, 東北大学病院心療内科)

ランチョンセミナー 5 (共催：BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第7会場
 セロイドリポフスチノーシス (NCL) の診断と治療 —最近の進歩—
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学)
 講演 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学, 一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター)

ランチョンセミナー 6 (共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第8会場
 てんかんの移行診療 —小児神経科医の立場から—
 座長 今井克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 講演 吉永治美 (国立病院機構南岡山医療センター)

ランチョンセミナー 7 (共催：シャイアー・ジャパン株式会社)

5月31日(木) 12:30~13:20 第9会場
 小児神経疾患に潜在するゴーシェ病
 座長 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
 1) 急性神経型ゴーシェ病の治療について
 講演 田中 学 (埼玉県立小児医療センター総合診療科)
 2) ゴーシェ病の早期診断のために —鑑別診断に加えるポイントは—
 講演 瀬戸俊之 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)

ランチョンセミナー 8 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

6月1日(金) 12:30~13:20 第1会場
 ここまできた脊髄性筋萎縮症 (SMA) 治療
 座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 1) SMA 治療の経験 —課題と展望—
 講演 弓削康太郎 (久留米大学小児科)
 2) 神戸大学小児科における脊髄性筋萎縮症のヌシネルセン治療の経験
 講演 粟野宏之 (神戸大学医学部附属病院小児科)

ランチョンセミナー 9 (共催：塩野義製薬株式会社/シャイアー・ジャパン株式会社)

6月1日(金) 12:30~13:20 第3会場
 モノアミン神経の発達と attention deficit hyperkinetic disorder (ADHD) の治療
 座長 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
 講演 星野恭子 (医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

ランチョンセミナー 10 (共催：大塚製薬株式会社)

6月1日(金) 12:30~13:20 第4会場
 ASD を含む神経発達障害の包括的理解：生物学的指標 (発達の中間表現型) の視点から
 座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
 講演 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

ランチョンセミナー 11 (共催：第一三共株式会社)

6月1日(金) 12:30~13:20 第5会場

小児脳性麻痺の痙縮治療 — 沖縄県での多職種・多施設チームアプローチ

座長 玉崎章子(鳥取大学医学部附属病院小児在宅支援センター)

1) 脳性麻痺に対する痙縮治療戦略 — 重度心身障害児に対する ITB 療法と SDR の役割—

講演 金城 健(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児整形外科)

2) 沖縄県立こども医療センターにおける痙縮治療 バクロフェン持続髄注療法 ITB を中心に

講演 安里 隆(沖縄県立南部医療センター・こども医療センターリハビリテーション科)

ランチョンセミナー 12 (共催：サノフィ株式会社)

6月1日(金) 12:30~13:20 第6会場

いつ、どのように疑う!? 治療可能な筋疾患

座長 奥山虎之(国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

1) 筋症状を主症状とする糖原病の筋病理

講演 埜中征哉(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

2) 早期診断により酵素補充療法を開始しえた1歳女児例

講演 七字美延(東京女子医科大学病院小児科)

ランチョンセミナー 13 (共催：株式会社シノテスト)

6月1日(金) 12:30~13:20 第7会場

先天性サイトメガロウイルス感染の新生児スクリーニング, 体外診断用医薬品を用いた確定診断, そしてワクチン開発

座長 森岡一朗(日本大学医学部小児科)

講演 井上直樹(岐阜薬科大学生命薬学大講座感染制御学研究室)

ランチョンセミナー 14 (共催：エーザイ株式会社メディカル本部)

6月1日(金) 12:30~13:20 第8会場

グルタミン酸受容体拮抗薬の作用機序 — 基礎と臨床の Translatability—

座長 高橋孝雄(慶應義塾大学医学部小児科)

1) PDS と抗てんかん薬 — 臨床の立場から—

講演 池田昭夫(京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

2) 良く知られた AMPA 受容体の知られていない役割 — 基礎の立場から—

講演 岡田元宏(三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野)

ランチョンセミナー 15 (共催：アルフレッサ ファーマ株式会社)

6月1日(金) 12:30~13:20 第9会場

点頭てんかん治療 up to date — 専門医の立場から—

座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンター)

1) ビガバトリン治療の実臨床での経験と今後の展望

講演 池本 智(埼玉県立小児医療センター神経科)

2) ビガバトリン投与例における網膜電図の使用経験

講演 神部友香(埼玉県立小児医療センター眼科)

ランチョンセミナー 16 (共催：日本イーライリリー株式会社)

6月2日(土) 12:30~13:20 第2会場

将来を見据えた ADHD の薬物療法

座長 大澤真木子(東京女子医科大学)

講演 荒木章子(医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック)

ランチョンセミナー 17 (共催：エーザイ株式会社)

6月2日(土) 12:30~13:20 第3会場

ペランパネルの血中濃度測定：最新の知見

座長 小國弘量(TMG あさか医療センター脳卒中・てんかんセンター)

講演 岩崎俊之(北里大学医学部小児科)

ランチョンセミナー 18 (共催：大塚製薬株式会社/ユーシービージャパン株式会社)

6月2日(土) 12:30~13:20 第4会場

小児難治てんかんの診療 — 地方のてんかん2次診療施設の経験から—

座長 奥村彰久(愛知医科大学小児科)

講演 池田ちづる(国立病院機構熊本再春荘病院小児科)

ランチョンセミナー 19 (共催：アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社)

6月2日(土) 12:30~13:20 第5会場

ニーマン・ピック病C型を見逃さないために 一眼球運動障害, 失調, 精神症状, ジストニアからの気づき—

座長 奥山虎之(国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

- 1) ニーマン・ピック病C型：主要な症状と鑑別疾患, 治療
講演 成田 綾(鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
- 2) 治療可能な神経代謝性疾患：ニーマンピック病C型
講演 武内俊樹(慶應義塾大学医学部小児科)

ランチョンセミナー 20/産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部

S38 産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部参照

ランチョンセミナー 21 (共催：株式会社 JVC ケンウッド)

6月2日(土) 12:30~13:20 第7会場

ASD 児の感覚特性と行動について

座長 片山泰一(大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

講演 永井利三郎(桃山学院教育大学教育学部)

イブニングセミナー (共催：AveXis, Inc.)

5月31日(木) 18:30~19:20 第2会場

座長 齋藤加代子(東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

AVXS-101 single-dose gene-replacement therapy for spinal muscular atrophy

Jerry R. Mendell

(Center for Gene Therapy Nationwide Children's Hospital, Columbus, OH, USA, Department of Pediatrics, Department of Neurology)

患者家族会企画：患者さん家族の声を聴こう

6月1日(金) 17:00~18:00 第4会場

座長 福島慎吾(難病のこども支援全国ネットワーク)

井合瑞江(神奈川県立こども医療センター神経内科)

市民公開講座：災害時の子どもへの支援 一障害のある子どもたちに焦点をあてて—

6月2日(土) 13:30~15:30 第2会場

座長 高田 哲(神戸大学大学院保健学研究科)

木村重美(熊本市子ども発達支援センター)

- 1) 重度障害児への支援 一日常における医療的ケア—
三浦清邦(豊田市こども発達センター小児神経科)
- 2) 災害時におけるケアと支援
田中総一郎(あおぞら診療所ほっこり仙台)
- 3) 災害時の人工呼吸器装着児のための地域におけるネットワークづくり
木村重美(熊本市子ども発達支援センター)
- 4) 発達障害のある子ども達と避難所
福地 成(みやぎ心のケアセンター)
- 5) 福祉避難所 一特別支援学校の有効な活用法—
高田 哲(神戸大学大学院保健学研究科)

関連研究会**第3回ニューロリハビリテーション研究会：小児神経疾患のリハビリテーションにおける技術的進歩**

6月2日(土) 13:30~15:30 第3会場

座長 小沢 浩(島田療育センターはちおうじ)

荒井 洋(ボバース記念病院)

- 1) 小児に対する Hybrid Assistive Limb (HAL) の使用経験
根津敦夫(横浜医療福祉センター港南)
- 2) 小児脳性麻痺に対する治療を複合的に用いた成果とそこから想定される理想的な治療
金城 健(沖縄南部医療センター・こども医療センター整形外科)
- 3) tDCS の臨床応用 小児における可能性
信迫悟志(畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター畿央大学大学院健康科学研究科)

第 3 回小児免疫性神経筋疾患 (MG/CIDP) 研究会：MG/CIDP における成人期を見据えた診療と難治症例の検討
(共催：一般社団法人日本血液製剤機構)

5 月 31 日 (木) 18:30~20:30 第 3 会場

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
武下草生子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)
石垣景子 (東京女子医科大学小児科)
稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

- 1) GBS・CIDP：将来を見据えた診療のコツ
三澤園子 (千葉大学大学院医学研究院神経内科学)
- 2) 症例検討 1 (CIDP)
西村洋子 (鳥取大学脳神経小児科)
- 3) 症例検討 2 (MG)
米衛ちひろ (南九州病院小児科)
- 4) 症例検討 3 (CIDP)
山本晃代 (札幌医科大学小児科)
- 5) 症例検討 4 (Fisher 症候群)
土岐 平 (北里大学医学部小児科)

第 10 回日本小児免疫性脳炎研究会：MERS について

6 月 2 日 (土) 8:30~10:00 第 7 会場

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
多田弘子 (千葉県済生会習志野病院小児科)

第 12 回子どもの眠り研究会

5 月 31 日 (木) 18:30~20:30 第 4 会場

一般演題

座長 谷池雅子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター)
太田英伸 (浅井病院精神科)

臨床

- 1) 自閉スペクトラム症の睡眠障害におけるバルプロ酸の効果
中川栄二¹, 福水道郎^{2,3}
(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院睡眠外来², 昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック³)
- 2) 急激に発症し、ドパミンアゴニストが著効したむずむず脚症候群の 2 例
加藤久美 (太田睡眠科学センター)
- 3) 小児の睡眠ポリソムノグラフ施行におけるプレパレーションの有効性の検討
村田絵美¹, 毛利育子¹, 加藤久美^{1,2}, 谷池雅子¹
(大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 太田睡眠科学センター²)

睡眠衛生

- 4) 睡眠リズム啓発イベント参加申し込み時のアンケートより見えた乳幼児の睡眠の問題
星野恭子¹, 三橋美穂²
(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック¹, 快眠セラピスト/睡眠環境プランナー Sleeppeace (スリーピース))
- 5) 幼児の睡眠に対する睡眠環境の影響について
中川真智子^{1,2}, 太田英伸^{3,4}, 長沖優子¹, 鳥袋林秀¹, 安積陽子⁵, 高橋紀子⁵, 中澤貴代⁶, 森岡圭太⁶, 伊藤詩菜⁷, 大石芳久⁸, 平田倫生¹, 長 和俊⁶, 草川 功¹, 与田仁志²
(聖路加国際病院小児科¹, 東邦大学医療センター大森病院新生児科², 浅井病院精神科³, 国立精神・神経医療研究センター精神生理研究部⁴, 北海道大学大学院保健科学研究院⁵, 北海道大学病院周産母子センター⁶, 北海道大学病院小児科⁷, 日本赤十字社医療センター小児科⁸)
- 6) 5 歳児健診からわかった乳幼児の早寝の大切さ
下泉秀夫^{1,2}, 渡辺浩史¹, 宮島由香^{2,3}, 藤井 仁⁴
(国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園¹, 国際医療福祉大学大学院医療福祉学分野², 木曾保健福祉事務所³, 国立保健医療科学院政策技術評価研究部⁴)

教育講演

座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
体内時計形成および睡眠障害に伴う発達障害
三池輝久 (日本眠育推進協議会, 熊本大学, 兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター)

プレコンgress 第 3 会場

12:50~15:20 実践教育セミナー 1 (S228)

ここまでわかった神経症候学

座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)

- 1) 新生児の神経症候学
城所博之 (名古屋大学医学部小児科)
- 2) 小児の運動の神経症候学
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)
- 3) 一例から始まる極私的神経症候学
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)

15:30~18:00 実践教育セミナー 6 (S240)

小児神経科医のための診断推論

座長 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

- 1) 小児神経疾患への発達症候学的アプローチ
稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
- 2) 動画と神経生理検査で診断する小児神経疾患
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 3) 神経科医養成のための教育実践法
伊藤彰一
(千葉大学大学院医学研究院医学教育研究室, 千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター, 千葉大学医学部附属病院神経内科)

プレコンgress 第 4 会場

12:50~15:20 実践教育セミナー 2 (S230)

小児科医のための神経画像 2018 ; MRI をもう一度学びなおそう

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

- 1) T1, T2, FLAIR 画像 revisited
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 2) 拡散強調画像 (DWI) revisited
森 壘 (東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座)
- 3) MRA
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 4) これでわかったおしりの気持ち 脊髄脊椎の先天奇形の画像診断
安藤久美子¹, 石藏礼一² (兵庫医科大学放射線医療センター¹, 兵庫医科大学放射線科²)
- 5) 小児正常発達画像 (異常所見との対比も交えて)
藤田和俊 (神奈川県立こども医療センター放射線科)

15:30~18:00 実践教育セミナー 7 (S242)

こどもの頭痛 マスター・スクール

座長 荒木 清 (東京都済生会中央病院小児科)

山中 岳 (東京医科大学小児科学分野)

- 1) 国際頭痛分類 ICHD-3 β に基づく小児頭痛の診断
安藤直樹 (城西こどもクリニック)
- 2) 慢性頭痛の診療ガイドラインに基づく小児頭痛の治療
桑原健太郎 (広島市立病院機構広島市立広島市民病院小児科)
- 3) 小児期特有の周期性症候群について
正田敏之 (帝京大学医学部小児科, ひきた小児科クリニック)
- 4) 思春期の頭痛の特徴と対応
西村 陽 (京都第一赤十字病院新生児科総合周産期母子医療センター, 京都府立医科大学小児科)

プレングレス 第5会場

12:50~15:20 実践教育セミナー 3.....(S233)

第4回小児脳機能研究会 一臨床に役立つ臨床神経生理一
座長 相原正男 (山梨大学大学院総合研究部)
 淵上達夫 (日本大学医学部小児科)

- 1) 脳炎/脳症の診断と治療指針
白石秀明 (北海道大学病院小児科)
- 2) てんかん診療
金村英秋¹, 相原正男² (山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)
- 3) 発達障害の非侵襲的脳機能評価
加賀佳美 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
- 4) 小児末梢神経疾患の診断と治療評価
安元佐和 (福岡大学医学部医学教育推進講座)

プレングレス 第6会場

12:50~14:50 実践教育セミナー 4.....(S236)

知っておきたい「医療的ケア児」支援の実際：小児等在宅医療における「医療的ケア」のコツ (1)
座長 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

- 1) 「医療的ケア児」支援体制整備・日本小児神経学会提案の「学校における人工呼吸器療法児への対応についてのガイド」などの概要説明
米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)
- 2) 小児等在宅診療における「医療的ケア」の実際 一在宅支援に必要な知識と課題一
舟塚 真 (まこと小児神経クリニック, 東京女子医科大学小児科)
- 3) 嚥下障害と誤嚥 一評価と対応一
中谷勝利 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

15:00~17:00 実践教育セミナー 5.....(S238)

知っておきたい「医療的ケア児」支援の実際：小児等在宅医療における「医療的ケア」のコツ (2)
座長 中谷勝利 (心身障害児総合医療療育センター小児科)
 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

- 1) 呼吸障害とその対応 (気管切開ケア, 人工呼吸器療法を中心に)
山口直人 (心身障害児総合医療療育センター小児科・リハビリテーション科)
- 2) 小児神経疾患児の経管栄養の諸問題とその対応 一経管栄養 (胃瘻ボタンを含む), 栄養剤選択を中心に一
高橋長久 (心身障害児総合医療療育センター)

プレングレス 第7会場

15:30~18:00 実践教育セミナー 8.....(S245)

新生児脳波判読コンペティション 一初心者歓迎一
座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
 城所博之 (名古屋大学医学部小児科)

- 1) 新生児の脳波成熟度判定法
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- 2) 新生児の異常脳波
深沢達也 (安城更生病院小児科)

第 1 日目 第 1 会場

8:25~8:55 会長講演……………(S115)

小児神経学として社会への貢献を

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
講演 岡 明 (東京大学医学部小児科)

9:00~10:00 特別講演 1: The Yukio Fukuyama memorial lecture……………(S116)

Kindling knowledge in developmental aspects of epilepsy

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
講演 Solomon L. Moshé (Saul R. Korey Department of Neurology, Dominick P. Purpura Department Neuroscience and Department of Pediatrics, Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center, Bronx, New York, USA)

10:10~12:10 シンポジウム 1……………(S129)

急性脳症の最新知見

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

- 1) 急性脳症 overview 最新の疫学調査を踏まえて
水口 雅, 星野 愛 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
- 2) 小児急性脳症診療ガイドラインのポイント
奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)
- 3) 興奮毒性型急性脳症スペクトラムの拡がり
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 4) 小児急性脳症の治療戦略
山内秀雄 (埼玉医科大学小児科, 埼玉医科大学病院てんかんセンター)
- 5) 急性脳症の遺伝素因
星野 愛¹, 倉橋宏和² (東京大学大学院医学系研究科発達医科学¹, 愛知医科大学小児科²)
- 6) 脳症と神経炎症: 難治類回部分発作重積型急性脳炎を中心に
佐久間 啓¹, 多田弘子^{1,2}, 鈴木智典^{1,3}, 長谷川節子^{1,3}, 松岡貴子^{1,4}
(公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野¹, 千葉県済生会習志野病院小児科², 東京医科歯科大学発生発達病態学分野³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部⁴)

13:30~14:30 招待講演 1……………(S119)

The immune system and the brain: autoimmune encephalitis, autoimmune demyelination and other emerging diseases

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
講演 Russell C. Dale (Paediatric Neurology, the Children's Hospital at Westmead, University of Sydney, Australia)

14:40~16:40 シンポジウム 7……………(S148)

ILAE てんかん・発作型分類 2017 を読み解く

座長 日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科)
秋山倫之 (岡山大学小児神経科)

- 1) 2017 Classifications of the seizures and epilepsy with a future classification road map
Solomon L. Moshé
(Saul R. Korey Department of Neurology, Dominick P. Purpura Department Neuroscience and Department of Pediatrics, Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center, Bronx, New York, USA)
- 2) 2017 発作型分類の概要と実際
日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科)
- 3) ILAE2017 分類の邦訳版作成, 分類の問題点と日本でてんかん学会における本邦での今後の対応
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

第 1 日目 第 2 会場

10:10~12:10 シンポジウム 2 (S133)

周生期に始まる光環境と生体周期・疾病発症の関係を読み解く

座長 岩田 欧介 (名古屋市立大学新生児小児医学分野)
高橋 尚人 (東京大学小児・新生児集中治療部)

- 1) 環境因子による行動リズムの制御
増 渕 悟 (愛知医科大学医学部生理学)
- 2) 早産児に見るサーカディアンリズム
木下 正啓 (久留米大学医学部小児科)
- 3) 子供の睡眠と心身の健康：社会的健康決定要因に関する大規模疫学研究の結果から
関根 道和 (富山大学大学院医学薬学研究部疫学健康政策学講座)
- 4) 概日周期と睡眠恒常性維持機構の関係再考
桑 和彦 (名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学)

13:30~14:30 教育講演 1 (S124)

思春期の神経発達症に対する理解と支援

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)
講演 松本 英夫 (東海大学医学部精神科学)

14:40~16:40 シンポジウム 8 (S150)

小児神経科医が知っておくべき思春期神経発達症・心身医学

座長 作田 亮一 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
松本 英夫 (東海大学医学部精神科学)
指定発言 石崎 朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

- 1) 小児心身症の理解と対応
石崎 優子 (関西医科大学医学部小児科)
- 2) 子どもの摂食障害の対応と予防
作田 亮一 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
- 3) 不登校児への対応：生理学的評価とストレス機序の理解
永光 信一郎, 山下 裕史朗 (久留米大学医学部小児科)
- 4) 外来で役立つ心理学：心理検査の意義とストレスコーピングの知識
田副 真美 (ルーテル学院大学総合人間学部)

18:30~19:20 イブニングセミナー：共催 AveXis, Inc. (S270)

座長 齋藤 加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

AVXS-101 single-dose gene-replacement therapy for spinal muscular atrophy

○Jerry R. Mendell

(Center for Gene Therapy Nationwide Children's Hospital, Columbus, OH, USA, Department of Pediatrics,
Department of Neurology)

第 1 日目 第 3 会場

10:10~12:10 シンポジウム 3 (S136)

先天性サイトメガロウイルス感染症の診療の進歩

座長 森内 浩幸 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)
岡 明 (東京大学医学部小児科)

- 1) 先天性サイトメガロウイルス感染症 標準的な診療研究体制に向けて
岡 明 (東京大学医学部小児科)

- 2) 診断法の進歩
森内浩幸 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)
- 3) 治療の展望
森岡一朗 (神戸大学大学院医学研究科小児科)
- 4) 地域における連携と小児神経科の取り組み
稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科, 信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター)
- 5) 当事者の視点で考える母子感染症予防啓発
吉田美知代 (先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」)

12:30~13:20 **ランチョンセミナー 1: 共催 ヤンセンファーマ株式会社**…………… (S256)
注意欠陥多動性障害の治療の進歩

座長 作田亮一 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
 講演 榊原洋一 (お茶の水女子大学)

13:30~14:30 **教育講演 2**…………… (S125)
神経筋電気診断: 小児への応用も含めて

座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
 講演 園生雅弘 (帝京大学医学部神経内科)

14:40~16:10 **シンポジウム 9**…………… (S153)
小児神経科医が知っておくべき末梢神経の臨床

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

- 1) 小児神経科医が知っておくべき末梢神経の臨床
藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
- 2) 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー
武下草生子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)
- 3) 小児神経科医が知っておくべき末梢神経の臨床; 遺伝性ニューロパチー
石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

18:30~20:30 **第 3 回小児免疫性神経筋疾患 (MG/CIDP) 研究会: MG/CIDP における成人期を見据えた診療と
 難治症例の検討: 共催 一般社団法人日本血液製剤機構)**

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 武下草生子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)
 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)
 稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

- 1) GBS・CIDP: 将来を見据えた診療のコツ
三澤園子 (千葉大学大学院医学研究院神経内科学)
- 2) 症例検討 1 (CIDP)
西村洋子 (鳥取大学脳神経小児科)
- 3) 症例検討 2 (MG)
米衛ちひろ (南九州病院小児科)
- 4) 症例検討 3 (CIDP)
山本晃代 (札幌医科大学小児科)
- 5) 症例検討 4 (Fisher 症候群)
土岐 平 (北里大学医学部小児科)

第 1 日目 第 4 会場

10:10~12:10 **シンポジウム 4**…………… (S139)
ミトコンドリア病診療の現状と未来

座長 後藤雄一 (国立精神・神経医療研究センターメディカル・ゲノムセンター)
 三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

- 1) ミトコンドリア病診断のピットフォール
三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

- 2) ミトコンドリア病のバイオマーカー
八ッ賀秀一 (久留米大学小児科)
- 3) ミトコンドリア病の遺伝カウンセリング
竹下絵里^{1,2}, 杉本立夏², 後藤雄一²
(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院遺伝カウンセリング室²)
- 4) ミトコンドリア病に対する生殖補助医療からのアプローチ
末岡 浩 (慶應義塾大学医学部産婦人科)
- 5) ミトコンドリア DDS が拓く新しいミトコンドリア病治療戦略
山田勇磨, 原島秀吉 (北海道大学大学院薬学研究院)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 2 : 共催 大塚製薬株式会社 (S256)
日常臨床に潜むカルニチン欠乏症

座長 高柳正樹 (帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科)
講演 大竹 明 (埼玉医科大学医学部小児科, 埼玉医科大学病院難病センター)

13:30~16:00 シンポジウム 5 (S142)
小児神経疾患への新しい神経放射線学的手法の応用

座長 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)
森 壘 (東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座)

- 1) 小児のために役立つ脳 MRI の最近の進歩: 静音技術と Synthetic MRI を中心に
青木茂樹¹, アンディカ クリステイナ¹, 萩原彰文^{1,2}
(順天堂大学医学部放射線科¹, 東京大学医学部放射線科²)
- 2) 磁化率強調画像: 小児神経疾患への臨床応用
井田正博 (荏原病院放射線科)
- 3) 出生後の脳 MR 画像の変化
田岡俊昭 (名古屋大学医学部附属病院放射線科)
- 4) MR spectroscopy で診る脳病態
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 5) Chemical exchange saturation transfer (CEST) イメージング: 神経領域への応用
梅尾 理, 樋渡昭雄, 山下孝二, 桃坂大地, 本田 浩 (九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野)

18:30~20:30 第 12 回子どもの眠り研究会

一般演題

座長 谷池雅子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター)
太田英伸 (浅井病院精神科)

臨床

- 1) 自閉スペクトラム症の睡眠障害におけるバルプロ酸の効果
中川栄二¹, 福水道郎^{2,3}
(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院睡眠外来², 昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック³)
- 2) 急激に発症し, ドパミンアゴニストが著効したむずむず脚症候群の 2 例
加藤久美 (太田睡眠科学センター)
- 3) 小児の睡眠ポリソムノグラフ施行におけるプレパレーションの有効性の検討
村田絵美¹, 毛利育子¹, 加藤久美^{1,2}, 谷池雅子¹
(大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 太田睡眠科学センター²)

睡眠衛生

- 4) 睡眠リズム啓発イベント参加申し込み時のアンケートより見えた乳幼児の睡眠の問題
星野恭子¹, 三橋美穂²
(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック¹, 快眠セラピスト/睡眠環境プランナー Sleeppeace (スリーピース)²)

- 5) 幼児の睡眠に対する睡眠環境の影響について
 中川真智子^{1,2}, 太田英伸^{3,4}, 長沖優子¹, 島袋林秀¹, 安積陽子⁵, 高橋紀子⁵, 中澤貴代⁶, 森岡圭太⁶,
 伊藤詩菜⁷, 大石芳久⁸, 平田倫生¹, 長 和俊⁶, 草川 功¹, 与田仁志²
 (聖路加国際病院小児科¹, 東邦大学医療センター大森病院新生児科², 浅井病院精神科³, 国立精神・神
 経医療研究センター精神生理研究部⁴, 北海道大学大学院保健科学研究所⁵, 北海道大学病院周産母子
 センター⁶, 北海道大学病院小児科⁷, 日本赤十字社医療センター小児科⁸)
- 6) 5 歳児健診からわかった乳幼児の早寝の大切さ
 下泉秀夫^{1,2}, 渡辺浩史¹, 宮島由香^{2,3}, 藤井 仁⁴
 (国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園¹, 国際医療福祉大学大学院医療福祉学分野²,
 木曾保健福祉事務所³, 国立保健医療科学院政策技術評価研究部⁴)

教育講演

座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

体内時計形成および睡眠障害に伴う発達障害

三池輝久 (日本眠育推進協議会, 熊本大学, 兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター)

第 1 日目 第 5 会場

- 10:10~11:20 倫理委員会・COI 委員会主催セミナー：臨床研究不正事例から学ぶ，研究公正……………(S209)
 座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院)
 臨床研究不正事例から学ぶ，研究公正
 伏木信次 (京都府立医科大学研究開発・質管理向上統合センター，京都中部総合医療センター)
- 12:30~13:20 ランチョンセミナー 3：共催 ノーベルファーマ株式会社……………(S257)
 結節性硬化症に伴う皮膚病変への新しい治療戦略
 座長 大野耕策 (山陰労災病院)
 講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科)
- 13:30~15:30 シンポジウム 6……………(S145)
 小児神経疾患への遺伝子・細胞治療臨床応用
 座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
- 1) 小児神経疾患への遺伝子・細胞治療臨床応用
 小坂 仁 (自治医科大学小児科)
 - 2) Gene therapy approaches for the treatment of Angelman syndrome
 Kee-Hong Kim¹, Jennifer Daily¹, Anthony Arulanandam¹, Mark J. Pykett¹, Kevin Nash²,
 Edwin J Weeber² (Agilis Biotherapeutics, USA¹, University of South Florida, USA²)
 - 3) AADC 欠損症に対する遺伝子治療臨床研究の成果と他疾患への応用
 小島華林, 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
 - 4) 肝臓を標的とした *in vivo* ゲノム編集治療 一血友病 B を例として—
 大森 司 (自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門)
 - 5) 間葉系幹細胞を用いた再生医療
 竹谷 健 (島根大学医学部小児科)
- 15:40~17:20 シンポジウム 10……………(S155)
 小児神経難病の地域におけるマネジメント
 座長 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)
 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
- 1) 診断時から移行期にわたる専門的サポート
 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
 - 2) 多科との診療コーディネート
 里 龍晴 (長崎大学病院小児科)
 - 3) 専門医療機関・かかりつけ診療所・地域病院の 3 者連携構築
 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
 - 4) 小児神経専門医による在宅訪問診療
 熊谷俊幸 (くま在宅クリニック)

- 5) マネジメントにおける多職種との情報共有
石川悠加, 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)

18:30~20:30 医療安全委員会主催セミナー：小児神経領域の医療安全を求めた更なる取組…………… (S213)

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
是松聖悟 (中津市立中津市民病院)

- 1) Multidisciplinary team (MDT) で臨む鎮静・無鎮静 MR 検査における医療安全の実現
下川尚子¹, 吉岡史隆¹, 阿部竜也¹, 陣内久美子², 熊本 崇², 前田寿幸², 尾形善康², 小池 舞³,
山田有梨³, 小川 渚³, 岩橋好子³, 秋山義弘⁴
(佐賀大学医学部脳神経外科学¹, 佐賀大学医学部小児科², 佐賀大学医学部看護部³, 佐賀大学医学部放射線部⁴)
- 2) 子どもの頭部外傷診療とチャイルド・ファースト
早野駿佑 (北九州市立八幡病院小児救急センター)
- 3) ACTH 療法を安全に施行するために
山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
- 4) 安全な鎮静薬使用にむけて —鎮静前の経口摂取および鎮静薬の多剤重複のリスクについて—
大嶽浩司 (昭和大学医学部麻酔科)

第 1 日目 第 6 会場

12:30~13:20 ランチョンセミナー 4：共催 ミヤリサン製薬株式会社…………… (S257)
脳腸相関における腸内細菌の役割

座長 萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)
講演 福土 審 (東北大学大学院医学系研究科行動医学, 東北大学病院心療内科)

13:30~16:30 長期計画委員会ワークショップ…………… (S210)
長期計画委員会企画 2035 年の小児神経科医

座長 神山 潤 (公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ浦安市川医療センター)
友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

- 1) 学会と社会 (政策提言, 学会声明のあり方等)
小倉加恵子¹, 久保田健夫², 加賀佳美³, 鈴木由佳⁴, 宮島 祐⁵
(森之宮病院小児神経科¹, 聖徳大学児童学部児童学科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³, 松山赤十字病院小児科⁴, 東京家政大学子ども学部子ども支援学科⁵)
- 2) 学会と医療：重症心身障害児・神経難病児の成人移行期医療について考える
三山佐保子¹, 宮本晶恵², 口分田政夫³, 岩崎信明⁴
(東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科², びわこ学園医療福祉センター草津小児科³, 茨城県立医療大学付属病院小児科⁴)
- 3) 学会と研究 ((国際) 共同研究, 学際的研究等)
多田弘子¹, 福與なおみ⁴, 加藤光広², 友田明美³
(千葉県済生会習志野病院小児科¹, 昭和大学医学部小児科学講座², 福井大学子どものこころの発達研究センター³, 東北大学医学部小児科⁴)
- 4) 学術大会のあり方 (開催地, 規模等)
鶴澤礼実¹, 福田冬季子², 中井昭夫^{3,4,5}, 川上康彦⁶
(福岡大学筑紫病院小児科¹, 浜松医科大学小児科², 武庫川女子大学教育研究所³, 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科⁴, 武庫川女子大学教育研究所子ども発達科学研究センター⁵, 日本医科大学武蔵小杉病院小児科⁶)

第 1 日目 第 7 会場

10:10~11:10 一般演題 (口演)…………… (S295)
てんかん・けいれん 1 West 症候群など

座長 石崎義人 (九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野)
福田光成 (東京都立神経病院神経小児科)

O-001 Long-term weekly ACTH 療法による West 症候群再発の予防：6 症例の検討

○馬場信平¹, 岡西 徹¹, 西村光代³, 金井創太郎¹, 板村真司¹, 増田洋亮², 藤本礼尚², 榎 日出夫¹
聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター², 聖隷浜松病院臨床検査部³

- O-002 West 症候群に対する第一選択薬としての Vitamin B6 療法の有効性**
 ○松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 代田惇朗¹, 久保田 淳^{1,2}, 樋渡えりか¹, 池本 智^{2,3}, 小一原玲子³, 南谷幹之¹
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³
- O-003 West 症候群に対するピガバトリンの使用経験**
 ○柴田 敬, 秋山麻里, 松田奈央子, 兵頭勇紀, 土屋弘樹, 花岡義行, 遠藤文香, 秋山倫之, 小林勝弘
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (岡山大学病院小児神経科)
- O-004 點頭てんかんに対するピガバトリン治療の経験**
 ○下野九理子^{1,2,3}, 林 良子^{2,3}, 廣恒実加^{2,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目 信^{2,3}, 谷池雅子^{1,2}, 大藺恵一^{2,3}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³
- O-005 術前発作時脳波の対称性 index を用いたてんかん性スパズムに対する脳梁離断術の予後予測因子の検討**
 ○金井創太郎¹, 岡西 徹¹, 大栗聖由², 板村真司¹, 馬場信平¹, 西村光代³, 藤本礼尚⁴, 榎 日出夫¹
 聖隷浜松病院小児神経科¹, 鳥取大学医学部保健学科病態検査学², 聖隷浜松病院臨床検査部³, 聖隷浜松病院てんかんセンター⁴
- O-006 強直発作を呈する難治性てんかんに対する rufinamide の治療効果についての検討**
 ○南谷幹之^{1,2}, 浜野晋一郎^{1,2}, 松浦隆樹^{1,2}, 池本 智^{1,2}, 樋渡えりか¹, 久保田 淳^{1,2}, 代田惇朗¹
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

11:10~12:10 一般演題 (口演)..... (S297)

- てんかん・けいれん 2 新規抗てんかん薬**
 座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)
- O-007 小児期発症難治てんかん症例へのラコサミドの使用経験**
 ○岡崎 伸, 九鬼一郎, 川脇 壽, 福岡正隆, 金 聖泰, 温井めぐみ, 井上岳司
 大阪市立総合医療センター小児神経内科
- O-008 難治性てんかんに対するラコサミドの効果の検討**
 ○大黒春夏¹, 中山智博^{1,2}, 中山純子¹, 中山尚子², 渡慶次香代¹, 丸山 博², 岩崎信明¹
 茨城県立医療大学付属病院小児科¹, 松戸クリニック小児科²
- O-009 ペランパネル併用療法の使用経験**
 ○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 野村昇平¹, 荻野元子³, 畑中マリ³, 森 篤志⁴, 利川寛実³, 福井美保³, 吉川聡介⁵, 島川修一³, 東川幸嗣⁴, 若宮英司⁶, 玉井 浩³
 市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 大阪医科大学附属病院小児科³, 清恵会病院小児科⁴, 第一東和会病院小児科⁵, 藍野大学医療保健学部看護学科⁶
- O-010 Effects of perampanel on secondary bilateral synchrony in children with epilepsy**
 ○金村英秋¹, 佐野史和¹, 大山哲男¹, 相原正男²
 山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²
- O-011 当院における新規抗てんかん薬出現後の抗てんかん薬の処方の変化について**
 ○渡邊年秀, 二階堂弘輝, 高山留美子
 北海道立子ども医療療育センター小児科
- O-012 難治性てんかんに対する Perampanel の使用経験**
 ○中山智博^{1,2}, 大黒春夏¹, 中山尚子², 渡慶次香代¹, 中山純子¹, 丸山 博², 岩崎信明¹
 茨城県立医療大学付属病院小児科¹, 松戸クリニック小児科²

12:30~13:20 ランチョンセミナー 5 : 共催 BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社..... (S258)

- セロイドリポフスチノシス (NCL) の診断と治療 —最近の進歩—**
 座長 大澤眞木子 (東京女子医科大学)
 講演 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学, 一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター)

13:30~14:30 一般演題 (口演)..... (S299)

- てんかん・けいれん 3 その他 1**
 座長 松尾宗明 (佐賀大学小児科)
 東田好弘 (徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科学分野)

- O-013 Munc18-1 (STXBP1) の機能障害による発達障害病態メカニズムの解析**
 ○永田浩一, 浜田奈々子, 岩本郁子, 田畑秀典
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部
- O-014 トリソミー 18 に合併するてんかんの特徴: 当院 34 例のまとめ**
 ○平良遼志^{1,2}, 園田有里¹, 一宮優子¹, 赤峰 哲¹, 鳥尾倫子¹, 石崎義人¹, 實藤雅文¹, 落合正行², 酒井康成¹, 大賀正一¹
 九州大学病院小児科¹, 九州大学病院総合周産期母子センター²
- O-015 点頭てんかんの治療遅延の要因; 20 年間における変化**
 ○平田佑子^{1,2,3}, 浜野晋一郎², 松浦隆樹^{2,3}, 大場温子³, 熊谷勇治⁴, 池本 智^{2,3}, 樋渡えりか²
 東京都立北療育医療センター小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 東京慈恵会医科大学小児科³, 東葛病院小児科⁴
- O-016 養護教諭におけるてんかんに対する認識の実態調査 —非養護教諭との比較—**
 ○高田 献^{1,2,3}, 金村英秋¹, 佐野史和¹, 相原正男⁴
 山梨大学医学部小児科¹, 山梨厚生病院小児科², 山梨県立あけぼの医療福祉センター³, 山梨大学大学院総合研究部⁴
- O-017 新規抗てんかん薬による眼球運動異常の 2 例**
 ○増田由香¹, 根津敦夫¹, 唐澤久美子², 新井ひでえ¹, 黒澤真紀子¹, 湯口慈雨¹, 栗嶋勇也¹, 三浦直子¹, 喜多麻衣子¹
 横浜医療福祉センター港南神経小児科¹, 横浜療育医療センター²
- O-018 ビデオ脳波同時記録で発作時脳波から PNES (psychogenic non-epileptic seizures) と診断した 5 症例の検討**
 ○颯佐かおり, 阿部裕一, 山内秀雄
 埼玉医科大学病院小児科

14:30~15:30 一般演題 (口演) (S301)

遺伝・染色体異常 1

座長 久保田健夫 (聖徳大学児童学部)
 山本圭子 (東京女子医科大学附属病院医療センター)

- O-019 アンジェルマン症候群患者由来 iPS 細胞を用いた興奮性神経細胞機能評価**
 ○江川 潔¹, 平田快洋¹, 白石秀明¹, 佐藤大介¹, 齋藤伸治², 高橋幸利³, 奥野博庸⁴, 石川 充⁴, 岡野栄之⁴
 北海道大学院医学研究院小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野², 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科³, 慶應義塾大学医学部生理学教室⁴
- O-020 PI3K-AKT-mTOR 経路異常による巨脳症の臨床的・分子遺伝学的・生化学的検討**
 ○堀 いくみ¹, 宮 冬樹^{2,3}, 中村勇治¹, 家田大輔¹, 根岸 豊¹, 服部文子¹, 角田達彦^{2,3}, 金村米博^{4,5}, 小崎健次郎⁶, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野², 理化学研究所統合生命医科学研究センター医科学数理研究グループ³, 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室⁴, 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター脳神経外科⁵, 慶應義塾大学臨床遺伝学センター⁶
- O-021 Schaaf-Yang 症候群の臨床像検討とトランスジェニックマウスを用いた病態解析**
 ○根岸 豊¹, 家田大輔¹, 中村勇治¹, 堀 いくみ¹, 服部文子¹, 野崎靖之², 小牧宏文³, 遠山 潤⁴, 長崎啓佑⁵, 多田弘子⁶, 大石久史⁷, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 自治医科大学小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³, 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科⁴, 新潟大学医歯学総合病院小児科⁵, 千葉県済生会習志野病院小児科⁶, 名古屋市立大学大学院医学研究科実験動物研究教育センター⁷
- O-022 両側ラムダ縫合・矢状縫合早期癒合症の臨床的特徴と遺伝学的分析**
 ○坂口友理^{1,2}, 武内俊樹¹, 小崎健次郎², 高橋孝雄¹
 慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター²
- O-023 思春期早発症原因遺伝子 Mkrn3 はマウス精巣では発達期特異的インプリンティングを示す**
 ○木住野達也
 長崎大学先端生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野
- O-024 先天性大脳白質形成不全症の診断サポートのためのコンサルテーションボード**
 ○井上 健¹, 黒澤健司², 才津浩智³, 山本俊至⁴, 小坂 仁⁵, 高梨潤一⁶
 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部¹, 神奈川県立こども医療センター遺伝科², 浜松医科大学医化学講座³, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター⁴, 自治医科大学小児科⁵, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科⁶

15:30~16:20 一般演題 (口演)..... (S303)
不随意運動

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)

- O-025 てんかんを合併した SCN4A 変異を持つ先天性パラミオトニアの一例
○大府正治^{1,2}, 松岡剛司¹, 比屋根真彦¹, 高橋 悟³
沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児神経科¹, 沖縄南部徳洲会病院小児科², 旭川医
科大学小児科³
- O-026 リスペリドン, メチルフェニデート徐放剤内服中に不随意運動をきたした 5 歳男児例
○種岡飛翔, 里 龍晴, 橋本和彦, 西口奈菜子, 森内浩幸
長崎大学病院小児科
- O-027 神経芽腫に伴う傍腫瘍性神経症候群と考えられる小児例の検討: 臨床特徴と自己抗体
○大松泰生, 高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 榎田かおる, 井上有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- O-028 非傍腫瘍性オプソクローヌス・ミオクローヌス症候群の検討: 臨床像と自己抗体
○美根 潤, 高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 榎田かおる, 井上有史
国立病院機構静岡てんかん神経医療センター
- O-029 KMT2B 遺伝子変異 2 例に対する淡蒼球内節刺激療法 一定量の運動機能解析システムを用いた検討一
○宮田世羽^{1,2}, 吉田大峰³, 本多武尊³, 熊田聡子¹, 眞下秀明¹, 西田裕哉¹, 白井育子¹, 横地房子⁸,
寛 慎治³, 濱中耕平⁴, 宮武聡子⁴, 松本直通⁴, 服部文子⁵, 瓦井俊孝⁶, 谷口 真⁷
東京都立神経病院神経小児科¹, 杏林大学医学部小児科², 東京都医学総合研究所運動障害プロジェ
クト³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴, 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科⁵, 徳島
大学臨床神経科学⁶, 東京都立神経病院脳神経外科⁷, 東京都立神経病院脳神経内科⁸

16:20~17:10 一般演題 (口演)..... (S304)
先天異常・神経皮膚症候群

座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター病院神経内科)
岡西 徹 (聖隷浜松病院てんかんセンター・小児神経科)

- O-030 腰仙部皮膚異常の検討
○前田寿幸¹, 陣内久美子¹, 一ノ瀬文男¹, 平原恵子², 岩永 学¹, 下川尚子³, 松尾宗明¹
佐賀大学医学部小児科¹, 佐賀県医療センター好生館小児科², 佐賀大学医学部脳神経外科³
- O-031 結節性硬化症 (TSC) に伴う上衣下結節性巨細胞性星細胞腫 (SEGA) に対する治療戦略: mTOR 阻害薬
(分子標的薬) の有効性と限界
○九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 岡崎 伸¹, 金 聖泰¹, 福岡正隆¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 國廣誉世²,
宇田武弘², 松阪康弘², 坂本博昭², 富和清隆³
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科², 東大寺福
祉療育院小児神経内科³
- O-032 てんかんを合併した結節性硬化症児の幼児期の発達について
○遠藤文香¹, 土屋弘樹¹, 兵頭勇紀¹, 秋山麻里¹, 岡 牧郎¹, 秋山倫之¹, 吉永治美^{1,2}, 小林勝弘¹
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)¹, 南岡山医療センター重症心身
障害児センター²
- O-033 LPS 応答性の評価により診断した免疫不全症を伴う先天性色素失調症の 2 例
○大西秀典, 川本典生, 折居建治, 深尾敏幸
岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学
- O-034 ビガバトリンが投与された結節性硬化症患者における精神神経症状 (TAND) の予後について
○植松 貢¹, 植松有里佳¹, 相原 悠¹, 藤川真由², 富樫紀子³, 椎原 隆⁴, 大橋 圭⁵, 服部文子⁵,
呉 繁夫¹
東北大学医学部小児科¹, 東北大学医学部てんかん科², 宮城県立こども病院³, 群馬県立小児医療
センター⁴, 名古屋市立大学医学部小児科⁵

第 1 日目 第 8 会場

10:10~11:20 一般演題 (口演)..... (S306)
発達障害 1 自閉スペクトラム症

座長 林 隆 (西川医院発達診療部)
古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部教育学科)

- O-035** 鼓膜深部体温は自閉症スペクトラム障害のバイオマーカーとなりうる 第 2 報
○中山智博^{1,2}, 大黒春夏¹, 中山尚子², 中山純子¹, 岩崎信明¹
茨城県立医療大学付属病院小児科¹, 松戸クリニック小児科²
- O-036** 視覚選好性を応用した自閉スペクトラム症の早期発見に関するコホート研究; ハイリスク群 2-3 歳の trajectory
○小枝達也¹, 大羽沢子², 前垣義弘³
国立成育医療研究センターこころの診療部¹, 鳥取大学医学研究科², 鳥取大学医学部脳神経小児科³
- O-037** 多チャンネル NIRS を用いた表情処理過程の解析
○森 健治¹, 郷司 彩², 森 達夫², 東田好広², 伊藤弘道², 宮崎雅仁², 香美祥二²
徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野¹, 徳島大学医学部小児科²
- O-038** 自閉症スペクトラム障害児の酸化ストレス度: 予備的研究
○橋本俊顯¹, 森本真仁², 津田芳見¹, 北岡泰介³, 京谷庄二郎³
徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター薬剤課², 徳島文理大学大学院薬学研究科³
- O-039** 自閉症スペクトラムに対する第二世代抗精神薬投与初期の体重増加
○林 優子¹, 土路生明美², 鴨下加代²
県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科¹, 県立広島大学保健福祉学部看護学科²
- O-040** 自閉スペクトラム症の頭部 1H-MRS による検討 一前部帯状回と左小脳について一
○伊藤弘道^{1,2}, 森 健治³, 原田雅史⁴, 久岡園花⁴, 東田好広², 森 達夫², 郷司 彩², 高見容子², 宮崎雅仁², 香美祥二²
鳴門教育大学大学院学校教育研究科特別支援教育専攻¹, 徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科², 徳島大学大学院医歯薬学研究部子どもの保健・看護学³, 徳島大学大学院医歯薬学研究部放射線科⁴
- O-041** 妊娠全期間の少量バルプロ酸胎内曝露は生後自閉症様行動の原因となる
○三橋隆行¹, 服部聡子², 藤村公乃¹, 芝田晋介³, 宮川 剛², 高橋孝雄¹
慶應義塾大学医学部小児科¹, 藤田保健衛生大学総合医科学研究部システム医科学研究部門², 慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室³

11:20~12:10 一般演題 (口演)..... (S308)
発達障害 2

座長 関 あゆみ (北海道大学大学院教育学研究院)
玉井 浩 (大阪医科大学小児科)

- O-042** 漢字書字障害の認知的特徴の検討
○畑中マリ¹, 若宮英司², 福井美保¹, 中西 誠³, 竹下 盛³, 三浦朋子⁴, 奥村智人³, 水田めぐみ³, 栗本奈緒子³, 島川修一¹, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 藍野大学医療保健学部看護学科², 大阪医科大学 LD センター³, 堺清恵会 LD センター⁴
- O-043** 4 歳から 6 歳の立方体描写の定型発達: 『母子コホート研究による成育疾患等の病態解明に関する研究』から
○早川 格, 安藤亜希, 寺嶋 宙, 久保田雅也
国立成育医療研究センター器官病態内科部神経内科
- O-044** 発達障害診療における Risperidone ならびに Aripiprazole の使用経験
○大橋 圭, 福原里美, 宮地泰士, 浅井朋子, 今枝正行, 齋藤伸治
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野
- O-045** 日本文化に合わせた運動技能のチェック票の作成: 新しい尺度 DCDC をもちいた検討 (1)
○橋本竜作^{1,2,3}, 末田慶太郎², 柳生一自^{2,3}
北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科¹, 札幌市子ども心身医療センター児童精神科², 北海道大学大学院医学研究院児童思春期精神医学分野³
- O-046** DCD 症状は, ADHD と関連するの? : 新しい尺度 DCDC をもちいた検討 (2)
○末田慶太郎¹, 柳生一自^{1,2}, 橋本竜作^{1,3}
札幌市子ども心身医療センター児童精神科¹, 北海道大学大学院医学研究院児童思春期精神医学分野², 北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科³

12:30~13:20 ランチョンセミナー 6: 共催 第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社..... (S258)
てんかんの移行診療 一小児神経科医の立場から一

座長 今井克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
講演 吉永治美 (国立病院機構南岡山医療センター)

13:30~14:30 一般演題 (口演).....(S310)
急性脳症 1 AESD座長 山中 岳 (東京医科大学小児科学分野)
永瀬裕朗 (神戸大学医学部附属病院親と子の心療部)

O-047 AESD における脳血液供給と病変形成部位の関連の検討

○實藤雅文^{1,2}, 一宮優子^{2,3}, 賀来典之^{2,3}, 鳥尾倫子², 李 守永⁴, 園田有里², 赤峰 哲²,
石崎義人², 酒井康成², 大賀正一²九州大学環境発達医学研究センター¹, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学², 九州大学病院救命救急センター³, 福岡市立こども病院集中治療科⁴

O-048 けいれん重積型急性脳症 (AESD) 予測スコアの妥当性

○植原 翔¹, 深沢達也¹, 久保田哲夫¹, 根岸 豊², 山本啓之³, 齋藤伸治², 奥村彰久⁴, 夏目 淳³
安城更生病院小児科¹, 名古屋市立大学小児科², 名古屋大学小児科³, 愛知医科大学小児科⁴

O-049 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を伴う急性脳症 (AESD) 後のてんかん 一頭部 MRI 定量解析一

○一宮優子^{1,2}, 實藤雅文^{1,3}, 園田有里¹, 鳥尾倫子¹, 賀来典之^{1,2}, 李 守永⁴, 石崎義人¹,
酒井康成¹, 大賀正一¹九州大学病院小児科¹, 九州大学病院救命救急センター², 九州大学病院環境発達医学研究センター³, 福岡市立こども病院集中治療科⁴

O-050 発熱およびけいれん重積で入院した小児 130 例の AESD 診断予測スコアによる解析

○植松賢司, 座波清誉, 中村康子, 松本 浩
防衛医科大学校小児科

O-051 東海地区における bright tree appearance を呈する急性脳症の 9 年間の発症状況

○牧 祐輝¹, 田中雅大¹, 岡井 佑¹, 坂口陽子¹, 山本啓之¹, 大野敦子¹, 中田智彦¹, 深沢達也²,
辻 健史³, 城所博之¹, 久保田哲夫², 奥村彰久⁴, 齋藤伸治⁵, 夏目 淳¹名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 安城更生病院小児科², 岡崎市民病院小児科³, 愛知医科大学小児科⁴, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学⁵

O-052 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症における Calpain 依存性細胞死の検討

○松重武志, 向野文貴, 井上裕文, 星出まどか, 岡 桃子, 高橋一雅, 長谷川俊史
山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科14:30~15:10 一般演題 (口演).....(S312)
感染免疫座長 植松 貢 (東北大学病院小児科)
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

O-053 造血細胞移植における血清ニューロフィラメント値の経時的測定の有用性

○大澤由寛¹, 本林光雄^{1,2}, 那須野 将¹, 森川愛美³, 夏目岳典¹, 柳沢俊光¹, 稲葉雄二⁴
信州大学医学部小児医学教室¹, 信州大学医学部新生児学療育学講座², 長野赤十字病院小児科³,
長野県立こども病院神経小児科⁴

O-054 小児重症筋無力症における維持療法としての免疫グロブリン静注療法の有用性

○大場温子^{1,2}, 浜野晋一郎², 松浦隆樹²東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

O-055 小児眼筋型重症筋無力症における B-cell activating factor/a proliferation-inducing ligand 抗原系の解析

○本林光雄¹, 西村貴文², 大澤由寛³, 那須野 将³, 森川愛美⁴, 夏目岳典³, 柳沢俊光³, 水野朋子⁵,
八谷靖夫⁶, 赤坂真奈美⁷, 稲葉雄二^{8,9}信州大学医学部新生児学療育学講座¹, 国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院², 信州大学医学部小児科³, 長野赤十字病院小児科⁴, 東京医科歯科大学小児科⁵, 国立病院機構東長野病院小児科⁶, 岩手医科大学医学部小児科⁷, 長野県立こども病院神経小児科⁸, 信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター⁹

O-056 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症中央診断の運用実績

○伊藤嘉規¹, 鳥居ゆか¹, 森岡一朗², 古谷野 伸³, 吉川哲史⁴, 森内浩幸⁵, 藤井知行⁶, 岡 明⁷,
木村 宏⁸名古屋大学医学系研究科小児科¹, 神戸大学大学院小児科², 旭川医科大学小児科³, 藤田保健衛生大学医学部小児科⁴, 長崎大学大学院小児科⁵, 東京大学大学院医学部女性診療科・産科⁶, 東京大学大学院医学部小児科⁷, 名古屋大学大学院ウイルス学⁸

15:10~16:10 English Session 1 (S277)
代謝異常・遺伝子治療

Chair Yo Niida (Center for Clinical Genomics, Kanazawa Medical University Hospital)
Nobuyuki Shimozawa (Division of Genomics Research Life Science Research Center, Gifu University)

- E-001 Drug screening for mitochondrial disease using fibroblasts from patients with mitochondrial disease**
○Akihiko Miyauchi¹, Takeshi Kouga¹, Eriko Jimbo¹, Tetsuro Matsushashi², Takaaki Abe²,
Takanori Yamagata¹, Hitoshi Osaka¹
Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Clinical Biology and
Hormonal Regulation, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan²
- E-002 Plasma biomarkers for the diagnosis of Niemann Pick C**
○Yoshikatsu Eto¹, Chen Wu^{1,3}, Hiroko Yanagisawa¹, Keiko Akiyama¹, Takashi Miyajima^{1,3},
Junko Igarashi³, Hossain Mohammad¹, Takeo Iwamoto²
Advanced Clinical Research Center, Southern Tohoku Brain Research Institute, Kanagawa, Japan¹, Core
Central Laboratory, Tokyo Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan², AnGes Rare Disease
Research Center, Tokyo, Japan³
- E-003 Acceleration of coagulation process during the enzyme infusion in a patient with Morquio A syndrome**
○Tatsuro Izumi
Department of Pediatrics and Child Neurology, Nanao National Hospital, Ishikawa, Japan
- E-004 A skeletal muscle model of infantile-onset Pompe disease using patient-specific iPS cells**
○Takeshi Yoshida^{1,2}, Tomonari Awaya³, Tatsuya Jonouchi², Ryo Kimura³, Shigemi Kimura⁴,
Kanako Maizuru¹, Masatoshi Nakata^{1,3}, Atsushi Yokoyama¹, Takumi Era⁵, Hidetoshi Sakurai²,
Toshio Heike^{1,6}
Department of pediatrics, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan¹, Center for iPS Cell Research and Appli-
cation (CiRA), Kyoto University, Kyoto, Japan², Department of Anatomy and Developmental Biology,
Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan³, Kumamoto City Child Development Support
Center, Kumamoto, Japan⁴, Department of Cell Modulation, Institute of Molecular Embryology and Genet-
ics (IMEG), Kumamoto University, Kumamoto, Japan⁵, Department of Pediatrics, Hyogo Prefectural Ama-
gasaki General Medical Center, Hyogo, Japan⁶
- E-005 Assessment of exon skipping for Duchenne muscular dystrophy by systematic review and meta-analysis**
○Yuko Motohashi¹, Terumi Murakami², En Kimura³, Hirofumi Komaki¹, Norio Watanabe⁴
Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry,
Tokyo, Japan¹, Department of Neurology, Higashisaitama National Hospital, Saitama, Japan², Extra Early
Exploratory Clinical Trial Unit, Translational Medical Center, National Institute of Neuroscience, National
Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan³, Department of Health Promotion and Human Behavior,
Graduate School of Medicine/School of Public Health, Kyoto University, Kyoto, Japan⁴
- E-006 CNS therapy for Fukuyama muscular dystrophy**
○Mariko Taniguchi-ikeda¹, Ichiro Morioka¹, Kazumoto Iijima¹, Tatsushi Toda²
Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Hyogo, Japan¹, Department of
Neurology, The University of Tokyo, Tokyo, Japan²

16:10~16:50 English Session 2 (S279)
脳症・免疫

Chair Yukitoshi Takahashi (National Epilepsy Center, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neu-
rological Disorders, NHO)
Nagasawa Tetsuro (Raffles Japanese Clinic)

- E-007 Chromosomally integrated human herpesvirus 6(HHV-6) may cause misdiagnosis as HHV-6 encephalopathy**
○Erika Hiwatari¹, Shin-ichiro Hamano^{1,2}, Atsuro Daida², Jun Kubota², Satoru Ikemoto¹,
Ryuki Matsuura², Reiko Koichihara¹, Motoyuki Minamitani²
Department for Child Health and Human Development, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan¹,
Division of Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan²

- E-008 A pediatric case of autoimmune encephalitis of the basal ganglia subsequent to mycoplasma infection**
 ○Hiroya Nishida¹, Takashi Tokunaga³, Riku Hamada³, Asami Ito⁴, Yuki Matsuyama^{5,6}, Eiji Kurihara¹, Hideaki Mashimo¹, Yohane Miyata¹, Ikuko Shirai¹, Kuniko Kohyama⁷, Hiroshi Sakuma⁷, Yasuhiro Nakata², Satoko Kumada¹
 Department of Neuropediatrics, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan¹, Department of Neuroradiology, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan², Department of Nephrology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan³, Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan⁴, Department of Pediatrics, Koshigaya Municipal Hospital, Saitama, Japan⁵, Department of Pediatrics and Adolescence, Juntendo University, Tokyo, Japan⁶, Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan⁷
- E-009 Transition from steroid to tacrolimus monotherapy for myasthenia gravis in children**
 ○Yuichi Abe, Kaori Sassa, Hideo Yamanouchi
 Department of Pediatrics, Saitama Medical University, Saitama, Japan
- E-010 Studies on cerebrospinal fluid examination in children who were suspected with CNS infection**
 ○Hisako Yamamoto^{1,2}, Yusaku Miyamoto^{1,2}, Kanako Takeda^{1,2}, Hitoshi Yamamoto²
 Division of Pediatrics, Kawasaki Municipal Tama Hospital, St. Marianna University School of Medicine, Kanagawa Japan¹, Department of Pediatrics, St. Marianna University School of Medicine, Kanagawa Japan²

第 1 日目 第 9 会場

10:10~11:10 一般演題 (口演)..... (S313)

脳性麻痺 1

座長 北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
 岩崎裕司 (東京都立東部療育センター)

- O-057 重症心身障害児・者病棟におけるヒトメタニューモウイルス集団感染**
 ○市山高志, 小林 光, 松藤博紀, 伊住浩史, 杉尾嘉嗣
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科
- O-058 重症心身障害児におけるヒトメタニューモウイルス感染症の流行経過について**
 ○和田恵子, 松井秀司, 牧野道子, 大野由美子, 白木恭子, 宇野久仁子, 田村貴子, 松田光展, 舟橋満寿子, 赤星恵子, 椎木俊秀
 東京小児療育病院小児科
- O-059 重症心身障害児者施設における抗菌薬サイクリング療法の有効性の検討 (第二報)**
 ○松藤博紀¹, 岡崎咲栄², 中村圭李¹, 石川尚子^{1,3}, 伊住浩史¹, 市山高志¹, 杉尾嘉嗣¹
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科¹, 山口労災病院小児科², 徳山中央病院小児科³
- O-060 脳室周囲白質軟化症を認める脳性麻痺児の成人期について**
 ○小寺澤敬子¹, 宮内寛子¹, 北山真次¹, 宮田広善²
 姫路市総合福祉通園センター¹, 姫路聖マリア病院²
- O-061 重症心身障害児における胸郭変形と気管変形**
 ○鈴木健史, 細川洋輔, 倉橋直子, 山田桂太郎, 丸山幸一, 麻生幸三郎
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科
- O-062 長期経管栄養管理中の重症心身障害児 (者) におけるセレンと甲状腺ホルモンの関連性の検討**
 ○丸山慎介¹, 米衛ちひろ², 馬場悠生¹, 河野嘉文¹
 鹿児島大学医学部小児科¹, 南九州病院小児科²

11:10~11:50 一般演題 (口演)..... (S315)

筋肉 1

座長 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
 福田冬季子 (浜松医科大学小児科学)

- O-063 小児期発症ラミノパチーの長期経過**
 ○三浦雅樹¹, 小牧宏文¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 西野一三²
 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神神経医療研究センター疾病研究第一部²

O-064 筋力低下を呈し筋病理所見で還元小体を認め、FHL1 遺伝子変異を同定した小児期発症の 4 例における臨床的特徴

○草開祥平¹, 井上道雄², 石山昭彦^{1,2}, 大矢 寧³, 宮原弘明⁴, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 西野一三²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部², 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科³, 大分大学小児科⁴

O-065 単線維筋電図を実施した小児 4 例の報告

○川村健太郎¹, 山本晃代¹, 土田晃輔¹, 福村 忍¹, 今井富裕², 堤 裕幸¹
 札幌医科大学医学部小児科¹, 札幌医科大学保健医療学部²

O-066 ロボットスーツチームリハビリテーションの試み

○齊藤利雄¹, 松井未紗², 高田裕斗³, 岩田裕美子³, 中川正之³, 松村 剛², 井上貴美子³
 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科², 国立病院機構刀根山病院リハビリテーション科³

12:30~13:20 ランチョンセミナー 7: 共催 シャイアー・ジャパン株式会社……………(S259)
小児神経疾患に潜在するゴーシェ病

座長 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

1) 急性神経型ゴーシェ病の治療について

講演 田中 学 (埼玉県立小児医療センター総合診療科)

2) ゴーシェ病の早期診断のために —鑑別診断に加えるポイントは—

講演 瀬戸俊之 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)

13:30~14:40 一般演題 (口演)……………(S317)
筋肉 2

座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)

石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

O-067 福山型先天性筋ジストロフィーの患者・家族に対する診断と告知に関するアンケート調査

○七字美延¹, 石垣景子¹, 佐藤孝俊¹, 松田瑞沙², 永田 智¹
 東京女子医科大学病院小児科¹, 東京女子医科大学²

O-068 福山型先天性筋ジストロフィーの呼吸障害と嚥下障害への対応

○牧野道子, 松井秀司, 和田恵子, 舟橋満寿子, 椎木俊秀
 東京小児療育病院小児科

O-069 福山型先天性筋ジストロフィーに対する改訂粗大運動能力尺度の検討

○佐藤孝俊¹, 安達みちる², 廣瀬 恵², 圖師将也², 後藤圭介², 増山素道², 松尾 彩², 石黒久美子¹, 七字美延¹, 村上てるみ¹, 和田 太³, 猪飼哲夫³, 近藤和泉⁴, 石垣景子¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学リハビリテーション部², 東京女子医科大学医学部リハビリテーション科³, 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター⁴

O-070 Duchenne 型筋ジストロフィー患者を対象とした TAS-205 第 I 相単回・反復投与試験

○竹下絵里¹, 小牧宏文^{1,2}, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 三好和久³, 山宮育郎³, 山田延子³, 南 奈央子³
 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神神経医療研究センター病院臨床研究推進部², 大鵬薬品工業株式会社³

O-071 尿中タイチンは Duchenne 型筋ジストロフィー診断のバイオマーカーである

○栗野宏之¹, 松本真明¹, 永井正志¹, 白川 卓², 丸山順裕³, 鍋島陽一⁴, 松尾雅文², 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部², 株式会社免疫生物研究所³, 先端医療振興財団先端医療センター⁴

O-072 当科での Duchenne/Becker 型を除く筋ジストロフィーにおける心病変の検討

○山澤弘州, 武田充人, 泉 岳, 佐々木 理, 阿部二郎, 藤本隆憲
 北海道大学大学院医学研究院小児科

O-073 ジストロフィンアイソフォーム Dp116 領域の変異を有する Duchenne 型筋ジストロフィーは心機能障害発症が遅い

○山本哲志¹, 栗野宏之², 松本真明², 永井正志², 今西孝充¹, 中町祐司¹, 松尾雅文³, 飯島一誠², 三枝 淳¹
 神戸大学医学部附属病院検査部¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 神戸学院大学総合リハビリテーション学部³

14:40~15:30 一般演題 (口演)..... (S319)
脳性麻痺 2

座長 三浦清邦 (豊田市子ども発達センター)
井手秀平 (東京都立北療育医療センター城南分園)

- O-074 学童期の脳性麻痺に対しロボットスーツ HAL による歩行トレーニングを併用した集中リハビリテーションの効果
○松田真由美¹, 岩崎信明², 富田和秀³, 中山智博², 中山純子², 四津有人⁴, 大黒春夏², 渡慶次香代², 吉川憲一¹, 高橋一史¹, 榎本景子¹, 佐野久美子¹, 久保田 蒼¹, 水上昌文³
茨城県立医療大学付属病院リハビリテーション部理学療法科¹, 茨城県立医療大学付属病院小児科², 茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科³, 茨城県立医療大学医科学センター⁴
- O-075 著明な基底核萎縮を主体とする超早期産児の新たな脳性麻痺の一群
○平井聡里, 北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 荒井 洋
森之宮病院小児科
- O-076 障がい児に対する, 健康関連 QOL の評価法「CPCHILD」の日本導入に向けて
○松本葉子, 八木麻理子, 西村美緒, 河崎洋子
にこにこハウス医療福祉センター小児科
- O-077 重度肢体不自由児者への嚥下造影のまとめと考察 —完全側臥位・仰臥位の有用性について—
○森田昌男
千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
- O-078 アテトーゼ型脳性麻痺における病態別コミュニケーション, 嚥下機能に関する検討
○北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科

15:30~16:30 一般演題 (口演)..... (S321)
発達障害 3 療育・支援

座長 中村みほ (岡崎市こども発達医療センター)
川谷正男 (福井大学医学部附属病院小児科)

- O-079 知的障害のない発達障害児の長期予後
○安田寛二
どんぐり診療所
- O-080 子どもの障害と家族の社会経済的問題との関係: 北海道子どもの生活実態調査から
○関 あゆみ¹, 上山浩次郎¹, 大谷和大¹, 鳥山まどか¹, 川田 学², 加藤弘道¹, 大澤真平³, 松本伊智朗¹
北海道大学大学院教育学研究院¹, 北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター², 札幌学院大学人文学部³
- O-081 小児神経専門クリニックにおける遠隔診療の実際
○星野恭子¹, 長尾ゆり¹, 木村一恵¹, 林 雅晴¹, 八森 啓¹, 土江宏明²
医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック¹, 株式会社メドレー²
- O-082 自閉スペクトラム症のある子どもの作業遂行能力に関する研究
○宍戸聖弥, 木原健二, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域
- O-083 発達障がいの診断を受けた児の三歳児健診質問票の検討
○峯川章子¹, 辻 ひとみ²
大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター診療所小児科¹, 大阪市保健所²
- O-084 特別支援学校における虐待防止対策の調査
○堀口寿広
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部

16:30~17:10 一般演題 (口演)..... (S323)
精神障害・睡眠障害

座長 福水道郎 (瀬川記念小児神経学クリニック)
永光信一郎 (久留米大学医学部小児科)

- O-085 小児摂食障害の入院治療戦略
○大谷良子¹, 荒川明里^{1,2}, 井上 建^{1,2}, 越野由紀¹, 板橋 尚², 島村圭一^{1,2}, 村上信行², 作田亮一¹
獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター¹, 獨協医科大学埼玉医療センター小児科²

- O-086 新生児、乳幼児の睡眠障害は発達障害の有効な予測因子**
 ○三池輝久¹, 小西行郎¹, 豊浦麻記子¹, 中井昭夫¹, 田島世貴^{1,2}
 兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター小児科¹, 国立障害者リハビリテーションセンター病院²
- O-087 発達障害に併存する睡眠障害と VPA 治療効果**
 ○白久博史^{1,2}, 中川栄二¹, 加賀佳美², 北 洋輔², 稲垣真澄²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²
- O-088 自閉症のフラッシュバックとその関与が疑われる著しい情緒行動の問題への神田橋処方(四物湯合桂枝加芍薬湯)の有用性について**
 ○石崎朝世, 洲鎌倫子, 竹内紀子
 公益社団法人発達協会王子クリニック

第 1 日目 ポスター会場

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S359)
 先天異常 1

- 座長 岩崎信明 (茨城県立医療大学保健医療学部医科学センター)
- P-001 結節性硬化症データを用いた小児慢性特定疾病対策登録データの有用性の検討**
 ○岡崎哲也^{1,2}, 栗屋智就², 林 雅晴³, 小牧宏文⁴, 盛一享徳⁵, 掛江直子⁵
 鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 京都大学大学院医学研究科形態形成機構学², 淑徳大学看護栄養学部看護学科³, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁴, 国立成育医療研究センター臨床疫学小児慢性特定疾病情報室⁵
- P-002 小児期神経線維腫 1 型の Web 登録システムの開発**
 ○宇田恵子¹, 松尾宗明², 吉田雄一³, 錦織千佳子⁴
 佐賀県医療センター好生館小児科¹, 佐賀大学医学部附属病院小児科², 鳥取大学医学部附属病院皮膚科³, 神戸大学医学部附属病院皮膚科⁴
- P-003 Sturge-Weber 症候群との鑑別を要した乳児血管腫の一例**
 ○大庭千尋, 藤井克則, 長岡孝太, 小林弘信, 齋藤直樹, 内田智子, 塩浜 直, 下条直樹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-004 A 群色素性乾皮症 2 例における消化器合併症**
 ○宮田理英¹, 山口明日香¹, 有坂敦子¹, 荒木 聡², 林 雅晴³
 東京北医療センター小児科¹, 練馬光が丘病院小児科², 淑徳大学看護栄養学部看護学科³
- P-005 PIK3CA 遺伝子変異の片側巨脳症におけるマルチモダリティ MRI 解析**
 ○中澤美賀^{1,2}, 池野 充¹, 安部信平¹, 嶋 泰樹¹, 新島新一³, 清水俊明¹, 中島 円⁴, 菅野秀宣⁴
 順天堂大学医学部小児科¹, 賛育会病院小児科², 順天堂大学練馬病院小児科³, 順天堂大学脳神経外科⁴
- P-006 巨脳症 10 例の臨床的特徴**
 ○加藤辰輔¹, 福村 忍², 山本晃代², 川村健太郎², 堤 裕幸², 石川亜貴³, 渡邊年秀⁴, 續 晶子⁵, 宮下俊之⁶, 堀 いくみ⁷, 齋藤伸治⁷
 留萌市立病院小児科¹, 札幌医科大学小児科², 札幌医科大学遺伝医学³, 北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経内科⁴, 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション科小児科⁵, 北里大学分子遺伝学⁶, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野⁷

17:40~18:15 一般演題 (ポスター)..... (S361)
 先天異常 2 結節性硬化症

- 座長 佐藤敦志 (東京大学医学部附属病院小児科)
- P-007 当院における結節性硬化症 9 例の臨床的検討**
 ○榎木 仁, 池田ちづる, 橘 秀和, 福間真実, 岡田拓巳, 島津智之, 上野弘恵, 今村穂積
 国立病院機構熊本再春荘病院
- P-008 胎児期一新生児期早期に診断された結節性硬化症の特徴一**
 ○武井 剛, 早川 格, 上田菜穂子, 占部良介, 神岡哲治, 鈴木 智, 寺嶋 宙, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科
- P-009 東京医科大学病院における結節性硬化症チーム医療**
 ○石田 悠¹, 山中 岳¹, 竹下美佳¹, 森下那月美¹, 森 朋子¹, 森地振一郎¹, 呉 宗憲¹, 森島靖行^{1,2}, 小穴信吾¹, 沼部博直^{1,2}, 河島尚志¹
 東京医科大学小児科¹, 東京医科大学病院遺伝子診療センター²

- P-010 結節性硬化症モデルマウスの自閉症様行動に関わる遺伝子発現変化の解析**
 ○柏井洋文^{1,2,3}, 佐藤敦志^{2,4}, 笠井慎也², 萩野洋子², 古田島浩子², 田中美歩², 小林敏之⁵, 樋野興夫⁵, 池田和隆², 岡 明^{1,4}, 水口 雅³
 東京大学大学院医学系研究科小児科¹, 東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト², 東京大学大学院医学系研究科発達医科学³, 東京大学医学部附属病院小児科⁴, 順天堂大学大学院医学系研究科分子病理病態学⁵
- P-011 結節性硬化症の 1 例に合併した片側肥大-体細胞変異による TSC1 遺伝子ホモ欠失とシリリムスの治療効果**
 ○下田木の実¹, 岩崎博之², 森 貴幸¹, 柿本 優¹, 竹中 暁¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅³
 東京大学医学部小児科¹, 十条こどもクリニック², 東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医科学講座³
- P-012 結節性硬化症におけるフォローアップと診療連携**
 ○西川愛子, 伊藤 進, 大谷ゆい, 小國弘量, 永田 智
 東京女子医科大学病院小児科
- P-013 結節性硬化症の経過中に膠芽腫を発生し緊急摘出術を要した 1 例**
 ○三浦博充¹, 元木崇裕¹, 日野香織¹, 城賀本敏宏¹, 牧野 景², 福田光成², 石井榮一¹
 愛媛大学医学部小児科¹, 愛媛県立新居浜病院²

18:15~18:50 一般演題 (ポスター)..... (S363)
 先天異常 3

座長 前澤真理子 (鶴見大学短期大学部歯科衛生科)

- P-014 PHACE 症候群の 1 例**
 ○大野敦子¹, 牧 祐輝¹, 田中雅大¹, 岡井 佑¹, 坂口陽子¹, 山本啓之¹, 中田智彦¹, 村松友佳子¹, 城所博之¹, 夏目 淳^{1,2}
 名古屋大学医学部小児科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座²
- P-015 CHRNG 変異を有する Escobar 症候群の 3 例**
 ○中田智彦¹, 水野誠司², 牧 祐輝¹, 田中雅大¹, 岡井 佑¹, 坂口陽子¹, 山本啓之¹, 大野敦子¹, 城所博之¹, 井本逸勢³, 大野欽司⁴, 夏目 淳^{1,5}
 名古屋大学医学部小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科², 徳島大学大学院医歯薬学学術部人類遺伝学分野³, 名古屋大学大学院医学系研究科神経遺伝情報学⁴, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学⁵
- P-016 Gorlin 症候群における扁桃体と中脳の検討**
 ○内川英紀^{1,2}, 藤井克則¹, 塩浜 直¹, 下条直樹¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 東千葉メディカルセンター小児科²
- P-017 メビウス症候群に Kallman 症候群を合併した女児の一例**
 ○松村 渉, 斎藤義朗, 前垣義弘
 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科
- P-018 血清 IFN- α が持続高値を示した Aicardi-Goutieres 症候群の 1 例**
 ○久保田一生¹, 大西秀典¹, 鶴崎美徳², 折居建治³, 山本俊至⁴, 松本直通², 深尾敏幸¹
 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学², 長森こどもクリニック³, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター⁴
- P-019 在宅 high-flow nasal cannula (HFNC) の導入により呼吸器感染症による入院を回避できるようになった CHARGE 症候群の 1 例**
 ○佐藤 彩¹, 濱田 哲², 安部大輔¹, 神田健志¹, 西島節子¹, 石上 毅¹
 彦根市立病院小児科¹, 彦根市立病院呼吸器科²
- P-020 先天性顔面神経麻痺として発症した頭蓋骨幹端異形成症の一例**
 ○中村涼子, 山下文也, 前田謙一, チョンピンフィー, 吉良龍太郎
 福岡市立こども病院小児神経科

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S365)
 脳性麻痺・療育 1

座長 宮本晶恵 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)

- P-021 成人重度脳性麻痺者における脛骨長を用いた身長推定方法についての検討**
 ○木原健二^{1,2}, 八木麻理子³, 河崎洋子³, 松本葉子³, 西村美緒³, 高田 哲²
 にこにこハウス医療福祉センターリハビリテーション科¹, 神戸大学大学院保健学研究科², にこにこハウス医療福祉センター小児科³

- P-022 重症心身障害児者の加齢に伴う摂食嚥下機能の退行についての検討
 ○田沼直之¹, 渥美 聡¹, 富永恵子²
 東京都立府中療育センター小児科¹, 東京都立府中療育センター内科²
- P-023 清肺湯は重症心身障害児者の呼吸状態を改善させる
 ○道和百合, 渡辺美緒, 迫 恭子, 椎原 隆
 群馬県立小児医療センター神経内科
- P-024 難治性下気道感染症に対してトブラマイシン吸入療法が有効であった重症心身障がい児の 2 例
 ○平山良道
 那覇市立病院小児科
- P-025 ITB 療法前後でアクチグラフを用いた睡眠覚醒状態の記録を通して筋緊張の評価を行ったアトトーゼ型脳性麻痺の一例
 ○上田菜穂子, 占部良介, 神岡哲治, 柿本 優, 武井 剛, 寺嶋 宙, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科
- P-026 気管狭窄と筋緊張異常による呼吸困難にボツリヌス毒素治療と NPPV で長期管理した重症心身障害者の 2 例
 ○江添隆範, 西條晴美, 荒木克仁, 曾根 翠
 東京都立東大和療育センター

17:40~18:15 一般演題 (ポスター)..... (S367)

- 脳性麻痺・療育 2
 座長 高野知行 (びわこ学園医療福祉センター野洲小児科)
- P-027 呼吸ケアチーム (RCT) の役割
 ○水澤志方¹, 中野絵里子², 田中彩子², 大木正道³, 小山久仁子⁴, 益山龍雄¹, 岩崎裕治¹, 加我牧子¹
 東京都立東部療育センター小児神経科¹, 同療育部², 同臨床工学士士³, 同リハビリテーション科⁴
- P-028 脳性麻痺におけるてんかんの長期予後の後方視的検討
 ○坪内祥子^{1,2}, 田邊文子³, 斎藤義朗², 前垣義弘²
 独立行政法人国立病院機構米子医療センター¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科², 鳥取県立総合療育センター小児科³
- P-029 Constraint-induced movement therapy を実施した 1~3 歳片麻痺の 4 症例
 ○水流尚志¹, 水流尚志¹, 佐野のぞみ², 鮫島希代子², 米衛ちひろ²
 鹿児島県立北薩病院小児科¹, 国立病院機構南九州病院小児科²
- P-030 家族支援の観点からみた親子入園の有用性
 ○塩田 恵, 山口直人, 大日向純子
 心身障害児総合医療療育センター小児科
- P-031 新規開設した重症心身障害児者施設での感染対策について
 ○新井ひでえ¹, 甲斐純夫², 根津敦夫¹, 喜多麻衣子¹, 栗嶋勇也¹, 黒澤真紀子¹, 武 浩志¹,
 増田由香¹, 三浦直子¹, 湯口慈雨¹, 河野彩華¹, 小河原 昇¹
 横浜医療福祉センター港南¹, 横浜療育医療センター²
- P-032 重症心身障害児者の地域での受け入れ促進を目的とした小児在宅医療講習会の開催 —訪問看護師向けの在宅人工呼吸器講習会—
 ○山本重則¹, 川口由紀子², 土屋 仁³
 独立行政法人国立病院機構下志津病院小児科¹, 独立行政法人国立病院機構下志津病院地域医療連携室², 独立行政法人国立病院機構下志津病院医療機器管理室³
- P-033 演題取り下げ

18:15~18:50 一般演題 (ポスター)..... (S370)

- 重症心身障害 在宅・レスパイト
 座長 富田 直 (東京都立小児総合医療センター神経内科・子ども家族支援部門)
- P-034 子どもの在宅診療
 ○前澤真理子¹, 福岡佳代¹, 末岡瑠美子¹, 土屋輝昌²
 鶴見大学短期大学部歯科衛生科¹, 麻布光輝クリニック²
- P-035 医療機関に対する重症心身障害児者の緊急入院受け入れ意向調査のまとめ
 ○河崎洋子, 松本葉子, 西村美緒, 八木麻理子
 にこにこハウス医療福祉センター

P-036 秋田県における在宅医療に関する現状把握のためのアンケート調査

○矢野珠巨¹, 豊野美幸², 高橋 勉¹
秋田大学医学部小児科¹, 秋田県立医療療育センター²

P-037 当院における在宅支援病棟の取り組み

○藤田杏子¹, 張 慶哲¹, 倉橋幸也¹, 津田雅世¹, 上村克徳¹, 丸山あずさ², 田中亮二郎¹,
宅見晃子¹, 上谷良行¹
兵庫県立こども病院救急総合診療科¹, 兵庫県立こども病院神経内科²

P-038 新しい形の小児短期入所施設「もみじの家」—短期入所利用者家族の施設に対するニーズの検討—

○鈴木 智¹, 上田菜穂子¹, 占部良介¹, 早川 格¹, 神岡哲治¹, 武井 剛¹, 寺嶋 宙¹, 余谷暢之²,
久保田雅也¹
国立成育医療研究センター病院神経内科¹, 国立成育医療研究センター病院緩和ケア科²

P-039 当院外来通院中の医療的ケア児の現状

○木原美奈子, 小杉陽祐
苫小牧市立病院小児科

P-040 長期生存している福山型先天性筋ジストロフィー 3 例の在宅支援

○豊野美幸, 坂本知子, 沢石由記夫
秋田県立医療療育センター小児科

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S372)

発達障害 1 自閉スペクトラム症

座長 広瀬宏之 (横浜市療育相談センター)

P-041 セロトニントランスポーター欠損マウスの自閉症様行動はトリプトファン欠乏食によって改善する

○佐藤敦志^{1,2}, 田中美歩^{2,3,4}, 笠井慎也², 萩野洋子², 古田島浩子², 柏井洋文^{2,5}, 西藤泰昌⁶,
稲垣真澄⁴, 曾良一郎⁷, 水口 雅⁸, 池田和隆^{2,3}
東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト², 新潟大学医学
学総合研究科³, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部⁴, 東京大学大学
院医学系研究科小児科学⁵, 東京都医学総合研究所基盤技術研究センター⁶, 神戸大学大学院医学研
究科精神医学分野⁷, 東京大学大学院医学系研究科発達医学⁸

P-042 fMRI を用いた, ASD 者の聴覚情報判断とその感覚的処理に関する脳機能的検討

○涌澤圭介^{1,2,3}, 奈良隆寛³, 奈良千恵子⁴, 久保田由紀⁴, 呉 繁夫⁴, 横山浩之⁵
浜松医科大学こどもの心の発達研究センター¹, 東北大学加齢医学研究所応用脳科学研究分野², 宮
城県立こども病院発達診療科³, 東北大学病院小児病態学講座⁴, 福島県立医科大学ふくしま子ど
も・女性医療支援センター⁵

P-043 早期療育介入した自閉スペクトラム症児における社会性発達の検討

○森山 薫^{1,2}, 藤井明子¹, 松尾光弘¹, 宮崎睦子¹, 長岡珠緒¹, 本山和徳¹, 森内浩幸²
長崎県立こども医療福祉センター小児科¹, 長崎大学病院小児科²

P-044 自閉スペクトラム児の偏食の特徴とその対応法

○花岡 繁
松戸市こども発達センター

P-045 自閉症スペクトラム障害と偏食の検討

○佐々木彩恵子, 熊田知浩, 柴田 実, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 林 安里, 森 未央子, 井上賢治,
藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-046 長期不登校から離脱した自閉スペクトラム症の 2 例

○宮本 健
浜松医療センター小児科

17:40~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S374)

発達障害 2 評価

座長 中井昭夫 (武庫川女子大学教育研究所, 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科, 武庫
川女子大学教育研究所子ども発達科学研究センター)

P-047 偏食対応を行った自閉症児の日本版感覚プロファイルを用いた感覚に関する評価

○山根希代子¹, 藤井葉子¹, 土方 希², 落合彩有美³, 松岡 愛¹, 山崎真理¹, 小川裕子¹
広島市西部こども療育センター小児科¹, 広島市こども療育センター小児科², 藤沢市太陽の家しい
の実学園³

- P-048 発達障害圏の児童に対する要支援度評価尺度 MSPA の診療活用について**
 ○勝盛 宏, 小澤 亮, 鹿島京子, 上村義季
 河北総合病院小児科
- P-049 子どもの日常生活チェックリスト (QCD) でみる発達障害児の自己評価と親評価の差について 第 2 報**
 ○遠藤雄策, 朝比奈美輝, 鈴木輝彦, 平野浩一
 浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科
- P-050 5 歳時の発達障害に関連する 1 歳 6 ヶ月および 3 歳時の生活関連因子に関する長期縦断調査**
 ○溝呂木園子^{1,2}, 佐藤美理³, 秋山有佳², 横道洋司², 山縣然太郎^{2,3}, 金村英秋¹, 相原正男⁴
 山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座², 山梨大学大学院総合研究部出生コホート研究センター³, 山梨大学大学院総合研究部⁴
- P-051 性差を考慮した幼児版社会性・行動評価尺度の開発 (5) 一尺度の作成の経過一**
 ○郷間英世¹, 田中 駿², 牛山道雄², 池田友美³, 井上和久⁴, 小谷裕実², 清水里美⁵, 落合利佳⁶, 武藤葉子⁸, 加藤寿宏⁷, 大谷多加志⁹, 丸尾奈津美¹⁰, 大久保圭子¹
 姫路大学看護学部看護学研究科¹, 京都教育大学², 摂南大学³, 大和大学⁴, 平安女学院大学⁵, 大阪大谷大学⁶, 京都大学⁷, 奈良教育大学⁸, 京都国際社会福祉センター⁹, 京都保育園連盟¹⁰

18:05~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S376)
発達障害 3 支援・療育

- 座長 下野九理子 (大阪大学連合小児発達学研究科 (小児科))**
- P-052 福井県における保育カウンセラー配置事業の課題**
 ○熊野麻美, 富士根明雄, 津田明美
 福井県こども療育センター
- P-053 家族の養育能力の問題が顕在化した育児相談事例の検討**
 ○鈴木悠貴^{1,3}, 伊藤 康^{1,2,3}, 溝口枝里子¹, 河野 香¹, 石井のぞみ¹, 相原由香², 永田 智³
 総合母子保健センター愛育病院小児科¹, 総合母子保健センター愛育病院地域医療連携室², 東京女子医科大学小児科³
- P-054 療育機関でのエビデンスに基づくメンタルヘルスサポート事業 一自己認知支援と保護者支援の実践一**
 ○高木一江
 横浜市中部地域療育センター
- P-055 鳥取県子どもの心の診療ネットワーク整備事業における医療と学校連携モデル構築の試み**
 ○大羽沢子, 前垣義弘
 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科
- P-056 学校訪問を行っている小児神経科医に対して教師はいかなる活動を期待するか?**
 ○中野広輔
 愛媛大学教育学部特別支援教育講座
- P-057 日本人小学生に対する教師記載日本語版実行機能行動評価尺度の有効性の検討**
 ○永谷文代¹, 諏訪絵里子², 上西裕之³, 毛利育子^{1,2,4}, 谷池雅子^{1,2,4}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 関西大学心理臨床センター³, 大阪大学大学院医学系研究科小児科⁴

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S378)
遺伝・遺伝子異常 1

- 座長 川上康彦 (日本医科大学武蔵小杉病院小児科)**
- P-058 DYNC1H1 新規変異を認め、皮質形成異常, てんかん, 小頭症, 精神運動発達遅滞を呈する男児例**
 ○底田辰之¹, 森宗孝夫¹, 松井 潤¹, 西倉紀子¹, 加藤光広², 宮武聡子³, 松本直通³
 滋賀医科大学小児科¹, 昭和大学小児科², 横浜市立大学遺伝学³
- P-059 新規 TUBG1 遺伝子変異を認めた大脳皮質形成異常・小頭症の一例**
 ○河邊美香¹, 福田光成³, 濱田智子², 若本裕之¹, 石井榮一², 小篠史郎⁴, 加藤光広⁵
 愛媛県立子ども療育センター小児科¹, 愛媛大学医学部小児科², 愛媛県立新居浜病院小児科³, 熊本大学医学部附属病院小児科⁴, 昭和大学医学部小児科⁵
- P-060 CCND2 遺伝子変異による megalencephaly-polymicrogyria-polydactyly-hydrocephalus syndrome の一例**
 ○佐藤 亮¹, 宮林拓矢¹, 大久保幸宗¹, 乾 健彦¹, 富樫紀子¹, 宮武聡子², 松本直通², 萩野谷和裕¹
 宮城県立こども病院神経科¹, 横浜市立大学大学院医学系研究科遺伝学²
- P-061 脳形成異常と脳梗塞を伴ったムコリピドーシスの一例**
 ○森田孝次¹, 花岡健太郎¹, 小林 梢², 北條 彰², 加藤光広², 水野克己¹, 田角 勝², 宮武聡子³, 松本直通³
 昭和大学江東豊洲病院小児科¹, 昭和大学小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

P-062 大脳白質ジストロフィーと糖尿病を合併した MEHMO 症候群の一例

○森 未央子¹, 熊田知浩¹, 武内俊樹², 上原朋子², 鈴木寿人², 小崎健次郎², 松井克之³, 丸尾良浩³, 柴田 実¹, 野崎章仁¹, 日衛嶋郁子¹, 林 安里¹, 井上賢治¹, 佐々木彩恵子¹, 藤井達哉¹
滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター², 滋賀医科大学医学部附属病院小児科³

P-063 乳児早期の発症で急速に進行し, SNORD118 遺伝子変異を認めた Leukoencephalopathy with calcifications and cysts (LCC) の一例

○児玉一男¹, 小俣 卓¹, 渡辺 淑¹, 青山弘美¹, 高梨潤一², 岩間一浩³, 水口 剛³, 松本直通³
千葉県こども病院神経科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

**17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S380)
遺伝・遺伝子異常 2**

座長 田角 勝 (昭和大学医学部小児科)

P-064 PPP2R1A 遺伝子変異を認めた軽度知的障害・てんかんの一女児例

○渡辺好宏¹, 池田 梓¹, 蒲 ひかり¹, 武下草生子¹, 中島光子^{2,3}, 松本直通³
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 浜松医科大学医化学², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

P-065 先天性 GPI 欠損症と鑑別を要した症例を含む ZTTK 症候群の新規 3 例の検討

○谷河純平^{1,2}, 岡本伸彦³, 富永康仁^{1,2,4}, 北井征宏⁵, 青天目 信^{1,2}, 宮武聡子⁶, 三宅紀子⁶, 松本直通⁶, 木下タロウ⁷, 村上良子⁷, 大藪恵一^{1,2}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪母子医療センター遺伝診療科³, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所⁴, 森之宮病院小児神経科⁵, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁶, 大阪大学微生物病研究所難本難病解明寄付研究部門⁷

P-066 Okur Chung 神経発達症候群の 1 例

○原口康平^{1,2}, 西口奈菜子¹, 里 龍晴¹, 森内浩幸¹
長崎大学病院小児科¹, 佐世保市総合医療センター²

P-067 NACC1 遺伝子変異が原因と推定される知的障害の 1 例

○鈴木基正, 小島泰子, 跡部真人, 青木雄介, 糸見和也
あいち小児保健医療総合センター神経科

P-068 Rett 症候群様の症状と皮質盲を伴う HECW2 変異の 1 症例

○中村春彦¹, 植松 貢², 植松有里佳², 阿部 裕², 遠藤若葉², 菊池敦夫², 竹澤祐介², 萩野谷和裕³, 呉 繁夫²
東北大学医学部卒後研修センター¹, 東北大学医学部小児科², 宮城県立こども病院³

P-069 家族からの検査希望を契機に診断されたクリアチントランスポーター欠損症の 1 例

○野田あんず¹, 古山晶子¹, 阿部裕一², 新保裕子³, 相田典子⁴, 後藤知英⁵
さいたま市民医療センター小児科¹, 埼玉医科大学小児科², 神奈川県立こども医療センター臨床研究所³, 神奈川県立こども医療センター放射線科⁴, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁵

**18:10~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S382)
てんかん・けいれん 1 外科治療**

座長 本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)

P-070 てんかん性スパズムに対して脳梁離断術が著効した Lennox-Gastaut 症候群の 1 例

○江口勇太^{1,3}, 石川暢恒^{1,3}, 谷 博雄^{1,3}, 小林良行^{1,3}, 飯田幸治^{2,3}, 小林正夫¹
広島大学病院小児科¹, 広島大学病院脳神経外科², 広島大学病院てんかんセンター³

P-071 てんかん性脳症に対して, 迷走神経刺激を行った 3 例の臨床的検討

○森山剣光¹, 野村敏大¹, 水野朋子¹, 稲次基希², 前原健寿²
東京医科歯科大学小児科¹, 東京医科歯科大学脳神経外科²

P-072 脳梁離断により発作軽減に至った難治てんかんを伴う両側びまん性多小脳回症の 3 小児例

○馬場信平¹, 岡西 徹¹, 西村光代³, 金井創太郎¹, 板村真司¹, 増田洋亮², 榎 日出夫¹, 藤本礼尚²
聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター², 聖隷浜松病院臨床検査部³

P-073 脳梁断面積と脳梁離断手術予後の関連の検討

○板村真司¹, 岡西 徹¹, 金井創太郎¹, 馬場信平¹, 増田洋亮², 西村光代³, 藤本礼尚², 榎 日出夫¹
聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター², 聖隷浜松病院臨床検査部³

P-074 乳児期に大脳半球離断術を施行し, 良好な発達予後を得られた Sturge-Weber 症候群の 2 症例

○土田晃輔¹, 福村 忍¹, 山本晃代¹, 川村健太郎¹, 堤 裕幸¹, 菅野秀宣²
札幌医科大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部脳神経外科²

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S383)

てんかん・けいれん 2 治療 West 症候群

座長 吉永治美 (南岡山医療センター小児神経科)

- P-075 West 症候群を発症し, Vitamin B6 大量療法が奏効した Klinefelter 症候群の 6 ヶ月男児例
○大山宜孝¹, 中野晃太郎¹, 伊藤 萌¹, 秋山倫之², 武下草生子³, 波多野道弘¹, 岩本真理¹
済生会横浜市東部病院小児科¹, 岡山大学小児神経科², 横浜市立大学附属市民総合医療センター³
- P-076 West 症候群をきたし ACTH 療法を施行した水頭症女児例
○森宗孝夫, 松井 潤, 西倉紀子, 底田辰之, 丸尾良浩
滋賀医科大学医学部小児科
- P-077 演題取り下げ
- P-078 長期間の weekly ACTH 療法が有効な難治性てんかんを呈する歌舞伎症候群の一例
○占部良介, 寺嶋 宙, 上田葉穂子, 早川 格, 武井 剛, 鈴木 智, 神岡哲治, 久保田雅也
国立成育医療研究センター神経内科
- P-079 West 症候群に対して ACTH とピガバトリンを併用した 2 例
○福田智文, 下野昌幸, 五十嵐亮太, 松田夢子, 石井雅宏, 千手絢子, 楠原浩一
産業医科大学医学部小児科
- P-080 West 症候群治療中に腎結石が生じた乳児の 3 例
○上田有里子¹, 長尾美香¹, 佐藤敦志², 生井良幸¹
太田西ノ内病院小児科¹, 東京大学医学部小児科²

17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S385)

てんかん・けいれん 3 治療 ペランパネル

座長 岩崎俊之 (北里大学医学部小児科)

- P-081 12 歳以上の難治性てんかん患者に対するペランパネルの有効性の検討
○大谷ゆい, 西川愛子, 伊藤 進, 小國弘量, 永田 智
東京女子医科大学小児科
- P-082 当院における難治性てんかんに対するペランパネルの効果と副作用の検討
○西澤侑香¹, 底田辰之², 成宮正朗¹, 高野知行³, 丸尾良浩²
長浜赤十字病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科², びわこ学園医療福祉センター野洲³
- P-083 ペランパネル投与により発作の減少を認めた結節性硬化症の 1 例
○山本寿子, 新井奈津子, 山本 仁
聖マリアンナ医科大学小児科
- P-084 当院における難治性てんかんに対するペランパネルの臨床的検討
○今村 淳, 小林瑛美子, 所 訓子
岐阜県総合医療センター小児科
- P-085 ペランパネルが発作と異常行動に共に著効した Lennox-Gastaut 症候群の 1 例
○松田奈央子, 遠藤文香, 小林勝弘, 秋山倫之
岡山大学病院小児神経科

18:10~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S387)

てんかん・けいれん 4 治療 ペランパネルなど

座長 三山佐保子 (都立小児総合医療センター神経内科)

- P-086 少量のペランパネル投与により発作消失を認めた神経セロイドリポフスチン症の 1 例
○百崎 謙, 小篠史郎, 野村恵子
熊本大学小児科
- P-087 ペランパネルが著効した Dravet 症候群の一例
○四俣一幸
鹿児島市立病院小児科
- P-088 ゴーシェ病 3 型に起因する進行性ミオクローヌステんかんに対して少量ペランパネル投与が著効した女性例
○田原麻由, 日暮憲道, 井田博幸
東京慈恵会医科大学小児科
- P-089 Gliomatosis cerebri による薬剤抵抗性てんかんに対して perampanel が有効であった 1 例
○所谷知穂, 西内律雄, 吉川清志
高知医療センター小児科

- 17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S388)
てんかん・けいれん 5 診断・遺伝
 座長 伊藤 進 (東京女子医科大学小児科)
- P-090 視覚刺激で誘発される欠神てんかんの一例
 ○渡部功之, 栗林良多, 今高城治
 獨協医科大学医学部小児科
- P-091 SYNGAP1 遺伝子異常による欠神てんかんの 2 例
 ○小林 悠¹, 小松原孝夫¹, 放上萌美¹, 眞柄慎一¹, 遠山 潤¹, 加藤光広², 中島光子³, 松本直通⁴
 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 昭和大学医学部小児科², 浜松医科大学医化学講座³,
 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学教室⁴
- P-092 BAI2 を含む 1p35 領域の欠失を示す West 症候群の 1 例
 ○今泉太一^{1,2}, 岡本伸彦³, 山本-下島圭子¹, 恩藤由美子¹, 山本俊至¹
 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 聖マリアンナ医科大学小児科², 大阪母子医療セン
 ター遺伝診療科³
- P-093 早期に診断しえた STXBP1 遺伝子変異による新生児期発症てんかんの 1 例
 ○保科隆男¹, 瀬戸俊之¹, 藤田賢司¹, 匹田典克¹, 佐久間 悟¹, 山本俊至², 新宅治夫¹
 大阪市立大学大学院医学研究科小児科¹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター²
- P-094 高度脳波異常を示した MED13L 変異によるてんかん性脳症の 1 例
 ○柳下友映^{1,2}, 今泉太一^{1,3}, 山本-下島圭子¹, 北原 光⁴, 今井克美⁴, 山本俊至¹
 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 東京女子医科大学小児科², 聖マリアンナ医科大学小
 児科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴
- P-095 進行性ミオクロームステんかん (PME) 様の経過を呈し網羅的遺伝子検査で診断に至った 2 例
 ○一ノ瀬文男¹, 松尾宗明¹, IRUD-P コンソーシアム²
 佐賀大学医学部小児科¹, IRUD-P コンソーシアム²
- 17:40~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S390)
てんかん・けいれん 6 診断・遺伝
 座長 椎原 隆 (群馬県立小児医療センター神経内科)
- P-096 てんかん発作群発, 発達障害を呈し, SMC1A 遺伝子変異を認めた 1 例
 ○上野弘恵¹, 橘 秀和¹, 檜木 仁¹, 岡田拓巳¹, 福岡真実¹, 高津智之¹, 池田ちづる¹, 今村穂積¹,
 平田 恵², 水口 剛³, 松本直通³, 加藤光広⁴
 国立病院機構熊本再春荘病院小児科¹, 熊本県こども総合療育センター小児科², 横浜市立大学大学
 院医学研究科遺伝学³, 昭和大学医学部小児科⁴
- P-097 重度発達遅滞, 小頭症, 常同運動, てんかんを伴った 5q14.2-q15 重複の一男児例
 ○松下浩子¹, 岡野創造¹, 早川克己², 向田壮一³, 白石一浩³, 中島光子⁴, 松本直通⁴, 加藤光広⁵
 京都市立病院小児科¹, 京都市立病院放射線科², 国立病院機構宇多野病院³, 横浜市立大学大学院
 医学研究科遺伝学⁴, 昭和大学医学部小児科⁵
- P-098 頻回の無呼吸を認め, 長時間脳波記録にて意識障害を伴う焦点性発作の診断に至った 4p-症候群の一例
 ○金淵昭一郎, 横山美奈, 山本 薫, 代田惇朗, 梅原 直, 荻原正明, 草川 功
 聖路加国際病院小児科
- P-099 進行性の脳萎縮とてんかんを呈し, 新規の SEPSECS 遺伝子変異を認める女児例
 ○山本晃子¹, 太田秀臣¹, 岩崎裕治¹, 加我牧子¹, 加藤光広², 輿水江里子³, 宮武聡子³, 松本直通³
 東京都立東部療育センター小児科¹, 昭和大学医学部², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- P-100 PEX1 遺伝子異常症のてんかん治療の 1 例
 ○國貞佳世, 荻野元子, 森 篤志, 畑中マリ, 福井美保, 島川修一, 玉井 浩
 大阪医科大学附属病院小児科
- 18:05~18:25 一般演題 (ポスター)..... (S392)
てんかん・けいれん 7 診断・遺伝
 座長 館野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)
- P-101 KCNQ2 変異を認め新生児期に難治性の痙攣群発を繰り返した一例
 ○山崎早苗¹, 平野藍子¹, 沖永剛志¹, 加藤光広²
 ベルランド総合病院小児科¹, 昭和大学医学部小児科²
- P-102 乳児期まで発作が見られた良性新生児けいれんが疑われる 1 例
 ○平野翔堂, 渡辺陽和
 市立豊中病院小児科

P-103 一過性メチルマロン酸血症を呈した CDKL5 脳症の男児例

○赤峰 哲¹, 石崎義人¹, 酒井康成¹, 鳥巢浩幸², 深井綾子³, 三宅紀子³, 大久保和宏¹, 實藤雅文¹, 酒田あゆみ⁴, 木村正彦⁵, 山口清次⁵, 坂本 修⁶, 才津浩智⁷, 松本直通³, 大賀正一¹

九州大学大学院医学研究院成長発達医学¹, 福岡歯科大学医科歯科総合病院小児科², 横浜市立大学遺伝学³, 九州大学病院検査部臨床検査医学分野⁴, 鳥根大学医学部小児科⁵, 東北大学医学部小児科⁶, 浜松医科大学医化学⁷

P-104 てんかん重積状態を呈し、てんかんと鑑別を要した泣き入りひきつけの一例

○嶋崎友希¹, 大場温子², 松浦隆樹³, 浜野晋一郎³

東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科², 埼玉県立小児医療センター神経科³

17:10~17:35 一般演題 (ポスター)..... (S393)

代謝性疾患 1 ミトコンドリア病

座長 森 雅人 (松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科)

P-105 MT-TM 遺伝子 m.G4450A 変異による MELAS の一症例

○桑島真理¹, 小坂 仁¹, 後藤昌英¹, 池田尚広¹, 村山 圭², 新保裕子³, 山形崇倫¹

自治医科大学小児科¹, 千葉県こども病院², 神奈川県立こども医療センター臨床研究所³

P-106 頭部画像上、小脳萎縮が先行したミトコンドリア病の診断経過

○横山はるな¹, 齋藤貴志¹, 竹下絵里¹, 小牧宏文¹, 石山昭彦¹, 本橋裕子¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 西野一三², 後藤雄一³, 佐々木征行¹

国立精神・神経医療研究センター小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部², 国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンター・神経研究所疾病研究第二部³

P-107 m.14453G>A 変異を有する MELAS の臨床経過と脳 MRI 所見の特徴

○岩田 啓^{1,2,3,4}, 石山明彦¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 西野一三^{2,3}, 後藤雄一^{2,4}, 佐々木征行¹

国立精神神経医療研究センター小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センターメディカル・ゲノムセンター², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部⁴

P-108 MELAS 患者における疾患重症度と知能及び認知機能の関連性について

○向笠理緒, 八ツ賀秀一, 喜多村美幸, 古賀靖敏

久留米大学医学部小児科

P-109 視神経炎が続発した MELAS 疑いの 13 歳男児例

○神岡哲治, 上田菜穂子, 占部良介, 早川 格, 武井 剛, 鈴木 智, 寺嶋 宙, 久保田雅也

国立成育医療研究センター神経内科

17:35~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S395)

代謝性疾患 2 ミトコンドリア病, 先天代謝異常

座長 青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

P-110 新生児期に発症し SLC19A3 遺伝子異常を認めた Leigh 脳症の 1 例

○野寺真樹¹, 鈴木雄一¹, 浅野裕一朗¹, 前田 亮¹, 陶山和秀¹, 加藤朝子¹, 川崎幸彦¹, 細矢光亮¹, 村山 圭²

福島県立医科大学医学部小児科¹, 千葉県こども病院代謝科²

P-111 Leigh 症候群における聴性脳幹反応 (ABR) と神経学的予後についての検討

○成 健史¹, 熊木達郎¹, 山本亜矢子¹, 露崎 悠¹, 市川和志¹, 辻 恵¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 後藤知英¹, 大竹 明²

神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 埼玉医科大学小児科学教室²

P-112 HHH 症候群における高オルニチン血症と乳酸, 乳酸・ビルビン酸比に関する検討

○小野浩明¹, 玉田智子¹, 重松陽介²

県立広島病院小児科¹, 福井大学医学部小児科²

P-113 呼吸鎖 Complex IV の選択的活性低下を認めた橋小脳低形成 6 型の兄弟例

○木許恭宏¹, 谷口英里奈¹, 宇藤山麻衣子¹, 中原彰彦², 池田俊郎¹, 澤田浩武¹, 盛武 浩¹, 村山 圭³, 大竹 明⁴

宮崎大学医学部小児科¹, 国立病院機構宮崎病院小児科², 千葉県こども病院代謝科³, 埼玉医科大学医学部小児科⁴

P-114 MOCS1 変異を認めたモリブデン補酵素欠損症の 1 例

○阿部 裕, 相原 悠, 遠藤若葉, 植松 貢, 呉 繁夫

東北大学病院小児科

- P-115 フェニル酪酸ナトリウムが臨床的に有効であった先天性アルギナーゼ欠損症の一女性例**
 ○松藤まゆみ¹, 竹下英子¹, 渡邊順子², 福井香織², 岩田洋美¹, 浜本邦洋¹, 花井敏男¹, 高嶋幸男¹
 柳川療育センター小児科¹, 久留米大学医学部小児科²

18:05~18:40 一般演題 (ポスター)..... (S397)

代謝性疾患 3 ライソゾーム病など

座長 小須賀基通 (国立成育医療研究センター遺伝診療科)

- P-116 定期的酵素補充療法を導入した乳児型 Pompe 病の長期的予後**
 ○眞下秀明¹, 宮田世羽¹, 白井育子¹, 熊田聡子¹, 西田裕哉¹, 内野俊平^{1,2}, 下田木の実^{1,2},
 八谷靖夫^{1,3}, 栗原栄二¹
 東京都立神経病院神経小児科¹, 東京大学医学部附属病院小児科², 国立病院機構東長野病院小児科³
- P-117 尿中マルベリー細胞を認めた腎機能正常なファブリー病患者男児例**
 ○チョンピンフィ^{1,2}, 山下文也¹, 前田謙一¹, 中村涼子¹, 中村公俊³, 吉良龍太郎¹
 福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡市立こども病院総合診療科², 熊本大学医学部小児科³
- P-118 難治性片頭痛を合併した女性ファブリー病の 1 例**
 ○木原祐希¹, 伊藤 康², 衛藤 薫³, 中務秀嗣¹, 元榮薫子¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学病院小児科¹, 愛育病院小児科², 済生会栗橋病院小児科³
- P-119 GM1 ガングリオシドーシス 2 型の 1 例: 初期診断に有用な臨床所見は何か?**
 ○沢石由記夫¹, 豊野美幸¹, 難波栄二², 松本直通³
 秋田県立医療療育センター小児科¹, 鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子検索², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- P-120 一般病院で診断にいたった GM2 ガングリオシドーシスの 2 例**
 ○新井麻子, 岩波那音, 吾妻大輔, 松永 保
 戸田中央総合病院小児科
- P-121 生後 4 か月に頭蓋内出血をきたし, 全エクソーム解析より Congenital disorder of glycosylation type II と診断した女児例**
 ○富永康仁^{1,2}, 林 良子¹, 廣恒実加¹, 谷河純平¹, 岩谷祥子^{1,2}, 下野九理子^{1,2}, 青天目 信¹,
 香川尚己³, 別所一彦¹, 要 匡⁴, 大藪恵一¹
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科³, 国立成育医療センター研究所ゲノム医療研究部⁴
- P-122 Expert opinion on the management of Intracerebroventricular (ICV) drug delivery**
 ○Christoph Schwering¹, Irene Slavic², Jessica L Cohen-Pfeffer³, Sridharan Gururangan⁴, Elaina Jurecki³,
 Jeanne Krauser⁴, Tom Lester³, Daniel Lim⁵, Marcos Maldaun⁶, Adam J Shaywitz³, Manfred Westphal¹
 University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Hamburg, Germany¹, Medical University of Vienna, Vienna, Austria², BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, USA³, Duke University Medical Center, Durham, NC, USA⁴, University of California, San Francisco, CA, USA⁵, IEP-Hospital Sirio-Libanês, Sao Paulo, Brazil⁶

17:10~17:45 一般演題 (ポスター)..... (S399)

脳炎・脳症 1 自己免疫性脳炎など

座長 稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

- P-123 小児辺縁系脳炎患児における発症早期の長時間脳波記録**
 ○糸見和也¹, 鈴木基正¹, 小島泰子¹, 跡部真人¹, 青木雄介¹, 高橋幸利², 佐久間 啓³
 あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 静岡てんかん神経医療センター², 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野³
- P-124 シクロホスファミドパルスが有効だった抗 NMDA 受容体脳炎の 14 歳女児**
 ○八戸由佳子¹, 河野 剛¹, 今城 透¹, 秋田幸大¹, 松石豊次郎², 高橋幸利³
 聖マリア病院小児科¹, 聖マリア病院小児総合研究センター・レット症候群研究センター², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科³
- P-125 同一のプロトコールによりシクロホスファミドを投与した抗 NMDA 受容体脳炎の 3 例**
 ○青山弘美¹, 渡辺 淑¹, 児玉一男¹, 高橋幸利², 佐久間 啓³, 小俣 卓¹
 千葉県こども病院神経科¹, 国立静岡てんかん・神経医療センター小児科², 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野³
- P-126 異常運動と精神症状を呈し, 治療に難渋した抗 NMDA 型 GluR 抗体陽性脳炎の一男児例**
 ○濱田詩織¹, 植竹公明¹, 二階堂弘輝², 渡邊年秀², 白石秀明³, 高橋幸利⁴

帯広厚生病院小児科¹, 北海道立子ども総合医療・療育センター², 北海道大学医学部小児科³, 独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴

P-127 Extreme spindle 様の脳波所見を認めた抗 NMDAR 脳炎の一男児例

○井手見名子, 加藤竹雄, 徳永沙知, 松本貴子, 毎原敏郎
兵庫県立尼崎総合医療センター小児科

P-128 IRAK4 遺伝子異常が認められた抗 NMDAR 脳炎の乳児例

○小林良行, 石川暢恒, 岡田 賢, 谷 博雄, 江口勇太, 小林正夫
広島大学病院小児科

P-129 脳腫瘍との鑑別を要した急性出血性白質脳炎の 1 例

○山本直寛¹, 川脇 壽¹, 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 久保田 淳², 浜野晋一郎²
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

17:45~18:15 一般演題 (ポスター)..... (S402)

感染・免疫 1 免疫

座長 福與なおみ (東北大学病院小児科, 東北大学病院遺伝子診療部)

P-130 抗 MOG 抗体陽性急性散在性脳脊髄炎を発症した Rett 症候群の 1 例

○谷 博雄^{1,2}, 石川暢恒^{1,2}, 小林良行^{1,2}, 江口勇太¹, 高橋利幸³, 金子仁彦³, 小林正夫¹
広島大学病院小児科¹, 広島大学病院てんかんセンター², 東北大学大学院医学研究科神経内科³

P-131 抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体陽性 neuromyelitis optica spectrum disorder における頭部画像所見

○池田 梓¹, 蒲 ひかり¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 金子仁彦², 高橋利幸^{2,3}
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 東北大学神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³

P-132 ムンプスウイルス感染症が先行し視神経炎で発症した抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体陽性関連脱髄疾患の 1 例

○水沼真也, 津田祐子, 田村 彰, 南 弘一
和歌山県立医科大学小児科

P-133 髄液中抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であったリウマチ性舞蹈病の一例

○松岡剛司¹, 比屋根真彦¹, 大府正治¹, 高橋幸利²
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 国立静岡てんかん・神経医療センター²

P-134 メントレキセートとシクロホスファミドパルスの併用が奏功した CLIPPERS の一例

○遠藤若葉, 阿部 裕, 植松有里佳, 植松 貢, 呉 繁夫
東北大学医学部小児科

P-135 少量アザチオプリンがステロイド減量に有効であった全身型重症筋無力症の 1 例

○武下草生子, 渡辺好宏, 藤原 祐, 蒲 ひかり, 伊藤 萌
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

18:15~18:45 一般演題 (ポスター)..... (S404)

感染・免疫 2

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

P-136 サイトメガロウイルス感染に関連した急性散在性脳脊髄炎に末梢神経障害を合併した小児の 1 例

○竹内智哉, 北井文恵, 大萱俊介
名古屋第一赤十字病院小児科

P-137 先天性サイトメガロウイルス感染症に伴う発達遅滞の前向き検討

○竹中 暁¹, 葛西真梨子¹, 佐藤敦志¹, 柿本 優¹, 森 貴幸¹, 下田木の実¹, 水野葉子², 水口 雅³, 岡 明¹
東京大学医学部附属病院小児科¹, 東都文京病院小児科², 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻発達医学³

P-138 サイトメガロウイルス脳室脳炎後にてんかンを発症した一例

○那須野 将¹, 本林光雄², 大澤由寛¹, 森川愛美³, 夏目岳典¹, 柳沢俊光¹, 稲葉雄二⁴
信州大学医学部小児科¹, 信州大学医学部新生児学・療育学講座², 長野赤十字病院³, 長野県立こども病院神経小児科⁴

P-139 エンテロウイルス D68 に関連する急性弛緩性脊髄炎の臨床的特徴

○野田麻里絵¹, チョンピンフィー², 安元佐和³, 奥村彰久⁴, 森 壘⁵, 吉良龍太郎², 多屋馨子⁶, 鳥巢浩幸¹
福岡歯科大学総合医学講座小児科¹, 福岡市立こども病院小児神経科², 福岡大学医学部医学教育推

進講座³, 愛知医科大学医学部小児科⁴, 東京大学大学院医学系研究科放射線医学講座⁵, 国立感染症研究所感染症疫学センター⁶

- P-140** リバビリン・インターフェロン α 髄注療法を施行して長期生存を得られている亜急性硬化性全脳炎の 1 例
○安部信平¹, 池野 充¹, 清水俊明¹, 奥村彰久²
順天堂大学医学部小児科¹, 愛知医科大学医学部小児科²
- P-141** 感染性硬膜下血種の 7 か月男児例
○緒方仁志, 塩浜 直, 江畑亮太, 内田智子, 小林弘信, 齋藤直樹, 藤井克則, 下条直樹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S406)
不随意運動

座長 鈴木保宏 (大阪母子医療センター小児神経科)

- P-142** レベチラセタムはチックに有効である!?
○小沢 浩¹, 常松健一郎²
島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, 日野市立病院小児科²
- P-143** 両下肢のジストニアで発症し, ビタミン B1 欠乏症と鑑別が必要であった Leigh 脳症の 2 歳男児例
○比屋根真彦¹, 松岡剛司¹, 大府正治¹, 後藤雄一²
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター
メディカルゲノムセンター²
- P-144** 抗リン脂質抗体による舞踏様運動を認めた 9 歳女児の 1 例
○柴 康弘¹, 森 雅人¹, 奥村恵子²
松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科¹, 名戸ヶ谷あびこ病院²
- P-145** 不規則ミオクローヌス様の不随意運動に perampanel が奏功した Angelman 症候群成人 4 例
○河野 修¹, 生田目紀子¹, 伊藤智城², 江川 潔¹, 朝比奈直子¹, 香坂 忍¹, 白石秀明¹
北海道大学医学部小児科¹, 市立札幌病院²
- P-146** サイロキシンが失発作に有効だった良性遺伝性舞踏病の一例
○塩浜 直¹, 大橋博文², 清水健司², 藤井克則¹, 大場大樹², 高谷具純¹, 加藤光広³, 下条直樹¹
千葉大学医学部小児科¹, 埼玉県立小児医療センター遺伝科², 昭和大学医学部小児科³
- P-147** レボ多巴内服が有用であった brain-lung-thyroid syndrome の 1 例
○富士根明雄¹, 熊野麻美¹, 津田明美¹, 津田英夫², 黒澤健司³
福井県こども療育センター小児科¹, 福井県立病院², 神奈川県立こども医療センター³

17:40~18:15 一般演題 (ポスター)..... (S408)
早産児・発達

座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

- P-148** 極低出生体重児に合併するてんかんの特徴
○鳥尾倫子¹, 落合正行², 園田有里³, 石崎義人¹, 實藤雅文³, 酒井康成¹, 大賀正一¹
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 九州大学病院総合周産期母子医療センター², 九州
大学環境発達医学研究センター³
- P-149** ハイリスク児フォローアップとして理学療法を受けた極・超低出生体重児の修正 1 歳半までの発達の特徴
○鎌塚香央里¹, 宮城島沙織¹, 小林正樹², 五十嵐りサ², 小塚直樹³
札幌医科大学附属病院リハビリテーション部¹, 札幌医科大学医学部産科周産期科², 札幌医科大学
保健医療学部理学療法学科³
- P-150** 低出生体重児・極低出生体重児の精密発達検査結果の後方視的検討
○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 五十嵐亮太¹, 松田夢子¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 高野志保¹, 塩田直樹²,
楠原浩一¹
産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²
- P-151** 極低出生体重の Light-for-date 児の発達予後の後方視的検討
○竹下暁子^{1,2}, 平澤恭子¹, 篁 倫子³, 今井 憲², 内山 温², 永田 智¹
東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学母子総合医療センター NICU 部門², お茶の水女子大
学生生活科学部人間生活学科発達臨床心理学講座³
- P-152** 低出生体重児・双胎児における発達障害の特徴
○中村由紀子, 河野千佳, 大澤麻記, 小沢愉理, 小沢 浩
島田療育センターはちおうじ神経小児科
- P-153** 幼児期以降の歩行における体幹安定性に関する研究
○山本暁生, 中山佳奈, 渡邊雄介, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科

P-154 当院で診断した Klinefelter 症候群の 4 例

○林 仁美¹, 井上貴仁¹, 井原由紀子¹, 藤田貴子¹, 吉村和子¹, 石井敦士¹, 井手口 博¹, 鶴澤礼実², 小川 厚², 安元佐和³, 廣瀬伸一¹
福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学筑紫病院小児科², 福岡大学医学部医学教育推進講座³

18:15~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S410)

精神障害・摂食障害

座長 藤田之彦 (日本大学医学部 IR・医学教育センター)

P-155 神経性やせ症治療における頭部 MRI 脳血流画像の変化

○巨田元礼¹, 川谷正男¹, 小坂拓也¹, 米谷 博², 大嶋勇成¹
福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院²

P-156 歩行障害のために神経疾患を疑ったが、心理的アプローチを要した 2 例

○守山汐理¹, 内田 創¹, 黒川真希子², 眞下秀明³, 鷲 和枝⁴, 宮田章子⁴, 山田茉未子¹, 和田未来⁴, 高村恭子¹, 平野静香¹, 下郷幸子¹, 米山浩志¹
国家公務員共済組合連合会立川病院小児科¹, 国家公務員共済組合連合会立川病院リハビリテーション科², 東京都立神経病院神経小児科³, さいわいこどもクリニック⁴

P-157 摂食障害に対する運動療法の効果についての考察

○神田恵津子
キッコーマン総合病院

P-158 「キレル子ども」の臨床背景

○川谷正男^{1,3,4}, 小坂拓也¹, 巨田元礼^{1,4}, 米谷 博², 大嶋勇成¹, 友田明美³, 平谷美智夫⁴
福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院小児科², 福井大学子どものこころの発達研究センター³, 平谷こども発達クリニック⁴

17:40~18:15 一般演題 (ポスター)..... (S411)

睡眠障害

座長 宮田理英 (東京北医療センター小児科)

P-159 発達障がい児の睡眠障害に対する ramelteon の使用経験：当センター外来における 7 年間の検討

○白幡恵美, 伊東愛子, 清和ちづる
山形県立こども医療療育センター小児科

P-160 幼児期における発達障害児の睡眠障害に対するラメルテオンの有効性の検討

○小坂拓也¹, 巨田元礼^{1,2}, 米谷 博^{1,3}, 川谷正男^{1,2}, 大嶋勇成¹, 平谷美智夫²
福井大学医学部小児科¹, 平谷こども発達クリニック², 芳珠記念病院³

P-161 一晩に 4 回の睡眠時驚愕症を呈した 9 歳児の終夜睡眠ポリグラフ所見

○加藤久美
特定医療法人愛仁会太田睡眠科学センター

P-162 日本人中学生を対象にした睡眠習慣と実行機能の関連の検討

○桃田茉莉¹, 吉崎亜里香², 永谷文代², 毛利育子^{1,2,4}, 西村倫子³, 谷池雅子^{1,2,4}
大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター², 浜松医科大学連合小児発達学研究所³, 大阪大学大学院医学系研究科小児科⁴

P-163 小児概日リズム睡眠障害に対する治療効果判定のためのバイオマーカーの探索

○豊浦麻記子¹, 豊田有子¹, 中井昭夫¹, 三池輝久¹, 小西行郎¹, 菊池 清¹, 田島世貴^{2,5}, 船曳康子^{1,3}, 海老瀬速雄⁴, 米山敏広⁴, 青木幹雄⁴, 鍋島陽一⁵
兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター¹, 国立障害者リハビリテーションセンター病院児童精神科², 京都大学大学院人間環境学研究所³, 大日本住友製薬株式会社ゲノム科学研究所オミックスグループ⁴, 財団法人先端医療振興財団先端医療振興センター⁵

P-164 睡眠時無呼吸症候群を合併し、手術治療を施行した Angelman 症候群の 2 例

○安孫子貴洋¹, 中村和幸¹, 横山淳一¹, 奥山志野¹, 三井哲夫¹, 千葉真人², 欠畑誠治²
山形大学医学部小児科¹, 山形大学医学部耳鼻咽喉科²

P-165 閉塞性睡眠時無呼吸を認め酷似した PSG パターンを示した PLA2G6-associated neurodegeneration (PLAN) の双生児例

○橋 雅弥^{1,2}, 青天目 信², 林 良子², 廣恒実加², 平田郁子^{1,2}, 泉 鉦吉³, 星野恭子^{3,4}, 毛利育子^{1,2}, 大藪恵一², 谷池雅子^{1,2}
大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学医学部小児科², 国立病院機構南和歌山医療センター小児科³, 瀬川記念小児神経学クリニック⁴

第 2 日目 第 1 会場

- 9:00~10:00 教育講演 3 (S126)
 小児てんかんに対する外科治療アップデート
 座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
 講演 川合謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)
- 10:10~12:10 シンポジウム 11 (S158)
 医療的ケア児者の学校生活支援
 座長 前田浩利 (医療法人財団はるたか会)
 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
- 1) 学校における医療的ケアの対応について
 森下 平 (文部科学省)
 - 2) 特別支援教育における医療的ケアの歴史と今後の展望
 田添敦孝 (東京都立小平特別支援学校武蔵分教室)
 - 3) 地域と学校における医療的ケア実施の法的妥当性
 堀岡伸彦 (厚生労働省医政局医事課)
 - 4) 人工呼吸管理を必要とする児に対する教育機関における看護ケア
 田村正徳 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
 - 5) 豊中市立小中学校における医療的ケア児の学校生活支援
 植田陽子 (豊中市教育委員会事務局児童生徒課支援教育係)
 - 6) 学校における医療的ケア児への支援
 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)
- 12:30~13:20 ランチョンセミナー 8 : 共催 バイオジェン・ジャパン株式会社 (S260)
 こまできた脊髄性筋萎縮症 (SMA) 治療
 座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
- 1) SMA 治療の経験 —課題と展望—
 講演 弓削康太郎 (久留米大学小児科)
 - 2) 神戸大学小児科における脊髄性筋萎縮症のヌシネルセン治療の経験
 講演 栗野宏之 (神戸大学医学部附属病院小児科)
- 13:30~15:00 ガイドライン策定委員会企画 1 (S202)
 小児けいれん重積治療ガイドライン 2017 をどのように活かすか —診療現場からの意見, 異見—
 座長 林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター)
 秋山倫之 (岡山大学小児神経科)
- 1) けいれんの第一選択薬はジアゼパム? それともミダゾラム?
 西山将広¹, 永瀬裕朗¹, 丸山あずさ²
 (神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科²)
 - 2) けいれん重積治療の第 2 選択肢 フェノバルビタールの位置付け
 菊池健二郎 (東京慈恵会医科大学小児科)
 - 3) けいれん重積治療の第 2 選択肢 フォスフェニトイン
 松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹ (埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²)
 - 4) てんかん重積に対するレベチラセタム静注製剤の当院での使用経験 —海外での使用実績を踏まえて—
 井上賢治, 熊田知浩, 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
 - 5) けいれん重積治療における持続脳波モニタリング
 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗² (兵庫県立こども病院神経内科¹, 神戸大学医学部附属病院親と子の心療部²)
 - 6) 診療ガイドラインは添付文書の遵守が必須か? —今後のガイドライン改訂に期待すること—
 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
- 15:10~17:10 シンポジウム 19 (S183)
 これからの発達支援
 座長 広瀬宏之 (横浜市療育相談センター)
 柴田光規 (川崎西部地域療育センター)

- 1) DSM-5 における自閉スペクトラム症診断の問題点と今後の展開
熊崎博一 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)
- 2) これからのアセスメント 診断からフォーミュレーションへ
原田剛志 (パークサイドこころの発達クリニック)
- 3) 心理職による発達支援
松寄くみ子 (跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科)
- 4) これからの発達支援: 子どもの療育から親子支援へ
井上祐紀 (横浜市南部地域療育センター)

第 2 日目 第 2 会場

9:00~10:00 招待講演 2 (S121)

From Leigh syndrome to pontocerebellar hypoplasia and beyond : an update on mitochondrial encephalopathies

座長 三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

講演 David R. Thorburn (Murdoch Childrens Research Institute and Victorian Clinical Genetics Services, Royal Children's Hospital, Melbourne, VIC, Australia)

10:10~12:10 シンポジウム 12 (S162)

てんかんの治療 Update : 新規抗てんかん薬の使い方 エキスパートオピニオン

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院)

- 1) わが国における新規抗てんかん薬開発と小児への適応
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 2) 国際抗てんかん連盟, NICE ガイドラインに基づく新規抗てんかん薬の使い方
遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院)
- 3) てんかん症候群における新規抗てんかん薬の使い方
秋山倫之 (岡山大学小児神経科)
- 4) 新規抗てんかん薬の作用機序からみた難治てんかんへの使い方
白石秀明 (北海道大学病院小児科)

13:30~15:10 シンポジウム 15 (S171)

結節性硬化症の診療: 最新の情報

座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)

水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

- 1) 結節性硬化症の遺伝子診断の問題点と意義
新井田 要 (金沢医科大学病院ゲノム医療センター)
- 2) 小児神経科医にとっての結節性硬化症の診療 Update
岡西 徹¹, 藤本礼尚²
(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科²)
- 3) 結節性硬化症に伴うてんかんの外科治療
川合謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)
- 4) 自閉症と TAND のこれから
佐藤敦志 (東京大学医学部附属病院小児科)
- 5) 結節性硬化症における移行期診療の問題点
吉永治美¹, 遠藤文香²
(国立病院機構南岡山医療センター重症心身障害児センター¹, 岡山大学病院小児神経科²)

15:20~17:20 共催シンポジウム: 共催 ノバルティス ファーマ株式会社 (S197)

結節性硬化症の診療を通じて多施設・多領域連携を築く

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)

齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

- 1) 結節性硬化症専門外来の誕生がもたらした影響
波多野孝史 (JR 東京総合病院泌尿器科)
- 2) てんかん・神経専門病院として参加する, 病病連携による結節性硬化症の包括的医療
今井克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

- 3) 結節性硬化症診療における大学病院と小児専門施設の連携構築に向けて
永瀬裕朗 (神戸大学医学部附属病院親と子の心療部)
- 4) 診療所における TSC 治療と包括医療
足立昌夫 (あだちこども診療所小児科)

第 2 日目 第 3 会場

10:10~12:10 シンポジウム 13.....(S165)

発達の多様性 —Bio-Psycho-Social からみた理解と支援—

座長 田中恭子 (国立成育医療研究センターこころの診療部)
岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)

- 1) 胎児・新生児の環境と発達の多様性
岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)
- 2) 母子相互作用と発達への影響 —Psychological な視点から—
永田雅子 (名古屋大学心の発達支援研究実践センター)
- 3) ハイリスク児の発達に影響する社会的要因 —Social な視点から—
小倉加恵子 (森之宮病院小児神経科)
- 4) BPS に基づく発達の多様性への理解とその支援
田中恭子 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 9: 共催 塩野義製薬株式会社/シャイアー・ジャパン株式会社.....(S261)

モノアミン神経の発達と attention deficit hyperkinetic disorder (ADHD) の治療

座長 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
講演 星野恭子 (医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

13:30~14:30 招待講演 3.....(S123)

Undiagnosed disease program in Korea ; lessons & learned from 1 year pilot project

座長 井上 健 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

講演 Jong-Hee Chae (Division of Pediatric Neurology, Department of Pediatrics, Seoul National University Children's Hospital, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Korea)

14:40~16:40 シンポジウム 17.....(S177)

筋疾患の最新知識

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)

- 1) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療: 過去, 現在, 未来
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
- 2) 先天性筋ジストロフィーの最近の進歩
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
- 3) 炎症性筋疾患の最近の進歩
西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部)
- 4) iPS 細胞技術を活用した筋疾患治療法の開発
櫻井英俊 (京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門)

第 2 日目 第 4 会場

10:10~12:10 シンポジウム 14.....(S168)

小児神経とオートファジー病: 基礎から臨床まで

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
村松一洋 (自治医科大学小児科)

- 1) オートファジーの分子メカニズムと疾患モデル動物開発
森下英晃 (東京大学大学院医学系研究科分子生物学分野)
- 2) ライツゾーム病とオートファジー病の病態
大友孝信 (川崎医科大学病態代謝学)

- 3) オートファジーの障害により引き起こされる小児神経疾患：Vici 症候群
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- 4) オートファジーの障害により引き起こされる小児神経疾患：SENDA/BPAN
村松一洋 (自治医科大学小児科)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 10：共催 大塚製薬株式会社……………(S261)

ASD を含む神経発達障害の包括的理解：生物学的指標 (発達的中間表現型) の視点から
座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
講演 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

13:30~14:30 教育講演 4……………(S127)

自閉スペクトラム症のゲノム解析結果を起点とした分子病態解明の現状
座長 難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター)
講演 尾崎紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科精神医学親と子どもの心療学分野)

14:40~16:40 シンポジウム 18……………(S180)

重篤な神経疾患を抱える子どもの緩和ケア —終末期を見据えた話し合いについて—

座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

- 1) MELAS 症候群 1 例の長期経過について
寺嶋 宙 (国立成育医療研究センター器官病態系内科部神経内科)
- 2) 疾患の軌跡を意識した関わり
岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
- 3) 小児神経疾患におけるアドバンス・ケア・プランニング
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- 4) 重篤な小児神経疾患における倫理的推論のアポリア
板井孝壺郎 (宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野, 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科生命倫理コーディネーターコース, 宮崎大学医学部附属病院中央診療部門臨床倫理部)
- 5) 子どもの最善の利益をめぐる両親と医療者の協働意思決定について再考する
笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)

17:00~18:00 患者家族会企画……………(S271)

患者さん家族の声を聴こう

座長 福島慎吾 (難病のこども支援全国ネットワーク)
井合瑞江 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

第 2 日目 第 5 会場

9:00~11:00 共同研究支援委員会主催セミナー……………(S216)

第一部

日本小児神経学会が支援する共同研究報告

座長 森本昌史 (京都府立医科大学医学部看護学科)
萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)

- 1) 小児急性脳炎・脳症におけるメタボローム解析
秋山倫之 (岡山大学小児神経科)
- 2) 小児発症抗 MOG 抗体関連疾患患者の実態把握のための全国調査研究
東川幸嗣¹, 中島一郎², 金子公彦³, 鳥巢浩幸⁴, 酒井康成⁵, 吉良龍太郎⁶, 佐久間 啓⁷, 田中恵子⁸, 中嶋秀人⁹, 島川修一¹⁰, 玉井 浩¹⁰
(清恵会病院小児科¹, 東北医科薬科大学老年神経内科学², 東北大学神経内科³, 福岡歯科大学総合医学講座小児科⁴, 九州大学小児科⁵, 福岡市立こども病院小児神経科⁶, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野⁷, 新潟大学脳研究所細胞神経生物学分野⁸, 大阪医科大学神経内科⁹, 大阪医科大学小児科¹⁰)
- 3) グレリンによるレット症候群の新規治療法開発研究
松石豊次郎¹, 弓削康太郎², 高橋知之², 永光信一郎², 山下裕史朗²
(聖マリア病院小児総合研究センターレット症候群研究センター¹, 久留米大学小児科²)

9:00~11:00 共同研究支援委員会主催セミナー…………… (S218)

第二部

エキスパートに聞く「患者登録システムを活用した治験・臨床研究の推進」

座長 森本昌史 (京都府立医科大学医学部看護学科)

高橋 悟 (旭川医科大学医学部小児科)

- 1) 筋疾患における患者登録システムを活用した臨床研究の推進
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
- 2) 治験・臨床研究に向けたレット症候群患者データベースの活用
伊藤雅之 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 11: 共催 第一三共株式会社…………… (S262)

小児脳性麻痺の痙縮治療 — 沖縄県での多職種・多施設チームアプローチ —

座長 玉崎章子 (鳥取大学医学部附属病院小児在宅支援センター)

- 1) 脳性麻痺に対する痙縮治療戦略 — 重度心身障害児に対する ITB 療法と SDR の役割 —
講演 金城 健 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児整形外科)
- 2) 沖縄県立こども医療センターにおける痙縮治療 バクロフェン持続髄注療法 ITB を中心に
講演 安里 隆 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センターリハビリテーション科)

13:30~15:30 シンポジウム 16…………… (S174)

神経炎症と小児精神神経疾患

座長 Russell C. Dale (Paediatric Neurology, the Children's Hospital at Westmead, University of Sydney, Australia)

佐久間 啓 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

- 1) Immune mechanisms in movement and neuropsychiatric disorders
Russell C. Dale (Paediatric Neurology, the Children's Hospital at Westmead, University of Sydney, Australia)
- 2) 熱性けいれんと神経炎症
福田光成 (愛媛県立新居浜病院小児科, 愛媛大学大学院医学系研究科小児科学)
- 3) てんかんと神経炎症
山中 岳 (東京医科大学小児科)
- 4) 小児における傍腫瘍性精神神経症候群
西田裕哉 (東京都立神経病院神経小児科)

第 2 日目 第 6 会場

12:30~13:20 ランチョンセミナー 12: 共催 サノフィ株式会社…………… (S263)

いつ、どのように疑う!? 治療可能な筋疾患

座長 奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

- 1) 筋症状を主症状とする糖原病の筋病理
講演 壺中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 2) 早期診断により酵素補充療法を開始しえた 1 歳女児例
講演 七字美延 (東京女子医科大学病院小児科)

14:10~15:10 教育講演 5…………… (S128)

学会プレゼンの極意: わかりやすいスライド作成のための 10 カ条

座長 村松一洋 (自治医科大学小児科)

講演 渡部欣忍 (帝京大学医学部整形外科)

15:20~16:50 国際化推進委員会主催セミナー…………… (S220)

そうだ! 海外へ行こう — 海外留学のススメ —

座長 中井昭夫 (兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)

加藤光広 (昭和大学医学部小児科)

- 1) 海外留学アンケート調査の結果
石原尚子 (藤田保健衛生大学医学部小児科)
- 2) 危ぶむなかれ, 迷わず行けよ, 行けばなんとかなる
石井敦士 (福岡大学医学部小児科)

- 3) 海外留学で学んだこと, 得たもの
 武内俊樹 (慶應義塾大学医学部小児科)
- 4) 成功する海外研究留学 —受け入れ側の視点から—
 持田 Ganeshwaran 仁司 (ボストン小児病院遺伝・ゲノム科学部門)

第 2 日目 第 7 会場

9:00~10:00 一般演題 (口演)..... (S324)

急性脳症 2

座長 多田弘子 (千葉県済生会習志野病院小児科)
 星野 愛 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

- O-089 細胞外 ADP は P2Y₁₂ 受容体を介してミクログリアにおけるインフラマソーム活性を増強する
 ○鈴木智典^{1,2}, 神山邦子¹, 長谷川節子¹, 林 雅晴¹, 佐久間 啓¹
 東京都医学総合研究所脳発達神経再生研究分野¹, 東京医科歯科大学小児科²
- O-090 脳梁膨大部病変をもつ軽症脳症における MYRF 遺伝子バリエーション
 ○倉橋宏和¹, 東 慶輝^{2,3}, 増田章男⁴, 奥野達矢⁴, 中原絵理⁵, 今村卓司⁶, 齋藤真木子⁷, 水口 雅⁸,
 大野欽司⁴, 奥村彰久^{1,5}
 愛知医科大学医学部小児科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科小児科², ニューカッスル大学遺伝医学部門³, 名古屋大学大学院医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター神経遺伝学⁴, 順天堂大学医学部小児科⁵, PL 病院小児科⁶, 東京大学大学院医学系研究科小児科⁷, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学⁸
- O-091 小児期脳炎・脳症患者における急性期脳波の重症度と予後の関連
 ○秋山麻里, 岡 牧郎, 遠藤文香, 秋山倫之, 小林勝弘
 岡山大学病院小児神経科
- O-092 サイトカインストームによる急性脳症が予測される小児に対するステロイドパルス療法の有効性
 ○石田悠介^{1,2}, 山口 宏^{1,2}, 富岡和美², 田中 司^{1,2}, 西山将広², 藤田杏子³, 豊嶋大作¹,
 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗², 黒澤寛史⁴, 上谷良行³, 高田 哲⁵, 飯島一誠²
 兵庫県立こども病院神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 兵庫県立こども病院救急総合診療科³, 兵庫県立こども病院小児集中治療科⁴, 神戸大学大学院保健学研究科⁵
- O-093 本邦におけるノロウイルス関連脳炎・脳症 全国調査の報告
 ○嶋 泰樹¹, 奥村彰久², 安部信平¹, 池野 充¹, 清水俊明¹
 順天堂大学医学部小児科¹, 愛知医科大学²
- O-094 高 CRP 血症を伴った急性脳症の 3 例
 ○古川 源¹, 石丸聡一郎¹, 石原尚子², 三宅未紗², 中井英剛¹, 木曾原 悟¹, 吉川哲史²
 豊川市民病院小児科¹, 藤田保健衛生大学医学部小児科²

10:00~11:00 一般演題 (口演)..... (S326)

急性脳症 3 自己免疫性脳炎など

座長 鳥巢浩幸 (福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野)
 後藤知英 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

- O-095 皮質下白質拡散能低下を呈する急性脳症後てんかんはシクロスポリン A を含んだ急性期治療で予防できる可能性がある
 ○福山哲広¹, 山内翔子¹, 服部有香¹, 中島英子¹, 稲葉雄二¹, 平林伸一¹, 三澤由佳²
 長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院リハビリテーション科²
- O-096 急性脳炎・脳症患者における血清・髄液の neuron-specific enolase 値と神経学的予後の関連
 ○木水友一, 中島 健, 中井理恵, 大星大観, 池田 妙, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
 大阪母子医療センター
- O-097 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の病態解明: 髄液活性化補体の経時的変動
 ○高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 榎田かおる, 井上有史
 静岡てんかん神経医療センター
- O-098 自己免疫性辺縁系脳炎 (非ヘルペス性辺縁系脳炎) の 8 例における症状, 検査所見, 予後についての検討
 ○代田惇朗^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 久保田 淳¹, 樋渡えりか¹, 池本 智³, 松浦隆樹¹, 小一原玲子³,
 山中 岳², 南谷幹之¹, 高橋幸利⁴
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³, 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター⁴

- O-099 急性散在性脳脊髄炎 24 例における発症から軽快までの経時的な臨床経過の特徴**
 ○西山将広¹, 永瀬裕朗¹, 富岡和美¹, 田中 司¹, 佐々木香織², 親里嘉展², 中川 卓³, 高見勇一³,
 山口 宏^{1,4}, 石田悠介^{1,4}, 豊嶋大作⁴, 丸山あずさ⁴, 高田 哲⁵, 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 加古川中央市民病院小児科², 姫路赤十字病院小児科³, 兵庫
 県立こども病院神経内科⁴, 神戸大学大学院保健学研究科⁵

- O-100 「辺縁系脳炎」と診断された症例の髄液中サイトカイン解析から病態を推定する**
 ○多田弘子^{1,2}, 佐久間 啓¹, 鈴木智典¹, 神山邦子¹, 林 雅晴^{1,3}
 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生分野こどもの脳プロジェクト¹, 千葉県済生会習志野病院
 小児科², 淑徳大学看護栄養学部看護学科³

11:00~11:50 一般演題 (口演)..... (S328)
遺伝・染色体異常 2

座長 和田敬仁 (京都大学大学院医療倫理学・遺伝医療学分野)
 村上信行 (獨協医科大学埼玉医療センター小児科)

- O-101 CACNA1A 遺伝子変異による発作性失調症 2 型にてんかんを合併した 2 男児例**
 ○中島 健¹, 中井理恵¹, 大星大観¹, 木水友一¹, 池田 妙¹, 最上友妃子¹, 柳原恵子¹, 岡本伸彦²,
 安原昭博³, 鈴木保宏¹

大阪母子医療センター小児神経科¹, 大阪母子医療センター遺伝診療科², 安原こどもクリニック³

- O-102 NALCN 遺伝子の両アレル機能喪失による IHPRF1 の遺伝子型・表現型スペクトラム**
 ○武内俊樹¹, 稲葉美枝², 水野誠司², 高橋孝雄¹, 小崎健次郎³
 慶應義塾大学医学部小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科², 慶應義塾大学医学部
 臨床遺伝学センター³

- O-103 MECP2 の微小変異に伴い胃食道逆流, 周期性呼吸, 洞不全症候群を来した兄弟例**
 ○乾 健彦¹, 宮林拓矢¹, 佐藤 亮¹, 大久保幸宗¹, 富樫紀子¹, 岩間一浩², 水口 剛², 松本直通²,
 萩野谷和裕¹
 宮城県立こども病院神経科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²

- O-104 4p モノソミー症候群 10 例における遺伝子型・表現型相関解析**
 ○山本俊至¹, 山本-下島圭子¹, 幸脇正典², 鞆嶋有紀³, 糸見和也⁴, 百崎 謙⁵, 小篠史郎⁵,
 岡本伸彦⁶, 横地健治⁷
 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 豊橋市民病院新生児医療センター², 鳥取大学医学部
 小児科³, あいち小児保健医療総合センター神経科⁴, 熊本大学医学部小児科⁵, 大阪母子医療セン
 ター遺伝診療科⁶, 聖隷三方原病院小児科⁷

- O-105 自閉スペクトラム症児に対するアレイ CGH 解析による MicroRNA の検討**
 ○後藤昌英¹, 松本 歩¹, 小島華林¹, 神保恵理子¹, 小坂 仁¹, 大橋 圭², 齋藤伸治², 山形崇倫¹
 自治医科大学小児科¹, 名古屋市立大学小児科²

12:30~13:20 ランチョンセミナー 13: 共催 株式会社シノテスト..... (S264)
**先天性サイトメガロウイルス感染の新生児スクリーニング, 体外診断用医薬品を用いた確定診断, そしてワクチン
 開発**

座長 森岡一朗 (日本大学医学部小児科)
 講演 井上直樹 (岐阜薬科大学生命薬学大講座感染制御学研究室)

13:30~14:30 一般演題 (口演)..... (S330)
てんかん・けいれん 4 診断・遺伝子

座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院)
 酒井康成 (九州大学小児科)

- O-106 CDKL5 遺伝子異常による難治てんかん 10 例の検討: てんかん発作の特徴**
 ○森岡景子¹, 高橋幸利¹, 白井大介¹, 東本和紀¹, 大星大観¹, 向田壮一¹, 木村暢佑¹, 植田佑樹¹,
 山口解冬¹, 大谷英之¹, 今井克己¹, 重松秀夫¹, 井上有史¹, 加藤光広², 山本俊至³
 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター¹, 昭和大学医学部小児科², 東京女子医科大学遺伝子
 医療センター³

- O-107 IQSEC2 遺伝子変異を有し難治てんかんを発症した 2 例**
 ○長瀬朋子¹, 高橋幸利¹, 山口解冬¹, 井上有史¹, 鈴木俊光², 山川和弘², 加藤光広³
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 理化学研究所脳科学総合研究センター神
 経遺伝研究チーム², 昭和大学医学部小児科³

O-108 FGF12 変異を有するてんかん性脳症の 2 例

○竹口 諒¹, 乾 健彦², 萩野谷和裕², 奈倉道明³, 竹下絵里¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 内山由里⁴, 藤田京史⁴, 中島光子⁴, 才津浩智⁴, 松本直通⁴
 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 宮城県立こども病院神経科², 埼玉医科大学総合医療センター小児科³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴

O-109 焦点性てんかんを合併した X 染色体過剰の 3 例

○白倉茉由子¹, 伊藤 康^{1,3}, 溝口枝里子¹, 河野 香¹, 石井のぞみ¹, 加部一彦², 小國弘量³, 永田 智³
 母子愛育会総合母子保健センター愛育病院小児科¹, 母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児科², 東京女子医科大学小児科³

O-110 GNAO1 遺伝子変異が見出され、著しい反り返りに対してガバベンチンが著効した早発てんかんの 1 女児例

○塚田裕伍¹, 田中竜太¹, 福島富士子¹, 鈴木竜太郎¹, 佐藤琢郎¹, 泉 維昌¹, 草開祥平², 齋藤貴志², 水無瀬 学³, 宮武聡子³, 松本直通³, 加藤光広⁴
 茨城県立こども病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³, 昭和大学医学部小児科⁴

O-111 Panayiotopoulos 症候群と急性脳症の臨床像の比較

○川上沙織¹, 寺嶋 宙², 石黒 精¹, 久保田雅也²
 国立成育医療研究センター教育研修部¹, 国立成育医療研究センター神経内科²

14:30~15:40 一般演題 (口演)..... (S332)

電気生理

座長 小林勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)
 淵上達夫 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

O-112 SENDA に認める脳波の異常高振幅波

○城所博之¹, 本林光雄², 久保田哲夫³, 高野亨子², 柴 直子², 坂口陽子¹, 岡井 佑¹, 田中雅大¹, 牧 祐輝¹, 山本啓之¹, 大野敦子¹, 中田智彦¹, 村松一洋⁴, 横地健治⁵, 夏目 淳¹
 名古屋大学医学部小児科¹, 信州大学医学部小児科², 安城更生病院小児科³, 自治医科大学小児科⁴, 聖隷三方原病院小児神経科⁵

O-113 小児脳波検査における検査施行理由と異常波の検出率の検討

○石丸聡一郎¹, 木曾原 悟¹, 三宅未紗², 石原尚子²
 豊川市民病院小児科¹, 藤田保健衛生大学病院小児科²

O-114 早期乳児の気道感染に伴う無呼吸はてんかん性ではない。

○早川 格, 寺嶋 宙, 上田菜穂子, 占部良介, 武井 剛, 鈴木 智, 神岡哲治, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター器官病態内科部神経内科

O-115 小児救急外来における非けいれん性発作を示す小児患者の臨床的特徴

○山口 宏^{1,2}, 石田悠介^{1,2}, 富岡和美², 田中 司^{1,2}, 西山将広², 豊嶋大作¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗², 高田 哲³, 上谷良行⁴, 飯島一誠²
 兵庫県立こども病院神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 神戸大学大学院保健学研究科³, 兵庫県立こども病院救急総合診療科⁴

O-116 小児期の睡眠時頭皮脳波の棘波に伴う高周波振動の追跡研究

○大内勇児^{1,2}, 秋山倫之¹, 兵頭勇紀¹, 土屋弘樹¹, 花岡義行¹, 柴田 敬¹, 秋山麻里¹, 遠藤文香¹, 岡 牧郎¹, 小林勝弘¹
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)¹, 東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野²

O-117 脳波周波数解析を用いた共感における前頭葉機能の側性化についての検討

○大山哲男¹, 後藤裕介¹, 青柳閣郎¹, 石井佐綾香¹, 金村英秋¹, 相原正男²
 山梨大学医学部小児科学講座¹, 山梨大学大学院総合研究部²

O-118 欠神発作重積状態における高周波振動 (HFO) の検討

○池本 智^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 松浦隆樹^{1,2}, 代田惇朗¹, 久保田 淳^{1,2}, 樋渡えりか¹, 南谷幹之¹
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

15:40~16:30 一般演題 (口演)..... (S334)

てんかん・けいれん 5 てんかん外科

座長 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター・小児神経科)
 師田信人 (東京都立小児総合医療センター脳神経外科)

- O-119 難治性てんかんに対する緩和的外科治療の実践
 ○田村健太郎¹, 榎原崇文²
 奈良県立医科大学医学部脳神経外科¹, 奈良県立医科大学医学部小児科²
- O-120 脳梁離断術の適応となる難治性てんかん 一発作成績と術後合併症について一
 ○宇佐美憲一¹, 寺嶋 宙², 久保田雅也²
 国立成育医療研究センター脳神経外科¹, 国立成育医療研究センター神経内科²
- O-121 MRI 病変の指摘がないが機能画像等により焦点切除術を行った小児てんかん患者の臨床的特徴
 ○斎藤良彦¹, 須貝研司¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹,
 佐藤典子², 柿田明美³, 齊藤祐子⁴, 大槻泰介^{5,6}, 岩崎真樹⁶, 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院放射線
 診療部², 新潟大学脳研究所病理部³, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部⁴, てんか
 ん病院パーテル⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科⁶
- O-122 小児難治性てんかんに対する脳梁離断術の発作予後予測因子についての検討
 ○本田涼子¹, 渡邊嘉章¹, 小野智憲², 戸田啓介³, 安 忠輝¹, 田中茂樹¹, 馬場啓至⁴
 国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科², 国立病院機
 構川棚医療センター脳神経外科³, 西諫早病院脳神経外科⁴
- O-123 運動性・感覚性両言語野に重複するてんかん焦点に対し覚醒下手術にて発作消失した結節性硬化症の治
 療例
 ○岡西 徹¹, 藤本礼尚², 金井創太郎¹, 板村真司¹, 馬場信平¹, 榎 日出夫¹
 聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター²

第 2 日目 第 8 会場

9:00~9:50 一般演題 (口演)..... (S336)

画像

座長 森 健治 (徳島大学大学院子どもの保健・看護学分野)
 城所博之 (名古屋大学医学部小児科)

- O-124 皮質下帯状異所性灰白質を伴う難治性てんかん 3 例に対する脳梁離断術の効果
 ○渡邊嘉章¹, 本田涼子¹, 小野智憲¹, 池田俊郎², 戸田啓介³, 馬場啓至⁴
 国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター¹, 宮崎大学医学部発達泌尿器生殖医学講座小児
 科², 国立病院機構長崎川棚医療センター脳神経外科³, 西諫早病院てんかんセンター⁴
- O-125 限局性皮質異形成で T1 強調高信号を呈した症例の検討
 ○老谷嘉樹¹, 木村有喜男², 須貝研司¹, 齊藤祐子³, 池谷直樹⁴, 岩崎真樹⁴, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹,
 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 柿田明美⁵, 佐藤典子², 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院放射線
 科², 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部³, 国立精神・神経医療研究センター病院脳
 神経外科⁴, 新潟大学脳研究所病理学分野⁵
- O-126 側弯症を伴う二分脊椎患者の脊髓をみる - Curved Planar Reformation 画像の応用 -
 ○吉岡史隆, 下川尚子, 高瀬幸徳, 若宮富浩, 緒方敦之, 中原由紀子, 増岡 淳, 阿部竜也
 佐賀大学医学部脳神経外科
- O-127 functional MRI, diffusion MRI による小児期の言語可塑性関与領域及びネットワークの検討
 ○三橋 匠¹, 菅野秀宣¹, 中島 円¹, 肥後拓磨¹, 飯村康司¹, 鈴木皓晴¹, 新井 一¹, 浅野恵子²,
 中嶋高幸³, 田中聡久³
 順天堂大学医学部脳神経外科¹, 順天堂大学外国語研究室², 東京農工大学大学院工学府電気電子工
 学専攻³
- O-128 乳幼児の鎮静 MRI 検査における鎮静薬の有用性と安全性
 ○加久翔太郎^{1,2}, 水口浩一⁴, 阪井裕一³, 山本 仁¹
 聖マリアンナ医科大学小児科¹, 国立成育医療研究センター総合診療部², 埼玉医科大学総合医療セ
 ンター³, 社会福祉法人みなと舎ライフゆう⁴

9:50~10:50 English Session 3 (S280)
 遺伝

Chair Mitsuhiro Kato (Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan)

Toshiyuki Yamamoto (Institute of Medical Genetics, Tokyo Womens Medical University, Tokyo, Japan)

E-011 HECW2 mutation causes peculiar periodic attacks of paralysis, intellectual disability and hypotonia

○Kazuyuki Nakamura¹, Mitsuhiro Kato^{1,2}, Takahiro Abiko¹, Takashi Kanbayashi³, Mitsuko Nakashima^{4,5}, Hirotomo Saitsu^{4,5}, Naomichi Matsumoto⁵

Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan¹, Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan², Department of Psychiatry, Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan³, Department of Biochemistry, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan⁴, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁵

E-012 A sporadic case of CAPOS syndrome

○Hirofumi Kashii^{1,2}, Itaru Hayakawa², Hiroshi Terashima², Rika Kosaki³, Kenjiro Kosaki⁴, Hiroshi Watanabe¹, Masaya Kubota²

Department of Pediatrics, Teikyo University Hospital, Mizonokuchi, Kawasaki, Japan¹, Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan², Division of Medical Genetics, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan³, Center for Medical Genetics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan⁴

E-013 Specific mutations in ATP1A3 cause distinct phenotypes : Analysis of cases with CAPOS, RECA, and AHC

○Yuji Nakamura¹, Ayako Hattori¹, Masataka Fukuoka², Mitsuko Nakashima³, Atsushi Ishii⁴, Daisuke Ieda¹, Ikumi Hori¹, Yutaka Negishi¹, Naoki Ando^{1,5}, Ichiro Kuki², Naomichi Matsumoto³, Shinichi Hirose⁴, Shinji Saitoh¹

Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan¹, Department of Pediatric Neurology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan², Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan³, Department of Pediatrics, School of Medicine, Fukuoka University, Fukuoka, Japan⁴, Josai Kids Clinic, Nagoya, Japan⁵

E-014 Intra-cellular localization to validate pathogenicity for genetic diseases

○Takeshi Kouga¹, Hitoshi Osaka¹, Chihiro Ohba², Eriko Jimbo¹, Takanori Yamagata¹, Hirotomo Saitsu³, Naomichi Matsumoto²

Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Human Genetics, Graduate School of Medicine, Yokohama City University, Yokohama, Japan², Department of Biochemistry, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan³

E-015 Paroxysmal dyskinesia disorders diagnosed by comprehensive genetic analysis.

○Naoko Ishihara¹, Misa Miyake¹, Yoshiki Kawamura¹, Hidehito Inagaki², Takema Kato², Makiko Tsutsumi², Tadayoshi Hata³, Tetsushi Yoshikawa¹, Hiroki Kurahashi²

Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan¹, Division of Molecular Genetics, Institute for Comprehensive Medical Science, Fujita Health University, Toyoake, Japan², Faculty of Medical Technology, Fujita Health University School of Health Sciences, Toyoake, Japan³

E-016 Utility of single-fiber electromyography in patients with CACNA1A mutation

○Ayaka Hirasawa¹, Akihiko Ishiyama¹, Eri Takeshita¹, Yuko Shimizu-motohashi¹, Takashi Saito¹, Hirofumi Komaki¹, Eiji Nakagawa¹, Kenji Sugai¹, Shota Yuasa², Kohei Hamanaka³, Satoko Miyatake³, Naomichi Matsumoto³, Masayuki Sasaki¹

Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP), Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Kameda Medical Center, Chiba, Japan², Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan³

10:50~11:50
先天異常

English Session 4 (S282)

Chair Tomohiro Chiyonobu (Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan)
Tomonari Awaya (Department of Anatomy and Developmental Biology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan, Translational Research Department for Skin and Brain Diseases, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan)

- E-017 Prenatal Zika virus infection in mice dysregulates cortical development and causes microcephaly**
○Kimino Fujimura^{1,2,3}, Tojo Nakayama^{1,4}, Dylan Vaughan^{1,4}, Andrew Kodani^{1,5}, Ann Durbin⁶, Irene Bosch⁷, Mauro Teixeira⁸, Lee Gehrke^{6,7,9}, Ganeshwaran Hitoshi Mochida^{1,4,10}
Division of Genetics and Genomics, Department of Medicine, Boston Children's Hospital, MA, USA¹, Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan², Department of Pediatrics, Shin-yurigaoka General Hospital, Kawasaki, Kanagawa, Japan³, Department of Pediatrics, Harvard Medical School, Boston, MA, USA⁴, Department of Biochemistry and Biophysics, Cardiovascular Research Institute, University of California, San Francisco, CA, USA⁵, Program in Virology, Division of Medical Sciences, Harvard Medical School, Boston, MA, USA⁶, Institute for Medical Engineering and Science, Massachusetts Institute of Technology, Cambridge, MA, USA⁷, Department of Biochemistry and Immunology, Institute of Biological Sciences, Universidade Federal de Minas Gerais, Belo Horizonte, Brazil⁸, Department of Microbiology and Immunobiology, Harvard Medical School, Boston, MA, USA⁹, Pediatric Neurology Unit, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA¹⁰
- E-018 Dysregulation of gene expression underlies microcephaly due to Zika virus infection in mice**
○Ganeshwaran Hitoshi Mochida^{1,2,3}, Tojo Nakayama^{1,2}, Amanda Guise⁴, Kimino Fujimura^{1,5,6}, Dylan Vaughan^{1,2}, Andrew Kodani^{1,2}, Ann Durbin⁷, Irene Bosch⁸, Mauro Teixeira⁹, Lee Gehrke^{7,8,10}
Division of Genetics and Genomics, Boston Children's Hospital, Boston, MA, USA¹, Department of Pediatrics, Harvard Medical School, Boston, MA, USA², Pediatric Neurology Unit, Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA³, F. M. Kirby Neurobiology Center, Boston Children's Hospital, Boston, MA, USA⁴, Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan⁵, Department of Pediatrics, Shin-yurigaoka General Hospital, Kanagawa, Japan⁶, Program in Virology, Division of Medical Sciences, Harvard Medical School, Boston, MA, USA⁷, Institute for Medical Engineering and Science, Massachusetts Institute of Technology, Cambridge, MA, USA⁸, Departamento de Bioquímica e Imunologia, Instituto de Ciências Biológicas, Universidade Federal de Minas Gerais, Minas Gerais, Brazil⁹, Department of Microbiology and Immunobiology, Harvard Medical School, Boston, MA, USA¹⁰
- E-019 The effect of missense mutation site on the phenotype of glucose transporter-1 deficiency syndrome.**
○Shin Nabatame^{1,2,3}, Hidehito Kondo^{1,2}, Ryoko Hayashi^{1,2}, Mika Hirotsune^{1,2}, Junpei Tanigawa^{1,2}, Yoshiko Iwatani^{1,2,3}, Koji Tominaga^{1,2,3}, Kuriko Shimono^{1,2,3}, Keiichi Ozono^{1,2}
Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan¹, Epilepsy Center, Osaka University Hospital, Suita, Japan², Division of Developmental Neuroscience, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Suita, Japan³
- E-020 Brain MRI findings of the best correlation with neurological outcomes in tuberous sclerosis complex**
○Tohru Okanishi¹, Ayataka Fujimoto², Sotaro Kanai¹, Shinji Itamura¹, Shinpei Baba¹, Hideo Enoki¹
Department of Child Neurology, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Shizuoka, Japan¹, Comprehensive Epilepsy Center, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Shizuoka, Japan²
- E-021 Combination of topiramate and lacosamide is effective for Paramyotonia congenita**
○Yoshie Kurokawa, Akihiko Miyauchi, Hirokazu Yamagishi, Kazuhiro Muramatsu, Hitoshi Osaka, Takanori Yamagata
Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan
- E-022 A case of ephedrine-responsive congenital myasthenia syndrome due to novel mutations in COLQ**
○Hiroyuki Wakamoto¹, Mika Kawabe¹, Yoshiaki Yano¹, Satoko Miyatake², Naomichi Matsumoto², Kinji Ohno³
Department of Pediatrics, Ehime Rehabilitation Center for Children, Toon, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan², Division of Neurogenetics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan³

12:30~13:20 ランチョンセミナー 14 : 共催 エーザイ株式会社メディカル本部 (S264)
 グルタミン酸受容体拮抗薬の作用機序 —基礎と臨床の Translatability—

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

1) PDS と抗てんかん薬 —臨床の立場から—

講演 池田昭夫 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

2) 良く知られた AMPA 受容体の知られていない役割 —基礎の立場から—

講演 岡田元宏 (三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野)

13:30~14:40 English Session 5 (S284)
 発達障害

Chair Takanori Yamagata (Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan)
 Tatsuya Koeda (Department of Psychosocial Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan)

E-023 Effects of intranasal oxytocin on reward processing in reactive attachment disorder

○Shinichiro Takiguchi¹, Takashi X Fujisawa², Koji Shimada², Kai Makita², Yoshifumi Mizuno¹, Hiroataka Kosaka^{1,2}, Akemi Tomoda^{1,2}

Department of Child and Adolescent Psychological Medicine, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan¹,
 Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan²

E-024 Effects of medical music-care therapy for children with neurodevelopmental disorders

○Naomitsu Suzuki¹, Emiko Shiba^{1,2}, Tetsuro Sakai^{1,3}

Department of Pediatrics, Tsukuba Clinic for Mental Sick Children & Adolescents, Ibaraki, Japan¹, Department of Pediatrics, Juntendo University Nerima Hospital, Tokyo, Japan², Department of Pediatrics, Yuhai Memorial Hospital, Ibaraki, Japan³

E-025 Clinical futures of sluggish cognitive tempo, an another attention disorder

○Shuhei Suzuki¹, Tomika Kondo¹, Yasunori Oka^{1,2}

Suzuki Clinic, Osaka, Japan¹, Center for Sleep Medicine, Ehime, Japan²

E-026 MPH-induced hemodynamic responses in medication-naïve ADHD with and without ASD : an fNIRS study

○Takahiro Ikeda¹, Yukifumi Monden^{1,2}, Tatsuya Tokuda³, Masako Nagashima¹, Hideo Shimoizumi⁴, Ippeita Dan³, Takanori Yamagata¹

Department of pediatrics, Jichi medical university, Tochigi, Japan¹, International University of Health and Welfare Rehabilitation Center, Tochigi, Japan², Applied Cognitive Neuroscience Laboratory, Chuo University, Tokyo, Japan³, Nasu Institute for Developmental Disabilities, International University of Health and Welfare Rehabilitation Center, Tochigi, Japan⁴

E-027 Is congenital cytomegalovirus infection associated with autism spectrum disorder?

○Noriyuki Nishimura¹, Kaori Maeyama¹, Kazumi Tomioka¹, Hiroaki Nagase¹, Mieko Yoshioka², Yasuko Takagi², Takeshi Kato³, Masami Mizobuchi⁴, Shinji Kitayama⁵, Satoshi Takada⁶, Masashi Nagai¹, Nana Sakakibara¹, Masahiro Nishiyama¹, Ichiro Morioka¹, Kazumoto Iijima¹

Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan¹, Kobe City Pediatric and General Rehabilitation Center for the Challenged, Kobe, Japan², Western Kobe City Pediatric and General Rehabilitation Center for the Challenged, Kobe, Japan³, Department of Developmental Pediatrics, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan⁴, Himeji City Center for the Disabled, Himeji, Japan⁵, Kobe University Graduate School of Health Science, Kobe, Japan⁶

E-028 Decease in the frequency of each angle of memory guided saccade in Tourette syndrome and ADHD

○Kyoko Hoshino¹, Hideki Fukuda¹, Yusuke Sugiyama^{1,2}, Yuri Nagao¹, Kazue Kimura¹, Masaharu Hayashi¹, Shinichi Tokushige^{1,3}, Yasuo Terao^{1,2,4}

Segawa Memorial Neurological Clinic for Children, Tokyo, Japan¹, Department of Neurology, Tokyo University, Tokyo, Japan², Department of Neurology, Kyorin University, Tokyo, Japan³, Department of Cell-Physiology, Kyorin University, Tokyo, Japan⁴

E-029 Hiragana decoding impairment in three Japanese children with periventricular leukomalacia

○Naoko Kurahashi¹, Shunsuke Ogaya², Yuki Maki³, Takeshi Suzuki¹, Yosuke Hosokawa¹, Keitaro Yamada¹, Koichi Maruyama¹, Kosaburo Aso¹, Miho Nakamura^{4,5}

Department of Pediatric Neurology, Aichi Prefectural Colony Central Hospital, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan¹, Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan², Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan³, Department of Functioning Science, Institute for Developmental Research, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan⁴, Okazaki Medical Center for Child Development, Okazaki, Japan⁵

14:40~15:40 English Session 6 (S286)
 脳性麻痺・新生児

Chair Hiroshi Arai (Bobath Memorial Hospital, Osaka, Japan)
 Akihito Takeuchi (Division of Neonatology and Neuropediatrics, National Hospital Organization Okayama Medical Center, Okayama, Japan)

- E-030 The association between general movements assessment and brain morphology**
 ○Tomoki Maeda, Kazuhito Sekiguchi, Mizuho Takahashi
 Department of Pediatrics, Oita University, Oita, Japan
- E-031 Radial glial fibers promote neuronal migration and functional recovery after neonatal brain injury**
 ○Hideo Jinnou^{1,2}, Masato Sawada², Koya Kawase^{1,2}, Naoko Kaneko², Takuya Miyamoto²,
 Itsuki Ajioka³, Shinji Saitoh¹, Kazunobu Sawamoto²
 Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan¹, Department of Developmental and Regenerative Biology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan², Center for Brain Integration Research, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan³
- E-032 Pathophysiology of neuronal network damage in the mouse model of extremely preterm infants**
 ○Kimiko Deguchi^{1,2}, Ken-ichiro Kubo¹, Ken Inoue³, Kazunori Nakajima¹
 Department of Anatomy Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan,¹ Deguchi Pediatric Clinic, Nagasaki, Japan², National Institute of Neuroscience, NCNP, Dept. of Mental Retardation and Birth Defect Research, Tokyo, Japan³
- E-033 Ganglionic eminence in normal and neuronal migration disorder cases detected by fetal neuroscan**
 ○Ritsuko Pooh
 CRIFM Clinical Research Institute of Fetal Medicine PMC, Osaka, Japan
- E-034 Genomic analysis identifies masqueraders of full-term cerebral palsy**
 ○Yusuke Takezawa¹, Atsuo Kikuchi¹, Kazuhiro Haginoya^{1,2,3}, Yurika Numata-uematsu³, Takehiko Inui^{2,3},
 Mai Anzai^{2,3}, Sato Suzuki², Takuya Miyabayashi², Saeko Yamamura-suzuki², Yukimune Okubo^{2,3},
 Wakaba Endo^{2,3}, Noriko Togashi², Yasuko Kobayashi³, Akira Onuma³, Shigeo Kure¹
 Department of Pediatrics, Tohoku University School of Medicine, Miyagi, Japan¹, Department of Pediatric Neurology, Miyagi Children's Hospital, Miyagi, Japan², Department of Pediatric Neurology, Takuto Rehabilitation Center for Children, Miyagi, Japan³
- E-035 A proposal : enquiry about lack of best attainable cancer medicine for the most vulnerable persons**
 ○Satoshi Honjo¹, Shoichiro Ohno^{1,2}
 Department of Paediatrics, National Hospital Organization Fukuoka Hospital, Fukuoka, Japan¹, Ohno Paediatrics and Internal Medicine Clinic, Nogata, Japan²

第 2 日目 第 9 会場

9:00~10:00 一般演題 (口演) (S337)
 発達障害 4 ADHD

座長 門田行史 (自治医科大学小児科学)
 山下裕史郎 (久留米大学医学部小児科)

- O-129 AD/HD に対するメチルフェニデートとアトモキセチンの効果的併用療法**
 ○松尾光弘¹, 藤井明子¹, 本山和徳¹, 長岡珠緒¹, 宮崎睦子¹, 森山 薫¹, 松坂哲應²
 長崎県立こども医療福祉センター小児科¹, 長崎こども女性障害者支援センター²
- O-130 注意欠如多動症と併存症における Guanfacine の臨床効果**
 ○中川栄二
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-131 ADHD42 例の Guanfacine 治療の臨床的検討**
 ○洲鎌倫子, 石崎朝世
 公益社団法人発達協会王子クリニック
- O-132 Attention deficit hyperkinetic disorder (ADHD) 67 名 (Tourette 症合併 38 名) における Guanfacine (GXR) の臨床経験. 第 1 報: 有効性**
 ○星野恭子, 長尾ゆり, 木村一恵, 林 雅晴, 八森 啓
 医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック

O-133 **Attention deficit hyperkinetic disorder (ADHD) 67 名 (Tourette 症合併 38 名) における Guanfacine (GXR) の臨床経験. 第 2 報: 副作用**

○長尾ゆり, 星野恭子, 木村一恵, 内野じゅん, 林 雅晴, 八森 啓
医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック

O-134 **ADHD 児における構造的ネットワークの変化**

○水野賀史¹, 丁ミンヨン^{2,3}, 滝口慎一郎¹, 友田明美^{1,2,3}
福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部¹, 福井大学子どものこころの発達研究センター², 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科³

10:00~10:40 一般演題 (口演)..... (S339)

末梢神経・自律神経

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

斎藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

O-135 **急性弛緩性脊髄炎の機能再建手術**

○土井一輝
小郡第一総合病院整形外科

O-136 **SCN11A 変異が同定された家族性小児四肢疼痛発作症の 1 家系**

○田中史枝¹, 後藤知英², 小川恵梨¹, 田中汐理¹, 伊藤麻美¹, 黒澤健司³, 小崎健次郎⁴
平塚市民病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³, 慶應義塾大学臨床遺伝学センター⁴

O-137 **小児の慢性頭痛に対する漢方治療**

○栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

O-138 **小児片頭痛に対するリボフラビンの有用性**

○竹下美佳, 山中 岳, 呉 宗憲, 森 朋子, 石田 悠, 森地振一郎, 森下那月美, 小穴信吾, 河島尚志
東京医科大学小児科

10:40~11:50 一般演題 (口演)..... (S341)

代謝性疾患

座長 新宅治夫 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学分野)

大竹 明 (埼玉医科大学小児科・難病センター)

O-139 **急激に神経症状と精神症状が出現・進行し塩酸トリエンチンによる治療が奏功した Wilson 病の 1 例**

○清水教一, 林 歩実, 西原明子, 青木継稔
東邦大学医療センター大橋病院小児科

O-140 **Fabry 病女性患者の脳画像所見と生化学・分子生物学的所見との関連に関する検討**

○衛藤 薫¹, Arif Hossein², 柳沢比呂子², 宮沢任司², Wu Chen², 衛藤義勝², 永田 智¹
東京女子医科大学病院小児科¹, 財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター²

O-141 **頸髄圧迫による神経症状を認めたムコリビドーシス II/III 型の 4 例**

○近藤秀仁¹, 濱田悠介², 大友孝信^{1,3}, 坂本謙一⁴, 仲岡佐智子¹, 澁谷与扶子¹, 酒井規夫^{1,5}, 大藪恵一¹
大阪大学大学院医学系研究科小児科学¹, 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院小児科², 川崎医科大学病態代謝学³, 京都府立医大附属北部医療センター⁴, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学⁵

O-142 **GM1-ガングリオシドーシスに対する第二世代シャペロン化合物の開発**

○難波栄二, 檜垣克美
鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野

O-143 **ECHS1 遺伝子異常による Leigh 症候群に対する治療の試み**

○白井育子¹, 小川えりか², 村山 圭³, 大竹 明⁴, 眞下秀明¹, 西田裕哉¹, 宮田世羽¹, 栗原栄二¹, 熊田聡子¹
東京都立神経病院神経小児科¹, 日本大学医学部小児科², 千葉県こども病院代謝科³, 埼玉医科大学附属病院小児科⁴

O-144 **高浸透圧非ケトン性高血糖状態を認めた MELAS の 2 例**

○伊藤昌弘, 玉木久光, 山田隆太郎
都立墨東病院小児科

- O-145 MELAS に対するアルギニン治療の 9 年間の前方視的, 多施設共同研究のフォローアップと治療レジメン**
 ○古賀靖敏¹, 井上永介², 中村秀文³, 鈴木康弘⁵, 久保田雅也³, 藤井克則⁴
 久留米大学医学部小児科¹, 聖マリアンナ医科大学², 国立成育医療研究センター³, 千葉大学医学部小児科⁴, 大阪母子医療センター⁵

12:30~13:20 ランチョンセミナー 15: 共催 アルフレッサ ファーマ株式会社……………(S265)

點頭てんかん治療 up to date —専門医の立場から—

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンター)

- 1) ビガバトリン治療の実臨床での経験と今後の展望
 講演 池本 智 (埼玉県立小児医療センター神経科)
- 2) ビガバトリン投与例における網膜電図の使用経験
 講演 神部友香 (埼玉県立小児医療センター眼科)

13:30~14:40 一般演題 (口演)……………(S343)

新生児・周産期障害

座長 森岡一朗 (神戸大学大学院医学研究科小児科学)
 武内俊樹 (慶應義塾大学医学部小児科)

- O-146 早産児 25 例のマルチモダリティ MRI 解析**
 ○池野 充¹, 安部信平¹, 嶋 泰樹¹, 堀 正明², 新島新一³, 青木茂樹², 清水俊明¹
 順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部放射線科², 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科³
- O-147 新生児における脳散在性点状出血 脳 MRI による評価とその成因**
 ○藤代賢亮¹, 藤井克則¹, 内田智子¹, 塩浜 直¹, 杉田克己², 坂本理恵³, 加藤英二³, 下条直樹¹
 千葉大学医学部小児科¹, 千葉大学教育学部², 船橋中央病院新生児科³
- O-148 低体温療法を受けた新生児低酸素性虚血性脳症の児における急性期 MRI 所見と West 症候群発症の関連**
 ○竹内章人^{1,2}, 越智元春^{1,3}, 服部真理子¹, 井上拓志^{2,3}
 国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 国立病院機構岡山医療センター神経小児科², 国立病院機構岡山医療センター小児科³
- O-149 aEEG による早産児の脳成熟遅延と発達指数との関連**
 ○加藤 徹, 鈴木良輔, 辻 健史, 早川文雄
 岡崎市民病院小児科
- O-150 脳室内出血後水頭症をきたした極低出生体重児の治療と予後**
 ○佐藤友哉¹, 平澤恭子¹, 竹下暁子¹, 今井 憲², 永田 智¹
 東京女子医科大学病院小児科¹, 東京女子医科大学病院新生児科²
- O-151 脳室内出血を合併した極低出生体重児の発達予後**
 ○平澤恭子¹, 竹下暁子^{1,2}, 佐藤友哉¹, 今井 憲², 永田 智¹
 東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学母子総合医療センター NICU 部門²
- O-152 新生児臨床研究ネットワークデータベースに基づいた出生体重 500 g 以下児の 3 歳時神経学的予後の調査**
 ○井上善介^{1,2}, 松下悠紀^{1,2}, 落合正行^{1,2}, 石崎義人¹, 實藤雅文¹, 酒井康成¹, 大賀正一^{1,2}
 九州大学病院小児科¹, 九州大学病院総合周産期母子医療センター²

14:40~15:30 一般演題 (口演)……………(S345)

神経変性疾患

座長 萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)
 小坂 仁 (自治医科大学小児科)

- O-153 TUBB4A 関連白質変性症 7 例の MR spectroscopy による検討**
 ○佐野賢太郎¹, 室伏佑香², 森山陽子², 安藤直樹³, 池野 充⁴, 井上 健⁵, 小坂 仁⁶, 後藤知英⁷, 佐々木征行⁵, 萩野谷和裕⁸, 森本昌史⁹, 和田敬仁¹⁰, 高梨潤一²
 東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科², 城西こどもクリニック³, 順天堂大学医学部附属順天堂医院小児思春期科⁴, 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科⁵, 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科⁶, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁷, 宮城県立こども病院神経科⁸, 京都府立医科大学小児科学⁹, 京都大学医療倫理学遺伝医療学¹⁰
- O-154 小児期発症の小脳性運動失調症患者に関する質問票調査**
 ○小野博也¹, 本橋裕子¹, 丸尾和司², 竹下絵里¹, 齋藤貴志¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 筑波大学医学医療系²

- O-155 線維芽細胞から神経細胞への direct conversion による疾患原因遺伝子変異の機能解析**
 ○植松有里佳¹, 植松 貢¹, 佐藤 亮^{1,2}, 井上 健³, 呉 繁夫¹
 東北大学病院小児科¹, 宮城県立こども病院², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部³
- O-156 小児期の淡蒼球と黒質の一過性の高信号・腫大は SENDA/BPAN を示唆する**
 ○石山昭彦^{1,2}, 斎藤良彦¹, 宮本雄策⁴, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐藤典子³, 西野一三², 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部², 国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部³, 川崎市立多摩病院小児科⁴
- O-157 ACOX1 遺伝子の新規変異が同定されたアシル CoA オキシダーゼ欠損症の姉弟例**
 ○松園 崇¹, 下澤伸行², 森田篤志¹, 渡辺詩絵奈¹, 田中磨衣¹, 大戸達之¹, 岩間一浩³, 水口 剛³, 松本直通³
 筑波大学小児科¹, 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

15:30~16:10 一般演題 (口演)..... (S347)
 血管障害・脳外科領域

座長 埜中正博 (関西医科大学脳神経外科)
 九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

- O-158 持続脳波モニタリングを施行した頭蓋内出血症例の検討**
 ○福岡正隆¹, 川脇 壽¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 國廣誉世², 松阪康弘², 石川順一^{3,5}, 天羽清子³, 外川正生³, 宇城敦司⁴, 林下浩士⁵
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科², 大阪市立総合医療センター小児救急科³, 大阪市立総合医療センター集中治療部⁴, 大阪市立総合医療センター救命救急部⁵
- O-159 当院集中治療室に入室した小児脳血管障害症例 7 例のまとめ**
 ○中村裕子¹, 新津健裕¹, 福島亮介², 植田育也¹, 南谷幹之³, 浜野晋一郎³
 埼玉県立小児医療センター集中治療科¹, 埼玉県立小児医療センター救急診療科², 埼玉県立小児医療センター神経科³
- O-160 小児脳神経外科の地域連携の現状と問題点**
 ○松阪康弘, 國廣誉世, 坂本博昭
 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- O-161 乳幼児揺さぶられ症候群における硬膜下血腫の画像所見の特徴と血腫形成機序に関する考察**
 ○山中 巧^{1,2}, 原田敦子², 阪本大輔^{2,4}, 宇都宮英綱³
 京都府立医科大学脳神経外科¹, 愛仁会高槻病院小児脳神経外科², 愛仁会高槻病院小児神経センター³, 兵庫医科大学脳神経外科⁴

第 2 日目 ポスター会場

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S414)
 遺伝・遺伝子異常 3

座長 熊田知浩 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)

- P-166 ミトコンドリア呼吸鎖異常を呈した ATR-X 症候群の 1 例**
 ○相場佳織^{1,2,3}, 佐久間 肇¹, 杉本真里¹, 小山典久¹, 横地健治², 大竹 明³
 豊橋市民病院小児科¹, 聖隷三方原病院小児科², 埼玉医科大学小児科³
- P-167 難治性下痢により体重増加不良が続く重度精神運動発達遅滞症例; EPG5 複合ヘテロ変異による Vici 症候群か?**
 ○中務秀嗣¹, 平澤恭子¹, 島田姿野¹, 竹下暁子¹, 小國弘量¹, 山本俊至², 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学遺伝子医療センター²
- P-168 著明な体重減少を呈した Helsmoortel-van der Aa 症候群の一例**
 ○山本崇裕^{1,2}, 久保田一生², 川本典生², 川本美奈子², 木村 豪², 原田 徹³, 中島光子⁴, 才津浩智⁴, 深尾敏幸²
 岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学¹, 岐阜大学大学院医学系研究科小児科², 大垣市民病院外科³, 浜松医科大学医学部医化学⁴

P-169 黄斑部の形成異常を合併した Coffin-Siris 症候群の 1 例○藤田貴子¹, 井原由紀子¹, 林 仁美¹, 石井敦士¹, 井手口 博¹, 井上貴仁¹, 安元佐和², 山本俊至³, 廣瀬伸一¹福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学医学教育推進講座², 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター³**P-170 全エキソーム解析により診断した, CREBBP 遺伝子変異を有する Rubinstein-Taybi 症候群の非典型例**○福井香織¹, 渡邊順子^{1,2}, 吉浦孝一郎³, 弓削康太郎¹, 山下裕史朗¹久留米大学小児科学講座¹, 久留米大学 GC/MS 医学応用研究施設², 長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学³**P-171 脳症様症状や発作性失調症状を繰り返した CAPOS 症候群の臨床経過**○川島英志¹, 山崎佐和子^{1,2}, 塚野真也¹, 真柄慎一³, 小松原孝夫³, 小林 悠³, 放上萌美³, 遠山 潤³, 石井敦士⁴, 廣瀬伸一⁴新潟市民病院小児科¹, 新潟南病院小児科², 国立病院機構西新潟中央病院³, 福岡大学小児科⁴**17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S416)
遺伝・遺伝子異常 4**

座長 沢石由記夫 (秋田県立医療療育センター小児科)

P-172 神経発達障害を主徴とし, 遺伝学的解析により確定診断された 5 症例○岸本洋子^{1,2}, 大澤麻記¹, 小沢愉理¹, 雨宮 馨¹, 河野千佳¹, 中村由紀子¹, 秦 健一郎³, 要 匡⁴, 高田史男⁵, 小沢 浩¹鳥田療育センターはちおうじ神経小児科¹, 国立成育医療研究センターメディカルゲノムセンター², 国立成育医療研究センター周産期病態研究部³, 国立成育医療研究センターゲノム医療研究部⁴, 北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学講座⁵**P-173 脆弱 X 症候群ならびに脆弱 X 症候群関連疾患の治療推進に向けた臨床基盤整備**○足立香織¹, 岡崎哲也^{2,3}, 松浦 徹⁴, 石井一弘⁵, 後藤雄一⁶, 難波栄二^{1,2}鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科², 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科³, 自治医科大学神経内科⁴, 筑波大学医学医療系 (臨床医学系神経内科)⁵, 国立精神・神経医療研究センター⁶**P-174 成長障害, 発達遅滞, てんかんおよび高サイトカイン型急性脳症を来し, 網羅的な遺伝子解析で 1q44 欠失が見出された一例**○岩淵恵美¹, 田中竜太¹, 塚越隆司¹, 鈴木竜太郎¹, 佐藤琢郎¹, 福島富士子¹, 泉 維昌¹, 中山純子², 森山伸子³, 山本俊至⁴茨城県立こども病院¹, 茨城県立医療大学附属病院², ひたちなか総合病院³, 東京女子医科大学統合医科学研究所⁴**P-175 太田原症候群で発症し MERRF と診断された 24 歳死亡例**○安東里真^{1,2}, 奥村啓子¹, 高野知行¹, 山崎正策¹びわこ学園医療部福祉センター野洲¹, 上島内科医院²**P-176 COL4A1 異常症に合併した重篤な筋合併症**○岡野聡美¹, 田中亮介¹, 岡山亜貴恵¹, 鈴木菜生¹, 高橋 悟¹, 西野一三², 東 寛¹旭川医科大学医学部小児科¹, 国立精神神経医療研究センター神経研究所²**P-177 先天性中枢性低換気症候群 (CCHS) の青年期男児に対する呼吸管理の 1 例 (第 2 報)**

○日野ひとみ, 藤岡智仁

公立学校共済組合四国中央病院

**18:10~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S418)
遺伝・遺伝子異常 5**

座長 中村和幸 (山形大学医学部小児科)

P-178 急速に歩行障害が進行した CLN6 変異を有する神経セロイドリポフスチン症の 5 歳男児例○松本 歩¹, 小坂 仁¹, 長嶋雅子¹, 岩間一浩², 水口 剛², 池田尚広¹, 村松一洋¹, 松本直通², 山形崇倫¹自治医科大学小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²**P-179 Neuronal Ceroid Lipofuscinosis 7 の兄弟例**○松井 潤¹, 森宗孝夫¹, 西倉紀子¹, 底田辰之¹, 丸尾良浩¹, 加藤光広², 中島光子³, 松本直通³滋賀医科大学医学部小児科¹, 昭和大学医学部小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³**P-180 DYNC1H1 遺伝子変異により West 症候群と重度の胃食道逆流を呈した一乳児例**○有坂敦子¹, 松原直己¹, 宮田理英¹, 加藤光広², 中島光子³, 松本直通³東京北医療センター小児科¹, 昭和大学医学部小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

P-181 GNB1 の de novo 変異が判明した dyskinetic quadriplegia, infantile spasms を示す発達遅滞男児の 1 例
 ○宮林拓矢¹, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 佐藤 亮¹, 大久保幸宗¹, 富樫紀子¹, 水口 剛², 松本直通²
 宮城県立こども病院神経科¹, 横浜市大大学院医学系研究科遺伝学²

P-182 NR2F1 遺伝子異常を伴ったウエスト症候群の長期臨床経過
 ○福興なおみ, 菊池敦生, 萩野谷和裕, 廣瀬三恵子, 横山浩之, 呉 繁夫
 東北大学医学部小児科

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S419)

染色体異常 1

座長 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)

P-183 3 番染色体短腕の部分欠失をみとめた 1 例
 ○脇坂晃子¹, 新井田 要², 山田晋也¹, 山田真平¹, 梅 暁子¹, 横井彩乃¹, 中村奈美¹, 丸箸圭子¹, 大野一郎¹

国立病院機構医王病院小児科¹, 金沢医科大学遺伝子医療センター²

P-184 自閉スペクトラム症・てんかんを認めた 6q12q13 欠失症候群の男児例

○松本貴子, 毎原敏郎
 兵庫県立尼崎総合医療センター

P-185 体格の異常を示した 8 番染色体トリソミーモザイク症候群の 2 症例

○中島啓介¹, 高橋孝治¹, 梅原真帆¹, 太田哲也¹, 福山哲広²
 JA とりで総合医療センター小児科¹, 長野県立こども病院²

P-186 環椎低形成, 環軸椎亜脱臼により上位頸髄損傷を来した 22q11.2 欠失症候群の 1 例

○鈴木洋実¹, 伊藤麻美⁴, 吉橋博史², 井原 哲³, 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科², 東京都立小児総合医療センター脳神経外科³, 平塚市民病院小児科⁴

P-187 けいれんや意識消失発作を契機に診断された 22q.11.2 欠失症候群の 2 例

○西口奈菜子, 里 龍晴, 森山 薫, 原口康平, 橋本和彦, 井上大嗣, 森内浩幸
 長崎大学病院小児科

P-188 FOXP1 を含む 3p13 領域の微細欠失を示した 4 症例における遺伝子型表現型相関解析

○山本-下島圭子^{1,2}, 松村 涉³, 岡崎哲也³, 前垣義弘³, 岡本伸彦⁴, 山本俊至²
 日本学術振興会特別研究員 RPD¹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター², 鳥取大学医学部脳神経小児科・遺伝子診療科³, 大阪母子医療センター遺伝診療科⁴

17:40~18:15 一般演題 (ポスター)..... (S421)

染色体異常 2

座長 清水健司 (埼玉県立小児医療センター)

P-189 知的障害境界域の 13 番染色体部分トリソミーモザイクの 1 例

○福興なおみ¹, 黒田 宙², 小林潤平², 安藤大祐², 笹原洋二¹, 相場節也³, 呉 繁夫¹
 東北大学医学部小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 東北大学医学部皮膚科³

P-190 大脳白質病変の経時的变化を観察した Jacobsen 症候群の一例

○藤野修平¹, 三山佐保子¹, 吉橋博史², 井原 哲³
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科², 東京都立小児総合医療センター脳神経外科³

P-191 FGF12 を含んだ縦列重複を伴うフェニトイン反応性てんかん性脳症

○菊池敦生¹, 小林朋子^{1,2}, 史 瑞明^{1,3}, 佐藤 亮¹, 植松 貢¹, 安 久美子⁴, 呉 繁夫¹
 東北大学医学部小児科¹, 東北メディカル・メガバンク機構², 西安交通大学第一附属医院小児科³, 東北大学病院診療技術部⁴

P-192 Hypotonia-cystinuria 症候群の 1 女児例

○高野亨子^{1,2}, 涌井敬子^{1,2}, 福山哲広³
 信州大学医学部遺伝医学・予防医学¹, 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター², 長野県立こども病院神経小児科³

P-193 1q24q25 微細欠失症候群の男児例における神経心理学的発達経過

○諸戸雅治^{1,2}, 全 有耳^{2,3,4}, 足立晋介², 磯田賢一^{2,5}, 奥村智人⁶, 半田淳比古⁷, 深見真紀⁸, 西村 玄⁹
 京都府中丹西保健所¹, 市立福知山市民病院小児科², 京都府立医科大学小児科³, 京都府立舞鶴こども療育センター小児科⁴, 松下記念病院小児科⁵, 大阪医科大学 LD センター⁶, アイオワ大学附属病院放射線科⁷, 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部⁸, 埼玉医科大学病院難病センター⁹

P-194 訪問診療にて医療介入を行った 18 トリソミー 7 例の検討

○雨宮 馨, 宮田章子
さいわいこどもクリニック在宅診療部

P-195 当院における 18 トリソミーの短期入所利用の現状について

○山田早彌^{1,2}, 早川美佳^{1,2}, 垂井弘志¹, 杉原 進¹, 鈴木淑子¹, 平田佑子^{1,2}, 落合幸勝¹, 今井祐之¹
東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

18:15~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S424)
電気生理

座長 加賀佳美 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

P-196 運動により両側下肢の律動性異常運動が誘発される 2 症例

○水野むつみ¹, 秋山麻里¹, 遠藤文香¹, 村上暢子², 三谷 納³, 小林勝弘¹
岡山大学病院小児神経科¹, 日本鋼管福山病院², 福山市民病院小児科³

P-197 Eyelid myoclonia with absences (EMA) が疑われた 6 歳女児例

○木戸脇智志, 磯田賢一
松下記念病院小児科

P-198 診断に Jerk-locked back averaging 法が有用であった皮質性ミオクローヌスの一例

○柿本 優¹, 森 貴幸¹, 竹中 暁¹, 下田木の実¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅²
東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学²

P-199 結節性硬化症における脳磁場計測による高周波律動の検討

○岩谷祥子^{1,2,4}, 下野九理子^{1,2,4}, 林 良子^{1,4}, 廣恒実加^{1,4}, 谷河純平^{1,4}, 富永康仁^{1,2,4}, 青天目 信^{1,4}, 押野 悟^{3,4}, 貴島晴彦^{3,4}, 大藪恵一^{1,4}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学³, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター⁴

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S425)
発達障害 4 支援・療育

座長 小倉加恵子 (森之宮病院小児神経科)

P-200 外国人発達障がい児の現状と問題点

○松林朋子¹, 山本弘一¹, 田中美智子¹, 関 安寿佳¹, 坂倉雄二¹, 平野浩一², 三枝弘和¹
JA 静岡厚生連遠州病院小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター²

P-201 発達障害児に対する一般病院での療育的介入の可能性について

○本島敏乃^{1,2}, 池田史恵³, 古市照人^{3,4}, 荒川浩一²
本島総合病院小児科¹, 群馬大学医学部小児科², 本島総合病院リハビリテーション科³, 獨協医科大学リハビリテーション科⁴

P-202 乳幼児期における感覚情報処理機能獲得の必要性に関する検討

○荒木章子, 氏家 武
氏家記念こどもクリニック

P-203 小児脳腫瘍治療後の神経心理学的合併症 - 全国脳腫瘍治療医へのアンケート調査 -

○温井めぐみ^{1,2}, 上久保 毅¹, 河村淳史¹, 吉橋 学¹, 上田敬太¹, 清谷知賀子¹, 佐藤伊織¹, 佐藤聡美¹, 西川 亮^{1,3}, 原 純一^{1,4}
日本小児がん研究グループ脳腫瘍委員会神経心理評価小委員会¹, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児言語科², 埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科³, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児血液腫瘍科⁴

P-204 地域での初診患者から発達障がい外来の必要度を考える

○赤池洋人^{1,2}, 小川えりか¹
富士宮市立病院小児科¹, 川崎医科大学小児科²

P-205 音楽療法を小児の医療現場に広めていくためには

○市田幸子¹, 吉田 登², 嶋 泰樹¹, 細澤麻里子¹, 池野 充¹, 安部信平¹, 新島新一², 清水俊明¹
順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院²

17:40~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S427)

発達障害 5 学習障害ほか

座長 服部英司 (西宮すなご医療福祉センター)

P-206 同胞発症神経発達症のうち少なくとも 1 人が発達性ディスレクシアの臨床的特徴

○巨田元礼¹, 川谷正男^{1,4}, 小坂拓也¹, 滝口慎一郎^{2,4}, 米谷 博³, 平谷美智夫⁴, 大嶋勇成¹
福井大学医学部小児科¹, 福井大学医学部子どものこころ診療部², 芳珠記念病院³, 平谷こども発達クリニック⁴

P-207 読字・書字障害を認めた中学生の 3 例

○村松明日香¹, 溝呂木園子¹, 藤岡かおる¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²

P-208 Dyscalculia の診断に向けた新しい検査法の開発に関する研究

○大羽沢子¹, 小枝達也², 前垣義弘³
鳥取大学医学部大学院医学系研究科¹, 国立成育医療研究センターこころの診療部², 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科³

P-209 学習障害をもつ極低出生体重児の視覚認知機能

○福井美保¹, 島川修一¹, 畑中マリ¹, 水田めぐみ², 栗本奈緒子², 竹下 盛², 三浦朋子³, 奥村智人², 中西 誠², 若宮英司⁴, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 大阪医科大学 LD センター², 堺清恵会 LD センター³, 藍野大学医療保健学部看護学科⁴

P-210 発達障害診療において卒業できた 2 例

○栗原亜紀, 佐々木香織, 小森穂子
都立多摩療育園小児科

18:05~18:40 一般演題 (ポスター)..... (S429)

発達障害 6 ADHD

座長 横山浩之 (福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター)

P-211 小児期 ADHD における薬剤選択の検討

○鈴木雄一^{1,2}, 野寺真樹¹, 森田浩之², 加藤朝子¹, 川崎幸彦¹, 細矢光亮¹
福島県立医科大学小児科¹, 福島県総合療育センター²

P-212 当院における guanfacine の効果と副作用の検討

○熊谷淳之¹, 星野恭子^{1,2}
藤枝市立総合病院小児科¹, 医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック²

P-213 当院における AD/HD 治療薬の現状

○鈴木輝彦, 朝比奈美輝, 遠藤雄策, 平野浩一
浜松市発達医療総合福祉センター小児科

P-214 当院における注意欠如・多動症 (ADHD) 児への guanfacine の治療経験

○泉 鉦吉¹, 丸山隆子², 星野恭子^{1,3}
国立病院機構南和歌山医療センター小児科¹, 国立病院機構南和歌山医療センター臨床心理士², 医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック³

P-215 小児 ADHD 治療薬グアンファシンの臨床効果研究 53 例をもとにして

○原田剛志
医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック

P-216 日本版スコアシートを用いた ADHD-RS スコアの判定

○絹笠英世, 中村由里, 多田有美, 牧 たか子
筑波学園病院小児科

P-217 Guanfacine により発達性協調運動障害が迅速に, 著明に改善した ASD 合併 ADHD 男児例

○渡邊誠司, 奥村良法, 玉利明信, 村上智美
静岡県立こども病院神経科

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S431)

てんかん・けいれん 8 熱性けいれん けいれん重積

座長 中澤友幸 (東京都保健医療公社豊島病院小児科)

P-218 頻回熱性けいれん症例での抗てんかん薬内服継続期間, 脳波を行うべき時期の検討

○高橋孝治, 中島啓介, 太田哲也
JA とりで総合医療センター小児科

P-219 複雑型熱性けいれんの急性期の臨床経過の特徴
 ○田中 司^{1,2}, 永瀬裕朗¹, 富岡和美¹, 西山将広¹, 山口 宏^{1,2}, 石田悠介^{1,2}, 豊嶋大作², 丸山あずさ², 黒澤寛史³, 藤田杏子⁴, 上谷良行⁴, 高田 哲⁵, 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科², 兵庫県立こども病院小児集中治療科³, 兵庫県立こども病院救急総合診療科⁴, 神戸大学大学院保健学研究科⁵

P-220 発熱に伴う難治性てんかん重積状態に対するバルビツレート昏睡療法の最適な鎮静深度に関する多施設共同研究
 ○富岡和美¹, 永瀬裕朗¹, 田中 司¹, 西山将広¹, 起塚 庸², 高見勇一³, 山口 宏⁴, 石田悠介⁴, 豊嶋大作⁴, 丸山あずさ⁴, 黒澤寛史⁵, 藤田杏子⁶, 上谷良行⁶, 高田 哲⁷, 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 高槻病院小児科², 姫路赤十字病院小児科³, 兵庫県立こども病院神経内科⁴, 兵庫県立こども病院小児集中治療科⁵, 兵庫県立こども病院救急総合診療科⁶, 神戸大学大学院保健学研究科⁷

P-221 治療抵抗性有熱時けいれん重積を来した結節性硬化症の 1 例
 ○沼本真吾, 倉橋宏和, 佐久間 肇, 奥村彰久
 愛知医科大学小児科

P-222 Microglial VNUT derived ATP mediates astrogliosis-dependent epileptogenesis after status epilepticus
 ○佐野史和^{1,2}, 繁富英治¹, 小泉修一¹, 金村英秋², 池中一裕³, 田中謙二⁴, 相原正男²
 山梨大学医学部薬理学¹, 山梨大学医学部小児科², 自然科学研究機構生理学研究所分子神経生理研究部門³, 慶應義塾大学医学部精神神経科⁴

P-223 過剰な水分摂取によりけいれん重積をきたした乳児例
 ○福島富士子¹, 田中竜太¹, 木村仁美², 出澤洋人¹, 塚田裕伍¹, 鈴木竜太郎¹, 佐藤琢郎¹, 岩淵恵美¹, 泉 維昌¹
 茨城県立こども病院小児科¹, 茨城県立こども病院成育在宅支援室²

17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S433)

てんかん・けいれん 9 治療 その他

座長 平澤恭子 (東京女子医科大学病院小児科)

P-224 ステロイドパルス療法とブランルカスト内服で治療終結に至った難治てんかんの 1 例
 ○北原 光, 高橋幸利, 堀野朝子, 吉富晋作, 美根 潤, 山口解冬, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科

P-225 プログラフが有効であった局在関連性てんかんの一例
 ○大谷英之¹, 高山留美子², 長瀬朋子¹, 北原 光¹, 森岡景子¹, 大松泰生¹, 吉富晋作¹, 小池敬義¹, 堀野朝子¹, 美根 潤¹, 山口解冬¹, 池田浩子¹, 重松秀夫¹, 今井克美¹, 高橋幸利¹
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 北海道立子ども総合医療・療育センター²

P-226 TRH 療法が著効した Infantile Spasms を呈したメンケス病の一例
 ○短田浩一, 小谷敦奈, 宮本洋輔, 菅原由実菜, 西村 陽
 京都第一赤十字病院小児科

P-227 精神療法が有効であった心因性非てんかん性発作の患者 7 例の検討
 ○平野嘉子, 丸山 博
 松戸クリニック

P-228 甘麦大棗湯がチック以上にてんかんに有効であった男児例
 ○橋本修二
 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

P-229 Shuddering attacks に対する抗てんかん薬治療の有効性
 ○伊藤 康^{1,2,3}, 小國弘量¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 総合母子保健センター愛育病院小児科², 土屋小児病院³

18:10~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S435)

てんかん・けいれん 10 治療 ケトン食

座長 南 弘一 (和歌山県立医科大学小児科)

P-230 ケトン食療法開始後に脳波所見の悪化を認めたグルコーストランスポーター 1 欠損症の 1 例
 ○小林 梢, 加藤光広, 北條 彰, 田角 勝
 昭和大学医学部小児科

- P-231 **ケトン食療法が有効であった後期ダンピング症候群を合併した睡眠期てんかん放電重積状態症候群の 1 例**
 ○森川愛美¹, 本林光雄², 大澤由寛³, 那須野 将¹, 夏目岳典¹, 稲葉雄二⁴
 信州大学医学部小児科¹, 信州大学医学部新生児学・療育学講座², 信州大学医学部卒後臨床研究センター³, 長野県立こども病院神経小児科⁴
- P-232 **脳腫瘍に対してケトン食を用いて治療を試みた 1 例**
 ○井上賢治, 熊田知浩, 柴田 実, 日衛嶋郁子, 野崎章仁, 林 安里, 森 未央子, 佐々木彩恵子, 藤井達哉
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- P-233 **ケトン食療法が有効であった大田原症候群合併の PDHC 欠損症の一例**
 ○當山真紀¹, 仲村貞郎¹, 浜田有為子¹, 知念安紹¹, 竹下絵里^{2,3}, 後藤雄一², 中西浩一¹
 琉球大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S436)

- てんかん・けいれん 11 その他 症例**
 座長 小俣 卓 (千葉県こども病院神経科)
- P-234 **けいれんで発症した致死性不整脈の 2 例**
 ○小川恵梨¹, 大木寛生², 澁谷和彦², 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター循環器科²
- P-235 **てんかん発作増悪とともに学童期に退行を認めた 15 番染色体部分重複 (テトラソミー) の 1 例**
 ○渡辺陽和, 平野翔堂
 市立豊中病院小児科
- P-236 **頻回の発作により知能低下を認めた小児欠神てんかんの一例**
 ○伊藤麻美^{1,2}, 藤野修平¹, 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 平塚市民病院小児科²
- P-237 **ルフィナミドの中止により発作群発が改善した難治てんかんの一例**
 ○鈴木聖子, 友納優子, 藤田弘之
 北九州市立総合療育センター小児科
- P-238 **良性乳児部分てんかんの臨床的検討**
 ○永井盛博, 桐野友子, 藤原由美, 藤井朋洋
 四国こどもとおとなの医療センター
- P-239 **当院におけるてんかんとアレルギー疾患の合併についての検討**
 ○中村拓自¹, 松尾宗明²
 国立病院機構嬉野医療センター小児科¹, 佐賀大学医学部附属病院小児科²

17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S438)

- てんかん・けいれん 12 その他 West 症候群**
 座長 阿部裕一 (埼玉医科大学小児科)
- P-240 **ACTH 療法中に高カルシウム血症を来した一例**
 ○緒方怜奈, 安永由紀恵, 渡辺恭子
 国立病院機構小倉医療センター
- P-241 **ACTH 療法に伴う高血圧の検討**
 ○坂本正宗¹, 藤原 祐^{1,2}, 立石 格¹, 田中文子¹, 蒲 ひかり², 池田 梓², 渡辺好宏², 武下草生子²
 済生会横浜市南部病院小児科¹, 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター²
- P-242 **重症肺炎後に自然寛解した West 症候群の 1 例**
 ○五十嵐鮎子^{1,2}, 嶋 泰樹¹, 吉田 登³, 中澤美賀¹, 池野 充¹, 安部信平¹, 中澤友幸¹, 新島新一³, 清水俊明¹
 順天堂大学小児科¹, 東京臨海病院小児科², 順天堂練馬病院小児科³
- P-243 **West 症候群を合併した Xp21.1 微細欠失による Duchenne 型筋ジストロフィーの 1 例**
 ○夏目岳典¹, 柴 直子¹, 那須野 将¹, 柳沢俊光¹, 本林光雄^{1,2}, 高野亨子^{3,4}, 涌井敬子^{3,4}, 稲葉雄二^{1,5,6}
 信州大学医学部小児科¹, 信州大学医学部新生児学療育学講座², 信州大学医学部遺伝医学予防医学教室³, 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター⁴, 長野県立こども病院神経小児科⁵, 信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター⁶

- P-244 **West 症候群に対する脳梁離断術後にみられる非対称性てんかん性スパズム**
 ○内田大貴^{1,2}, 小野智憲^{1,2}, 本田涼子^{1,3}, 渡邊嘉章^{1,3}, 戸田啓介⁴, 馬場啓至⁵
 国立長崎医療センターてんかんセンター¹, 国立長崎医療センター脳神経外科², 国立長崎医療センター小児科³, 国立長崎川棚医療センター脳神経外科⁴, 西諫早病院てんかんセンター⁵
- P-245 **バルプロ酸異常高値から好中球減少症を呈した West 症候群を伴う SCAD 欠損症の 1 乳児例**
 ○鈴木悠貴¹, 伊藤 進¹, 大谷ゆい¹, 衛藤 薫¹, 原 圭一², 小國弘量¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 呉医療センター小児科²

18:10~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S440)

- てんかん・けいれん 13 その他 薬物動態・副作用**
 座長 吉川秀人 (あたご子どもクリニック)
- P-246 **酵素誘導抗てんかん薬投与が小児における代謝機能に及ぼす影響**
 ○吉田 登¹, 中澤友幸², 新島新一¹, 清水俊明³
 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科¹, 東京都保健医療公社豊島病院², 順天堂大学医学部小児科³
- P-247 **てんかん患者におけるバルプロ酸投与時の血液学的変化に関する検討**
 ○岡 桃子, 松重武志, 向野文貴, 井上裕文, 星出まどか, 長谷川俊史
 山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科
- P-248 **フェノバルビタール長期服用者における潜在的な薬物性肝障害**
 ○八谷靖夫, 関 千夏, 関 ひろみ
 国立病院機構東長野病院小児科
- P-249 **小児てんかん患者における肥満合併の検討**
 ○池田ちづる, 福岡真実, 橘 秀和, 榎木 仁, 岡田拓巳, 島津智之, 上野弘恵, 今村穂積
 国立病院機構熊本再春荘病院小児科
- P-250 **MR spectroscopy で定量的に脳内 γ -アミノ酪酸 (GABA) 濃度を測定しえた vigabatrin-induced encephalopathy の 1 例**
 ○山本亜矢子¹, 後藤知英¹, 熊木達郎¹, 成 健史¹, 露崎 悠¹, 市川和志¹, 辻 恵¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 藤井裕太², 富安もよこ²
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター放射線科²

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S442)

- てんかん・けいれん 14 治療 新規抗てんかん薬**
 座長 白石秀明 (北海道大学病院小児科)
- P-251 **バルプロ酸, レベチラセタムを第一選択として使用したてんかん症例の臨床像の検討**
 ○野村昇平¹, 柏木 充¹, 大場千鶴¹, 田辺卓也², 玉井 浩³
 市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経科², 大阪医科大学小児科³
- P-252 **当科におけるレベチラセタムの使用経験**
 ○平出拓也, 漆畑 伶, 林 泰壽, 松林朋子, 福田冬季子
 浜松医科大学医学部小児科
- P-253 **欠神発作重積状態にレベチラセタム静注が有効であった 1 症例**
 ○野々山葉月^{1,2}, 松浦隆樹³, 池本 智³, 浜野晋一郎³
 厚木市立病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター³
- P-254 **レベチラセタムへの投薬の変更が副作用軽減に有用であったてんかんの 1 例**
 ○岸 高正
 国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科
- P-255 **小児焦点性てんかんにおけるラコサミドの有効性と安全性**
 ○森 貴幸¹, 柿本 優¹, 葛西真梨子¹, 竹中 暁¹, 下田木の実¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅²
 東京大学医学部小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科国際保健学²
- P-256 **難治てんかんに対する lacosamide の有効性について**
 ○栗嶋勇也¹, 根津敦夫¹, 新井ひでえ¹, 黒澤真紀子¹, 増田由香¹, 湯口慈雨¹, 三浦直子¹, 喜多麻衣子²
 横浜医療福祉センター港南神経小児科¹, 横浜医療福祉センター港南小児科²

17:40~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S444)

てんかん・けいれん 15 その他 予後

座長 齋藤貴志 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

P-257 小児てんかん患者の発作予後

○高見勇一, 中川 卓

姫路赤十字病院小児科

P-258 Epileptic spasms を有する症例における発達予後: GluN2B 抗体との関連

○堀野朝子, 高橋幸利, 北原 光, 長瀬朋子, 森岡景子, 大松泰生, 小池敬義, 吉富晋作, 山口解冬, 美根 潤, 池田浩子, 大谷英之, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史

NHO 静岡てんかん・神経医療センター

P-259 Dravet 症候群 発症~成人期までのてんかん発作の長期経過

○伊藤智城^{1,2}, 河野 修¹, 生田目紀子¹, 江川 潔¹, 朝比奈直子¹, 香坂 忍¹, 白石秀明¹

北海道大学病院小児科¹, 市立札幌病院小児科²

P-260 小児局在関連てんかんの初期治療反応性と長期予後との関連

○亀井さやか^{1,2}, 佐野史和¹, 金村英秋¹, 相原正男³

山梨大学医学部小児科¹, 都留市立病院小児科², 山梨大学大学院総合研究部³

P-261 小児てんかんの適応行動に関わる要因の検討: 予備的研究

○上田理誉¹, 加賀佳美¹, 竹下絵里², 本橋裕子², 石山昭彦², 齋藤貴志², 小牧宏文², 中川栄二², 須貝研司², 佐々木征行², 稲垣真澄¹

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科²

18:05~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S446)

自律神経・頭痛

座長 疋田敏之 (帝京大学小児科, ひきた小児科クリニック)

P-262 頭痛精査目的に頭部 MRI を施行した小児例の検討

○小林 悟

名古屋市立西部医療センター小児科

P-263 頭痛に対し予防薬投与を行った小児 14 例についての検討

○小俣優子¹, 高橋喜子¹, 中澤僚子¹, 渡辺 淑², 児玉一男², 青山弘美², 小俣 卓²

誠馨会千葉メディカルセンター¹, 千葉県こども病院小児神経科²

P-264 意識障害を主症状とした周期性嘔吐症

○澤田貴彰^{1,2}, 百崎 謙², 小篠史郎², 野村恵子²

国保水俣市立総合医療センター小児科¹, 熊本大学医学部小児科²

P-265 Lamotrigine が著効した小児周期性嘔吐症の二例

○佐々木宏太¹, 熊倉 啓¹, 石嶺理枝¹, 中田昌利², 秦 大資¹

田附興風会医学研究所北野病院小児科¹, 京都大学大学院医学研究科生態構造医学講座形態形成機構学研究室²

P-266 成長痛の患者の臨床像と両親のレストレスレッグス症候群についての検討

○荻田佳織^{1,2,3}, 疋田敏之^{1,2}, 三牧正和¹

帝京大学医学部小児科¹, ひきた小児科クリニック², 心身障害児総合医療療育センター³

P-267 起立性調節障害の睡眠ポリグラフィーを用いた新たなアプローチ

○石井隆大, 須田正勇, 弓削康太郎, 永光信一郎, 山下裕史朗

久留米大学医学部小児科

17:10~17:45 一般演題 (ポスター)..... (S448)

末梢神経

座長 武下草生子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター・小児総合医療センター)

P-268 兄弟で急性脳症に罹患したことから基礎疾患を疑い診断に至った X 連鎖 Charcot-Marie-Tooth 病の 1 例

○伊藤 研^{1,2}, 古河賢太郎^{1,2}, 木下美沙子^{1,2}, 菊池健二郎²

東京慈恵会医科大学小児科¹, 富士市立中央病院²

P-269 発熱後の一過性の筋力低下を繰り返すことから診断に至った Charcot-Marie-Tooth 病の難聴を伴う兄弟例

○西倉紀子¹, 森宗孝夫¹, 松井 潤¹, 底田辰之¹, 澤井ちひろ¹, 阪上由子¹, 竹内義博¹, 丸尾良浩¹, 樋口雄二郎², 橋口昭大², 高嶋 博²

滋賀医科大学小児科¹, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年病学分野²

- P-270 乳児期発症の MPZ 遺伝子変異を認めた Charcot-Marie-Tooth 病 1B の 1 例
○須田正勇¹, 石井隆大¹, 弓削康太郎¹, 永光信一郎¹, 橋口昭大², 高嶋 博², 山下裕史朗¹
久留米大学小児科¹, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経内科老年病学講座²
- P-271 ヒトパルボウイルス B19 の感染後に発症し自律神経症状を伴う重症 Guillain-Barre 症候群の 1 男児例
○長濱 潤¹, 丸山慎介¹, 馬場悠生¹, 米衛ちひろ², 鮫島希代子², 四俣一幸³, 佐野のぞみ²,
河野嘉文¹
鹿児島大学医学部小児科¹, 国立病院機構南九州病院小児科², 鹿児島市立病院小児科³
- P-272 小児期にフィッシャー症候群を再発した 1 例
○岡田健太郎¹, 武藤雄一郎¹, 平井克樹¹, 和田邦泰², 右田昌宏¹
熊本赤十字病院小児科¹, 熊本赤十字病院神経内科²
- P-273 Critical illness polyneuropathy and myopathy の 2 症例
○内田智子, 藤井克則, 長岡孝太, 小林弘信, 奥主健太郎, 齋藤直樹, 江畑亮太, 塩浜 直, 下条直樹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-274 汎発性脱毛症を伴った CIDP の女児一例
○大久保幸宗¹, 佐々木和人², 宮林拓矢¹, 佐藤 亮¹, 鈴木 智¹, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹,
富樫紀子¹, 萩野谷和裕¹
宮城県立こども病院神経科¹, 石巻赤十字病院小児科²

17:45~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S450)

形態・病理

座長 伊住浩史 (鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)

- P-275 NASH による肝硬変で死亡した重症心身障害者の 1 剖検例
○大越優美¹, 富永恵子¹, 永田仁郎¹, 田沼直之¹, 福水道郎¹, 新井信隆², 猪狩 亨³
都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所神経病理解析室², 国立国際医療研究センター病理部³
- P-276 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの剖検 3 例における中枢神経障害の検討
○石垣英俊, 小牧宏文, 竹下絵里, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 中川栄二, 須貝研司, 齋藤祐子,
佐々木征行
国立精神神経医療研究センター病院小児神経科
- P-277 ミオチューブラーミオパチーに伴う肝紫斑病の剖検例
○家田大輔¹, 服部文子¹, 堀 いくみ¹, 中村勇治¹, 根岸 豊¹, 遠藤 剛¹, 安藤直樹¹, 藤井香那²,
村瀬貴幸², 稲垣 宏², 埜中征哉³, 齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床病態病理学², 国立精神・神経医療研究センター病院³
- P-278 ヒト上丘の胎生期発達について: 形態学的検討
○山口勝之
獨協医科大学病理学

18:05~18:40 一般演題 (ポスター)..... (S451)

画像

座長 大場 洋 (帝京大学放射線科)

- P-279 急性脳症に対する Arterial spin labeling (ASL) の有用性の検討
○伊藤正範¹, 桑原こずえ¹, 福田光成², 元木崇裕³
愛媛県立中央病院小児科¹, 愛媛県立新居浜病院小児科², 愛媛大学附属病院小児科³
- P-280 乳児虐待 6 例の頭部画像の検討
○石嶺里枝, 熊倉 啓, 佐々木宏太, 秦 大資
田附興風会医学研究所北野病院小児科
- P-281 MRI で脊髄後索に病変を認めた急性小脳失調の一例.
○松永愛香, 四俣一幸
鹿児島市立病院小児科
- P-282 Sturge-Weber 症候群 3 型との鑑別が困難だった脳軟膜メラノーマトーシスの一例
○山内翔子¹, 福山哲広¹, 服部有香¹, 中嶋英子¹, 三澤由佳¹, 稲葉雄二¹, 細谷まち子²
長野県立こども病院¹, (JA 長野厚生連) 佐久総合病院²
- P-283 胎児期に発見された半球間裂くも膜嚢胞の 1 例
○宮本洋輔, 小谷敦奈, 菅原由実菜, 短田浩一, 西村 陽
京都第一赤十字病院小児科

P-284 FCD Type 1 は MRI で「見える」か?

○山口解冬, 九鬼一郎, 東本和紀, 渡辺陽和, 堀野朝子, 吉富晋作, 高山留美子, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 高橋幸利, 白井直敬, 松田一己, 井上有史
NHO 静岡てんかん神経医療センター

P-285 先天性サイトメガロウイルス感染症における海馬形成異常と自閉スペクトラム症の関連

○夏目岳典¹, 那須野 将¹, 柳沢俊光¹, 柴 直子¹, 本林光雄^{1,2}, 稲葉雄二^{1,3,4}
信州大学医学部小児科¹, 信州大学医学部新生児学療育学講座², 長野県立こども病院神経小児科³, 信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター⁴

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S454)

筋肉 1

座長 石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

P-286 脳梗塞を合併したデュシェンヌ型筋ジストロフィーの 2 例

○野崎章仁, 熊田知浩, 柴田 実, 井上賢治, 佐々木彩恵子, 林 安里, 藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-287 ジストロフィン症患者における脊柱側弯と歩行喪失年齢の関連に関する検討

○村上てるみ^{1,2}, 田村拓久¹, 鈴木幹也¹, 門間一成¹, 重山俊喜³, 生田目禎子¹, 若林由佳¹, 森本耕平¹, 谷田部可奈¹, 尾方克久¹
国立病院機構東埼玉病院神経内科¹, 東京女子医科大学小児科², 国立病院機構東埼玉病院循環器科³

P-288 新規変異を同定した重症型 LMNA-related congenital muscular dystrophy の一例

○李 知子¹, 下村英毅¹, 牟禮慎子¹, 三崎真生子¹, 香田 翼¹, 柴田暁男¹, 川本久美¹, 岡田陽子², 小泉真琴², 伊東恭子³, 竹島泰弘¹
兵庫医科大学小児科¹, 兵庫県立西宮病院小児科², 京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学³

P-289 進行性の小脳萎縮を伴い診断に難渋した CFTD の一例

○仲村貞郎¹, 當山真紀¹, 浜田有為子¹, 知念安紹¹, 西野一三², 中西浩一¹
琉球大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²

P-290 福山型筋ジストロフィーのウィルス感染に伴う横紋筋融解症に早期治療介入を行った一例

○竹内博一¹, 大場温子¹, 菊池健二郎², 和田靖之¹
東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学講座²

P-291 フクテン遺伝子の非挿入型変異の複合ヘテロ接合による重度心不全を呈した拡張型心筋症 (DCM1X) の 1 例

○柴 直子^{1,2}, 中村昭則^{3,4}, 小澤哲夫^{5,6}, 木村和広⁷, 元木博彦⁷, 桑原宏一郎⁷, 那須野 将², 竹内史穂子², 夏目岳典², 柳沢俊光², 本林光雄², 福山哲広⁸, 稲葉雄二⁸
信州大学医学部再生医科学教室¹, 信州大学医学部小児科², 信州大学医学部第三内科³, 国立病院機構まつもと医療センター神経内科⁴, 国立病院機構新潟病院内科⁵, 国立病院機構新潟病院臨床研究部臨床遺伝研究室⁶, 信州大学医学部循環器内科⁷, 長野県立こども病院神経小児科⁸

17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S456)

SMA

座長 西尾久英 (神戸大学大学院医学研究科)

P-292 3 歳以下でヌシネルセンを開始した脊髄性筋萎縮症 1 型, 2 型の治療経過

○戸澤雄紀¹, 千代延友裕¹, 長谷川龍志¹, 吉田路子¹, 高井あかり¹, 阪上智俊¹, 全 有耳¹, 森田高史², 森本昌史¹
京都府立医科大学小児科¹, 京都中部総合医療センター小児科²

P-293 ヌシネルセン投与中の脊髄性筋萎縮症 1 型男児例の 8 ヶ月間の経過

○田島大輔, 辻 功介, 田代克弥
唐津赤十字病院小児科

P-294 脊髄性筋萎縮症に対する治療効果評価方法開発の取り組み

○弓削康太郎¹, 須田正勇¹, 石井隆大¹, 盛崎俊浩¹, 永光信一郎¹, 吉田 索², 八木 実², 山下裕史朗¹
久留米大学小児科¹, 久留米大学小児外科²

P-295 SMN ハイブリッド遺伝子を有する脊髄性筋萎縮症 2/3 型の一例

○杉本真里¹, 佐久間 肇¹, 相場佳織¹, 戸川泰子¹, 小山典久¹, 横地健治², 西尾久英³
豊橋市民病院小児科¹, 聖隷三方原病院小児科², 神戸大学大学院医学研究科地域社会医学健康科学講座疫学分野³

P-296 足趾と手指の壊死を併発した重症脊髄性筋萎縮症 1 型の 1 例
○稲見茉莉, 島崎真希子, 宮田世羽, 中川美和, 大熊こずえ, 田中佐門, 楊 國昌
杏林大学医学部小児科

P-297 新生児期から眼球運動障害を合併した脊髄性筋萎縮症 0 型の一例
○辻 百衣璃, 山下文也, 前田謙一, 中村涼子, チョンピンフィー, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科

18:10~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S458)
筋肉 2

座長 衛藤 薫 (東京女子医科大学病院)

P-298 サイアザイド系利尿薬ハイドロクロロチアジドが有効であった正カリウム性周期性四肢麻痺の家族例
○赤羽裕一¹, 佐々木吉明¹, 梶野浩樹¹, 高橋 悟²
JA 北海道厚生連網走厚生病院小児科¹, 旭川医科大学病院小児科²

P-299 カルバマゼピンとアセタゾラミドが有効だった先天性ミオトニア
○市川和志¹, 熊木達郎¹, 山本亜矢子¹, 成 健史¹, 露崎 悠¹, 辻 恵¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹,
黒澤健司², 後藤知英¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター遺伝科²

P-300 発作性運動誘発性ジスキネアと鑑別が必要であったミオトニアの 1 家系
○渡辺 淑¹, 青山弘美¹, 児玉一男¹, 朽方豊夢², 小俣 卓¹
千葉県こども病院神経科¹, 千葉県こども病院遺伝科²

P-301 Bethlem ミオパチー患者における足トラブルとフットケアに関して
○石黒久美子¹, 石垣景子¹, 佐藤孝俊¹, 七字美延¹, 村上てるみ^{1,2}, 西野一三³, 森 まどか⁴,
永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 国立病院機構東埼玉病院神経内科², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部³, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科⁴

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S459)
脳炎・脳症 2 AESD

座長 菊池健二郎 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)

P-302 けいれん重積型急性脳症における KCNQ2 遺伝子の解析
○柴田明子^{1,2}, 齋藤真木子², 松本 浩³, 山崎佐和子⁴, 星野 愛¹, 石井敦士⁵, 廣瀬伸一⁵, 岡 明²,
水口 雅¹

東京大学大学院医学系研究科発達医科学¹, 東京大学医学部小児科², 防衛医科大学校小児科³, 新潟南病院小児科⁴, 福岡大学小児科⁵

P-303 当院における二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) 6 例の後方視的検討
○川口達也, 榊原崇文, 嶋 緑倫
奈良県立医科大学小児科

P-304 熱性けいれん重積とけいれん重積型脳症における血糖値の検討
○林田拓也¹, 松村 渉¹, 齋藤義朗¹, 前垣義弘¹, 戸川雅美²
鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立中央病院²

P-305 有熱時の非遷延性痙攣後に頭在化する急性脳症の臨床経過
○菅原祐之, 竹田清香, 長谷川 毅
草加市立病院小児科

P-306 BRAF 関連 cardio-facial-cutaneous syndrome に合併した急性脳症の一例
○奥園清香¹, 酒井康成¹, 野田麻里絵², 李 守永³, 深井綾子⁴, 三宅紀子⁴, 實藤雅文¹, 赤峰 哲¹,
石崎義人¹, 鳥巢浩幸¹, 吉良龍太郎³, 松本直通⁴, 大賀正一¹
九州大学医学部小児科¹, 福岡歯科大学², 福岡市立こども病院³, 横浜市立大学遺伝学⁴

P-307 けいれん重積型脳症と熱性けいれん重積の半球間における位相差
○大栗聖由¹, 齋藤義朗², 瀬島 齊³, 鳥巢浩幸⁴, 李 守永⁵, 岡西 徹⁶, 廣岡保明¹, 前垣義弘²
鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科学², 松江赤十字病院小児科³, 福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野⁴, 福岡市立こども病院⁵, 聖隷浜松病院小児神経科⁶

17:40~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S461)

脳炎・脳症 3 検査

座長 柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)

P-308 けいれん重積型急性脳症 (AESD) の回復期にスパズムを合併した 2 例

○座波清誉, 植松賢司, 中村康子, 松本 浩

防衛医科大学校小児科

P-309 けいれん重積型急性脳症急性期における頭部 MRI の Arterial-Spin-Labeling (ASL) 法の検討

○土江宏和¹, 林田拓也¹, 山田博之¹, 松村 涉¹, 斎藤義朗¹, 前垣義弘¹, 原口康平², 西口奈菜子², 橋本和彦², 里 龍晴²

鳥取大学医学部付属病院脳神経小児科¹, 長崎大学医学部付属病院小児科²

P-310 小児急性脳症における頭部 MRI 3D-arterial spin labeling (3D ASL) による局所脳血流解析

○漆畑 倫, 林 泰壽, 平出拓也, 福田冬季子

浜松医科大学小児科

P-311 急性脳症における髄液アミノ酸検査の検討

○熊木達郎, 山本亜矢子, 成 健史, 露崎 悠, 市川和志, 辻 恵, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知秀
神奈川県立こども医療センター神経内科

P-312 脳症症例における来院後早期の心拍数の変化と予後に関する検討

○沖田 空, 金川温子, 中尻智史, 佐々木香織, 西山敦史, 親里嘉展

加古川中央市民病院小児科

P-313 当院で経験した急性壊死性脳症 12 例の臨床的検討

○守谷充司, 鈴木力生, 北村太郎, 西尾利之, 高柳 勝, 大浦敏博

仙台市立病院小児科

18:10~18:40 一般演題 (ポスター)..... (S463)

脳炎・脳症 4 その他

座長 今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)

P-314 頭部 MRI 3 方向撮影により障害部位を説明しえた辺縁系脳炎の 1 例

○衣斐恭介¹, 藤井克則², 荒川真梨子¹, 浅倉佑太¹, 井口晃宏¹, 種瀬秀一¹, 藤部ゆり¹, 小林宏伸¹, 仙田昌義¹, 北澤克彦¹, 本多昭仁¹

総合病院国保旭中央病院小児科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児科²

P-315 短期記憶障害を呈した単純ヘルペスウイルスによる辺縁系脳炎の 8 歳女児例

○松井美樹¹, 山本和宏¹, 宇都宮英綱³, 大西 聡^{1,2}, 来田路子¹, 橋村裕也¹, 起塚 庸^{1,2}, 内山敬達¹, 南 宏尚¹

高槻病院小児科¹, 高槻病院小児集中治療科², 高槻病院小児神経センター³

P-316 可逆性脳梁膨大部病変をみとめ, 多彩な神経症状を呈した 1 例

○大橋 伯¹, 山崎佐和子², 古寺一樹²

新潟大学医歯学総合病院小児科¹, 新潟南病院小児科²

P-317 一過性に中枢性尿崩症を認めたヒトパレコウイルス 3 型脳炎の 1 例

○荒井勇人, 二階堂弘輝, 小関直子, 渡邊年秀

北海道立子ども総合医療・療育センター神経科

P-318 新生児期発症の先天性副腎皮質過形成関連脳症の病態に関する考察

○佐々木万里恵¹, 武内俊樹¹, 坂口友理^{1,2}, 高橋孝雄¹

慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター²

P-319 発症時, 脳炎/脳症を疑った ROHHAD (Rapid-onset Obesity, Hypoventilation, Hypothalamic and Autonomic Dysfunction) 症候群の 3 例

○池田 妙, 中島 健, 中井理恵, 大星大観, 木水友一, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏

大阪母子医療センター

17:10~17:40 一般演題 (ポスター)..... (S465)

血管障害

座長 下川尚子 (佐賀大学医学部脳神経外科)

P-320 雷鳴頭痛を約 3 ヶ月にわたって反復した, 非典型的な可逆性脳血管攣縮症候群が疑われた 1 例

○青木雄介¹, 小島泰子¹, 跡部真人¹, 鈴木基正¹, 糸見和也¹, 大澤弘勝²

あいち小児保健医療総合センター神経科¹, あいち小児保健医療総合センター脳神経外科²

- P-321 動静脈シャントを伴う発生的静脈形成異常の 5 歳女児例**
 ○園田有里^{1,2}, 一宮優子^{1,3}, 有村公一⁴, 赤峰 哲¹, 鳥尾倫子¹, 石崎義人¹, 實藤雅文¹, 酒井康成^{1,2}, 大賀正一¹
 九州大学大学院成長発達医学分野¹, 九州大学環境発達医学研究センター小児科², 九州大学病院救命救急センター³, 九州大学病院脳神経外科⁴
- P-322 中心髄質静脈の血栓化をきたし痙攣で発症した髄質静脈奇形の 1 例**
 ○仲宗根瑠花¹, 宇都宮英綱², 影山 悠³, 原田敦子², 福屋章悟⁴, 前野和重⁴, 来田路子¹, 大西 聡¹, 橋村裕也¹, 内山敬達¹, 起塚 庸¹, 南 宏尚¹
 高槻病院小児科¹, 高槻病院小児神経センター², 高槻病院小児脳神経外科³, 高槻病院脳神経外科⁴
- P-323 re-build up 以外の脳波所見よりもやもや病が疑われた 2 症例**
 ○大津真優^{1,2}, 田中文字子¹
 済生会横浜市南部病院¹, 聖テレジア会重症心身障害児者施設小さき花の園²
- P-324 脳梗塞様発作後に、頭部 MRI で皮質下白質から深部白質にかけての拡散障害を認めた Sturge-Werber Syndrome の男児例**
 ○前田謙一, 山下文也, 中村涼子, Pin Fee Chong, 吉良龍太郎
 福岡市立こども病院小児神経科
- P-325 椎間突起形成不全による環軸関節亜脱臼に起因した多発脳梗塞の一例**
 ○橋本和彦, 種岡飛翔, 西口奈菜子, 里 龍晴, 森内浩幸
 長崎大学病院小児科

17:40~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S467)

脳外科領域

- 座長 稲垣隆介 (茨城県立こども病院小児脳神経外科)
- P-326 乳児期発症の特発性頭蓋内圧亢進症の一例**
 ○山下文也, 前田謙一, 中村涼子, Pin Fee Chong, 吉良龍太郎
 福岡市立こども病院小児神経科
- P-327 外傷機転を認めず診断に苦慮した脳脊髄液漏出症の 1 女児例**
 ○谷 麻里¹, 富田理絵², 小谷野 薫¹, 小西行彦¹, 西田智子³, 日下 隆¹
 香川大学医学部小児科¹, 小豆島中央病院², 香川大学教育学部特別支援教育³
- P-328 外傷による急性硬膜下血腫の血腫遷延と症状の進行から診断された先天性第 11 因子欠損症の 1 例**
 ○杉山延喜¹, 池上真理子^{1,2}, 海賀千波¹, 宮下好洋¹, 松田晋一¹
 東海大学医学部専門診療学系小児科¹, 東海大学医学部八王子病院小児科²
- P-329 腰椎穿刺後の髄液漏による症状を呈した 3 例の検討**
 ○北見欣一, 伊藤麻美, 森 貴幸, 三山佐保子
 東京都立小児総合医療センター神経内科
- P-330 キアリ奇形 II 型にともなった重症中枢性無呼吸と嚥下障害の経過を追えた一症例**
 ○佐野のぞみ¹, 米衛ちひろ¹, 松藤まゆみ¹, 藤尾信吾², 大吉達樹²
 国立病院機構南九州病院小児科¹, 鹿児島大学病院脳神経外科²

第 3 日目 第 1 会場

- 9:20~10:20 特別講演 2 (S118)
 福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明と治療をめざして
 座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
 講演 戸田達史 (東京大学大学院医学系研究科神経内科学)
- 10:30~12:10 シンポジウム 22 (S192)
 小児神経科医師に必要な頭部外傷の知識 虐待の視点から
 座長 柳川敏彦 (和歌山県立医科大学)
 小川 厚 (福岡大学筑紫病院)
- 1) 画像診断からみた小児虐待
 相田典子 (神奈川県立こども医療センター放射線科)
 - 2) 虐待の関与を疑う頭部外傷に対する治療戦略 —脳神経外科の視点から—
 荒木 尚 (埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)
 - 3) 小児神経科医師に必要な児童虐待の知識 頭部外傷の視点から
 今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)
- 13:30~15:30 ディベートディスカッション (S200)
 West 症候群の治療: ACTH 療法前後の選択肢をディベートする
 座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
 白石秀明 (北海道大学病院小児科)
- 1) West 症候群の ACTH 療法開始までの期間とその治療
 松浦隆樹^{1,2} (埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²)
 - 2) West 症候群再発例の治療戦略 (2 回目の ACTH 療法, ケトン食など)
 今井克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 - 3) ビガバトリンの位置づけ
 秋山倫之 (岡山大学小児神経科)

第 3 日目 第 2 会場

- 10:10~12:10 シンポジウム 20 (S186)
 最近明らかにされた遺伝子疾患 Update
 座長 才津浩智 (浜松医科大学)
 加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
- 1) 神経放射線と分子遺伝学とのコラボレーション; SNORD118, POLR3A/3B, TUBB4A 関連白質変性症
 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 - 2) 乳幼児てんかん性脳症 update
 加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
 - 3) MYPN 関連ミオパチー
 宮武聡子 (横浜市立大学附属病院遺伝子診療部)
 - 4) PI3K-AKT-mTOR 経路が関連する巨脳症
 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 16：共催 日本イーライリリー株式会社……………(S266)
 将来を見据えた ADHD の薬物療法
 座長 大澤眞木子 (東京女子医科大学)
 講演 荒木章子 (医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック)

13:30~15:30 市民公開講座……………(S272)
 災害時の子どもへの支援 一障害のある子どもたちに焦点をあてて一
 座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)
 木村重美 (熊本市子ども発達支援センター)
 1) 重度障害児への支援 一日常における医療的ケア一
 三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)
 2) 災害時におけるケアと支援
 田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)
 3) 災害時の人工呼吸器装着児のための地域におけるネットワークづくり
 木村重美 (熊本市子ども発達支援センター)
 4) 発達障害のある子ども達と避難所
 福地 成 (みやぎ心のケアセンター)
 5) 福祉避難所 一特別支援学校の有効な活用法一
 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)

第 3 日目 第 3 会場

9:45~12:10 シンポジウム 21……………(S189)
 知っておきたい摂食嚥下リハビリテーションの知識
 座長 曾根 翠 (東京都立東大和療育センター)
 永江彰子 (びわこ学園医療福祉センター草津)
 1) 乳児期の摂食嚥下障害のリハビリテーションと間欠的経管栄養法
 木佐俊郎¹, 酒井康生², 蓼沼 拓², 馬庭壯吉²
 (出雲市民リハビリテーション病院リハビリテーション科¹, 鳥根大学医学部リハビリテーション医学講座²)
 2) 離乳期以降の摂食嚥下リハビリテーションと発達期嚥下調整食分類の使い方
 向井美恵 (昭和大学)
 3) 思春期から成人期の摂食嚥下障害リハビリテーション
 渥美 聡 (東京都立府中療育センター小児科)
 4) 発達障害児の摂食嚥下リハビリテーション
 土方 希 (広島市こども療育センター)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 17：共催 エーザイ株式会社……………(S267)
 ペランパネルの血中濃度測定：最新の知見
 座長 小國弘量 (TMG あさか医療センター脳卒中・てんかんセンター)
 講演 岩崎俊之 (北里大学医学部小児科)

13:30~15:30 第 3 回ニューロリハビリテーション研究会：
 小児神経疾患のリハビリテーションにおける技術的進歩
 座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
 荒井 洋 (ポバース記念病院)
 1) 小児に対する Hybrid Assistive Limb (HAL) の使用経験
 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南)
 2) 小児脳性麻痺に対する治療を複合的に用いた成果とそこから想定される理想的な治療
 金城 健 (沖縄南部医療センター・こども医療センター整形外科)
 3) tDCS の臨床応用 小児における可能性
 信迫悟志 (畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター畿央大学大学院健康科学研究科)

第 3 日目 第 4 会場

10:10~12:10 社会保険・薬事委員会主催セミナー…………… (S223)

神経発達症群における小児適応薬剤の意義とその使い方

座長 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科)
福水道郎 (瀬川記念小児神経学クリニック)

- 1) 小児 ADHD 治療薬の歴史的経緯と今後の展望
宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
- 2) 小児期の ASD に伴う易刺激性治療薬承認の経緯と今後の展望
石崎優子 (関西医科大学医学部小児科)
- 3) 臨床治験が計画・実施された薬剤の現状と問題点
林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)
- 4) 本邦における ADHD の診断・治療ガイドライン第 4 版について
齊藤万比古 (恩賜財団母子愛育会愛育研究所児童福祉・精神保健研究部)

12:30~13:20 ランチョンセミナー 18 : 共催 大塚製薬株式会社/ユーシービージャパン株式会社…………… (S267)

小児難治てんかんの診療 一地方のてんかん 2 次診療施設の経験から一

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
講演 池田ちづる (国立病院機構熊本再春荘病院小児科)

13:30~15:30 シンポジウム 23…………… (S194)

神経代謝疾患に対する治療戦略の展望

座長 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学)
奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

- 1) 脳を守る酵素補充療法
奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)
- 2) ニーマンピック病 C 型の治療戦略
松尾宗明¹, 榊原崇文², 崎山快夫³, 入江徹美⁴
(佐賀大学医学部小児科¹, 奈良県立医科大学小児科², 自治医科大学附属さいたま医療センター神経内
科³, 熊本大学大学院生命科学研究部薬剤情報分析学分野⁴)
- 3) 白質ジストロフィーの治療戦略
大橋十也
(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部, 東京慈恵会医科大学小児科)
- 4) 早期診断を含む診療体制の展望
酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学)
- 5) Overview of CLN2 disease : early diagnosis and management
Christoph Schwering (Universitätsklinikum Hamburg-Eppendorf Children's Hospital, Hamburg, Germany)

第 3 日目 第 5 会場

10:00~11:00 English Session 7…………… (S288)

筋

Chair Hirofumi Komaki (Department of Clinical Research Promotion, National Center Hospital,
National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan)

Tatsuya Fujii (Department of Pediatrics, Shiga Medical Center for Children, Mori-
yama, Japan)

E-036 Pneumothorax in Ullrich congenital muscular dystrophy

○Yukie Arahata¹, Akihiko Ishiyama¹, Ryuta Tanaka², Shohei Kusabiraki¹, Eri Takeshita¹,
Yuko Shimizu-motohashi¹, Takashi Saito¹, Hirofumi Komaki¹, Eiji Nakagawa¹, Kenji Sugai¹,
Yuko Saito³, Masayuki Sasaki³

Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry,
Tokyo, Japan¹, The Department of Pediatrics, Ibaraki Children's Hospital, Mito, Japan², Department of
Laboratory Medicine, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan³

- E-037 Analysis of respiratory function of Duchenne muscular dystrophy with Chilaiditi syndrome**
 ○Masashi Ogasawara, Akihiko Ishiyama, Eri Takeshita, Yuuko Motohashi, Hirofumi Komaki, Masayuki Sasaki
 National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP), Tokyo, Japan
- E-038 Incidence of spinal muscular atrophy type I : a population-based study on Shikoku island, Japan**
 ○Kentarō Okamoto^{1,2}, Mitsumasa Fukuda^{1,3}, Risako Urata^{1,4}, Isao Saito^{1,5}, Takahiro Motoki¹, Toshihiro Jogamoto¹, Kaori Hino¹, Takatoshi Hosokawa^{6,7}, Kenji Mori⁸, Yukihiko Konishi⁹, Eiichi Ishii¹
 Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan¹, Department of Pediatrics, Ehime Prefectural Imabari Hospital, Imabari, Ehime, Japan², Department of Pediatrics, Ehime Prefectural Niihama Hospital, Niihama, Ehime, Japan³, Student, School of Medicine, Ehime University, Toon, Ehime, Japan⁴, Department of Community Health Systems Nursing, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan⁵, Department of Pediatrics, Kochi Medical School, Kochi, Japan⁶, Department of Pediatrics, Hosogi Hospital, Kochi, Kochi, Japan⁷, Department of Child Health & Nursing, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School⁸, Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Kagawa University, Kagawa, Japan⁹
- E-039 When does SMN shortage become evident in spinal muscular atrophy patients?**
 ○Noriyuki Nishimura¹, Sota Iwatani¹, Keiji Yamana¹, Masashi Nagai¹, Ryosuke Bou¹, Hiroyuki Awano¹, Kaori Maeyama¹, Masahiro Nishiyama¹, Hiroaki Nagase¹, Masami Mizobuchi², Kazumichi Fijioaka¹, Ichiro Morioka¹, Kazumoto Iijima¹, Hisahide Nishio³
 Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan¹, Department of Developmental Pediatrics, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan², Department of Epidemiology, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan³
- E-040 Autosomal dominant spinal muscular atrophy due to a novel mutation in the motor adaptor BICD2**
 ○Mieko Yoshioka¹, Naoya Morisada², Daisaku Toyoshima³, Hisahide Nishio⁴, Kazumoto Iijima⁵, Yasuhiro Takeshima⁶, Tomoko Uehara⁷, Kenjiro Kosaki⁷
 Department of Pediatric Neurology, Kobe City Pediatric and General Rehabilitation Center for the Challenged, Kobe, Japan¹, Department of Clinical Genetics, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan², Department of Neurology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan³, Department of Community Medicine and Social Healthcare Science, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan⁴, Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan⁵, Department of Pediatrics, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan⁶, Center for Medical Genetics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan⁷
- E-041 Microinfarction in juvenile dermatomyositis**
 ○Michio Inoue^{1,2}, Akinori Uruha³, Jean-Luc Charuel⁴, Lucile Musset⁴, Shigeaki Suzuki⁵, Masataka Kuwana⁶, Tsuneyo Mimori⁷, Ichizo Nishino^{1,2}
 Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Medical Genome Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan², Institute of Myology, Pitie-Salpetriere University Hospital, Pierre and Marie Curie University-Paris VI, INSERM-U974, Paris, France³, Department of Immunology, Immunochemistry & Autoimmunity Laboratory, Public Assistance-Hospitals of Paris, Pitie-Salpetriere University Hospital, Paris, France⁴, Department of Neurology, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan⁵, Department of Allergy and Rheumatology, Nippon Medical School Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan⁶, Department of Rheumatology and Clinical Immunology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan⁷

11:00~12:10
 てんかん

English Session 8 (S290)

Chair Shinichi Hirose (Department of Pediatrics, School of Medicine, Fukuoka University, Fukuoka, Japan)
 Motomasa Suzuki (Department of Pediatric Neurology, Aichi Children's Health and Medical Center, Aichi, Japan)

- E-042 EEG-fMRI analysis of hypsarrhythmia in West syndrome**
 ○Yu Okai¹, Yuji Ito^{1,2}, Satoshi Maesawa³, Epifanio Bagarinao³, Yuki Maki¹, Masaharu Tanaka¹, Yoko Sakaguchi¹, Atsuko Ohno¹, Hiroyuki Yamamoto¹, Tomohiko Nakata¹, Hiroyuki Kidokoro¹, Tamiko Negoro¹, Kazuyoshi Watanabe¹, Jun Natsume¹
 Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan¹, Aichi Prefecture Mikawa Aitori Medical Treatment and Habilitation Center², Brain and Mind Research Center, Nagoya University, Nagoya, Japan³
- E-043 EEG-fMRI in children with ECSWS : difference between the electroclinical stages of ECSWS**
 ○Yuji Ito^{1,2}, Yu Okai^{1,2}, Satoshi Maesawa², Epifanio Bagarinao², Hiroyuki Kidokoro^{1,2}, Hiroyuki Yamamoto^{1,2}, Yuki Maki¹, Masaharu Tanaka¹, Yoko Sakaguchi¹, Atsuko Ohno¹, Tomohiko Nakata¹, Tamiko Negoro¹, Kazuyoshi Watanabe¹, Jun Natsume^{1,2}
 Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan¹, Brain and Mind Research Center, Nagoya University, Nagoya, Japan²
- E-044 Epileptogenic high-frequency oscillations skip the motor area in drug-resistant multilobar epilepsy**
 ○Yasushi Iimura^{1,2}, Hiroshi Otsubo¹
 Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Ontario, Canada¹, Department of Neurosurgery, University of Juntendo, Tokyo, Japan²
- E-045 The Wada test might predict postoperative fine finger motor deficit after hemispherotomy**
 ○Ayataka Fujimoto, Tohru Okanishi, Sotaro Kanai, Shinji Itamura, Shimpei Baba, Hideo Enoki
 Seirei Hamamatsu General Hospital, Comprehensive Epilepsy Center, Hamamatsu, Japan
- E-046 Intravenous infusion of mesenchymal stem cells inhibits epileptogenesis in an epilepsy rat model**
 ○Shinobu Fukumura¹, Masanori Sasaki², Hiroyuki Tsutsumi¹, Osamu Honmou²
 The Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo, Japan¹, Department of Neural Regenerative Medicine, Research Institute for Frontier Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo, Japan²
- E-047 Cognitive development after epilepsy surgery of the posterior cortex in patients with West syndrome**
 ○Tomonori Ono¹, Ryoko Honda¹, Yoshiaki Watanabe¹, Rika Koshimoto², Miwako Wada², Kaoru Ishida², Kohei Adachi³, Shiro Baba⁴, Keisuke Toda⁵, Hiroshi Baba⁶
 Epilepsy Center, National Nagasaki Medical Center, Omura, Japan¹, Clinical Psychology, National Nagasaki Medical Center, Omura, Japan², Department of Psychology, Faculty of Humanities, Nagasaki Junshin Catholic University, Nagasaki, Japan³, Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine, Nagasaki, Japan⁴, Department of Neurosurgery, National Nagasaki Kawatana Medical Center, Kawatana, Japan⁵, Epilepsy Center, Nishi-Isahaya Hospital, Isahaya, Japan⁶
- E-048 CDKL5 controls synaptic localization of GluN2B-NMDA receptors and regulates seizure susceptibility**
 ○Teruyuki Tanaka¹, Kosuke Okuda¹, Shizuka Kobayashi², Masahiro Fukaya³, Aya Watanabe¹, Takuto Murakami¹, Mai Hagiwara¹, Hiroyuki Sakagami³, Toshiya Manabe², Masashi Mizuguchi¹
 Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan¹, Division of Neuronal Network, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan², Department of Anatomy, Kitasato University School of Medicine, Sagami-hara, Japan³

12:30~13:20 ランチョンセミナー 19 : 共催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社 … (S268)

ニーマン・ピック病 C 型を見逃さないために — 眼球運動障害, 失調, 精神症状, ジストニアからの気づき—
 座長 奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

- 1) ニーマン・ピック病 C 型 : 主要な症状と鑑別疾患, 治療
 講演 成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
- 2) 治療可能な神経代謝性疾患 : ニーマンピック病 C 型
 講演 武内俊樹 (慶應義塾大学医学部小児科)

13:30~14:30 ガイドライン策定委員会企画 2 …………… (S206)

チック症診療ガイドライン作成に向けて

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)
 作田亮一 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

- 1) Tic 症の Overview
 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科, 東京医科大学医学部小児科)
- 2) 幼児期から学童のチック症, Tourette 症について
 星野恭子 (医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

- 3) 併存症を伴うチック症の評価と治療
 金生由紀子 (東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野)
- 4) チック症の重要臨床課題とクリニカルクエストの模索
 石井隆大 (久留米大学医学部小児科)

第 3 日目 第 6 会場

10:00~11:00 一般演題 (口演)..... (S348)

てんかん・けいれん 6 その他 2

座長 小國弘量 (東京女子医科大学病院小児科)
 森本昌史 (京都府立医科大学医学部看護学科)

O-162 てんかん原性領域の同定における [11C]-DPA713 PET-CT の有用性についての検討

○林 良子^{1,3}, 下野九理子^{1,2,3}, 廣恒実加^{1,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 橘 雅弥^{1,2}, 富永康仁^{1,2}, 青天目 信^{1,3},
 毛利育子^{1,2}, 押野 悟³, 加藤弘樹⁵, 貴島晴彦^{3,4}, 大藪恵一^{1,3}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学医学部
 附属病院てんかんセンター³, 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科⁴, 大阪大学大学院医学系研究
 科核医学講座⁵

O-163 非けいれん性てんかん重積を呈する環状 20 番染色体症候群の 2 例

○山岸裕和¹, 後藤昌英¹, 小坂 仁¹, 桑島真理¹, 村松一洋¹, 川合謙介², 山形崇倫¹
 自治医科大学小児科¹, 自治医科大学脳神経外科²

O-164 計算や計量を用いない, 新しい簡便なケトン食 (NY 法) —Glut-1 異常症における有効性と他法とのコンプライアンスの比較—

○柳原恵子, 大星大観, 中井理恵, 木水友一, 池田 妙, 最上友紀子, 鈴木保宏
 大阪母子医療センター小児神経科

O-165 CBZ から LCM に切り替え後に低 Na 血症が改善した重症心身障害者 6 例

○藤井朋洋, 桐野友子, 藤原由美, 永井盛博
 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科

O-166 バルブロ酸内服中でのてんかん患者に対するカルバペネム系抗菌薬使用時のミダゾラム併用の意義

○古賀智子, 荒木 敦, 金子一成
 関西医科大学小児科

O-167 MTOR 遺伝子変異を伴う限局性皮質異形成 type IIb 例のてんかん発作に対する薬剤有効性についての検討

○小松原孝夫¹, 放上萌美¹, 眞柄慎一¹, 小林 悠¹, 遠山 潤¹, 長谷川直哉², 白水洋史³, 増田 浩³,
 福多真史³
 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院てんかん科², 国立病院機
 構西新潟中央病院機能脳神経外科³

11:00~11:50 一般演題 (口演)..... (S350)

熱性けいれん

座長 金村英秋 (山梨大学医学部小児科)
 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

O-168 熱性けいれん診療ガイドライン 2015 による小児科医の診療行動変化の全国調査

○田中雅大¹, 夏目 淳^{1,2,3}, 伊予田邦昭³, 金村英秋³, 久保田雅也³, 小島原典子³, 田辺卓也³,
 吉永治美³, 新島新一³, 浜野晋一郎³, 三牧正和³, 杉江秀夫³, 福田冬季子³, 前垣義弘³
 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学¹, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学²,
 日本小児神経学会熱性けいれん診療ガイドライン策定 WG³

O-169 てんかんを発症した熱性けいれんの検討

○荻野元子^{1,2}, 柏木 充², 田邊卓也³, 大場千鶴², 野村昇平², 吉川聡介⁴, 島川修一¹, 東川幸嗣⁵,
 玉井 浩¹
 大阪医科大学附属病院小児科¹, 市立ひらかた病院小児科², 田辺こどもクリニック小児神経内科³,
 第一東和会病院小児科⁴, 清恵会病院小児科⁵

O-170 複雑型熱性けいれんの臨床経過について

○柏木 充¹, 田邊卓也², 荻野元子^{1,3}, 大場千鶴¹, 野村昇平¹, 吉川聡介⁴, 島川修一³, 東川幸嗣⁵,
 玉井 浩³
 市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経科², 大阪医科大学小児科³, 第一東和
 会病院小児科⁴, 清恵会病院小児科⁵

O-171 頻回熱性けいれん児の臨床像と治療

○木村暢佑, 樋口嘉久, 中森いづみ, 林 貴大
 大津赤十字病院小児科

O-172 脱力発作を主症状とする熱性けいれん

○北村太郎, 守谷充司, 鈴木力生, 西尾利之, 高柳 勝, 大浦敏博
 仙台市立病院小児科

12:30~13:20 産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部/ランチョンセミナー 20
 (S226)

産科医療補償制度への理解を深める

座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)

- 1) 産科医療補償制度の現況
 鈴木英明 (公益財団法人日本医療機能評価機構)
- 2) PVL と産科医療補償制度
 松井 潔, 田上幸治 (神奈川県立こども医療センター総合診療科)

13:30~16:30 実践教育セミナー 10 (S250)

知っておきたい発達障害への支援の実践 ABA とペアレントトレーニング

座長 岡 明 (東京大学医学部小児科)
 広瀬宏之 (横浜市療育相談センター)

- 1) 自閉症に対する療育的介入：現在から未来へ
 平岩幹男 (Rabbit Developmental Research)
- 2) 応用行動分析学 (ABA) を用いた自閉症スペクトラム障害および他の発達障害の治療
 松田幸都枝 (チルドレンセンター, The Chicago School of Professional Psychology, Chicago, USA)
- 3) ペアレント・トレーニングの実際 一子どもと大人のあたたかい関係づくりー
 長瀬美香 (心身障害児総合医療療育センター)

第 3 日目 第 7 会場

8:30~10:00 第 10 回日本小児免疫性脳炎研究会：MERS について
 座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 多田弘子 (千葉県済生会習志野病院小児科)

10:00~11:00 一般演題 (口演) (S352)
脊髄性筋萎縮症

座長 須藤 章 (社会福祉法人楡の会こどもクリニック)
 齊藤利雄 (国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科)

O-173 神戸大学における小児科と麻酔科の連携による脊髄性筋萎縮症のヌシネルセン治療

○永井正志¹, 栗野宏之¹, 松本真明¹, 坊 亮輔¹, 富岡和美¹, 田中 司¹, 西山将広¹, 前山花織¹,
 永瀬裕朗¹, 小幡典彦², 溝渕知司², 西尾久英³, 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 神戸大学大学院医学研究科麻酔科², 神戸大学大学院医学研究
 科地域社会医学・健康科学講座疫学分野³

O-174 終日気管切開下人工呼吸管理中の脊髄性筋萎縮症 1 型におけるヌシネルセン治療の有効性

○谷口直子^{1,2}, 石垣景子¹, 七字美延¹, 佐藤孝俊¹, 鈴木隼人³, 加島広太³, 中村花穂³,
 長谷川三希子³, 猪飼哲夫⁴, 永田 智¹
 東京女子医科大学医学部小児科¹, 兵庫医科大学医学部小児科², 東京女子医科大学リハビリテー
 ション科³, 東京女子医科大学医学部リハビリテーション科⁴

O-175 気管切開下人工呼吸管理を行っている脊髄性筋萎縮症 1 型症例に対するヌシネルセン髄腔内投与経験

○下村英毅¹, 李 知子¹, 牟禮慎子¹, 四本由郁², 栗野宏之³, 西尾久英⁴, 竹島泰弘¹
 兵庫医科大学小児科¹, 愛仁会高槻病院小児科², 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科³,
 神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座疫学分野⁴

O-176 乳児期早期にヌシネルセンによる治療を開始した脊髄性筋萎縮症 1 型の 1 例

○西野瑛理, 生田目紀子, 河野 修, 江川 潔, 朝比奈直子, 白石秀明
 北海道大学病院小児科

- O-177 脊髄性筋萎縮症 1 型の 2 例における nusinersen 投与の効果
 ○林 泰壽¹, 伊藤祐介², 漆畑 侖¹, 塩田 勉³, 平出拓也¹, 平野恵子², 福田冬季子¹
 浜松医科大学医学部附属病院小児科¹, 磐田市立総合病院小児科², 静岡済生会総合病院小児科³
- O-178 ヌシネルセンを投与した脊髄性筋萎縮症 1 型 2 例の治療経過
 ○山本晃代, 土田晃輔, 水上 都, 川村健太郎, 福村 忍, 堤 裕幸
 札幌医科大学小児科

11:00~12:10 一般演題 (口演)..... (S354)
 緩和・在宅医療

- 座長 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター)
 田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)
- O-179 重篤な神経疾患を抱える思春期患者に対するアドバンス・ケア・プランニングの現状: 小児神経専門医に対する全国調査
 ○余谷暢之¹, 木澤義之², 新宅治夫³
 国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科¹, 神戸大学大学院医学研究科先端緩和医療学分野², 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学³
- O-180 積極的医療ケアの追加せず終末期を見据えた在宅療養を支援した重症心身障害児者の 3 例
 ○山田桂太郎¹, 鈴木健史¹, 細川陽輔¹, 倉橋直子¹, 丸山幸一¹, 麻生幸三郎²
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 愛知県心身障害者コロニーこぼと学園²
- O-181 小児神経難病の成人移行期医療の現状について考える
 ○富田 直¹, 伊藤麻美^{1,2}
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 平塚市民病院小児科²
- O-182 医学生への重症心身障害児者医療の体験実習による障がい児に抱く心理的变化の検討
 ○田邊 良, 湧井敦子, 石井光子
 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科
- O-183 重症心身障害児の短期入所事業における在宅呼吸サポートが必要な児の利用実態
 ○水谷祐喜子, 鍋谷まこと, 佐々木満ちる, 水谷聡志
 淀川キリスト教病院小児科
- O-184 総合病院小児科神経外来患者における同施設内成人科に移行した 99 例の検討
 ○宮奈 香¹, 麻生誠二郎^{1,2}
 日本赤十字社医療センター小児科¹, 麻生小児科医院²

12:30~13:20 ランチョンセミナー 21: 共催 株式会社 JVC ケンウッド..... (S269)
 ASD 児の感覚特性と行動について

- 座長 片山泰一 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)
 講演 永井利三郎 (桃山学院教育大学教育学部)

13:30~16:30 実践教育セミナー 11..... (S252)
 小児神経科医が知っておきたい緩和ケアのエッセンス

- 座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)
 余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- 1) 小児緩和ケア概論
 笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)
 - 2) 症状緩和
 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
 - 3) 終末期における意志決定支援
 余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
 - 4) 家族支援とピリブメント・ケア
 松岡真里 (高知大学教育研究部医療学系看護学部門臨床看護学講座小児看護学)

第 3 日目 第 8 会場

9:00~12:00 実践教育セミナー 9..... (S247)
 3 時間でわかる! はじめて小児神経を学ぶ人のための実践レクチャー

- 座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 小坂 仁 (自治医科大学小児科)

- 1) 乳幼児の神経診察
小坂 仁 (自治医科大学小児科)
- 2) 脳波の読み方・考え方
榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)
- 3) 脳 CT・MRI を読んでみよう
塩浜 直 (千葉大学医学部附属病院小児科)
- 4) 小児神経疾患における遺伝学的検査の進め方
山本俊至 (東京女子医科大学遺伝子医療センター)

13:30~16:30 実践教育セミナー 12 (S255)

第 5 回遺伝学実践教育セミナー

- 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
- 山本俊至 (東京女子医科大学大学院先端生命医科学専攻遺伝子医学分野)
- 小坂 仁 (自治医科大学小児科)
- 酒井康成 (九州大学小児科)
- 和田敬仁 (京都大学大学院医療倫理学・遺伝医療学分野)